

# 戸田市市民意識調査報告書

平成 26 年度実施（第 11 回）

平成 27 年 3 月

戸 田 市

# 目 次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の背景.....	1
2. 調査設計.....	2
3. 回収状況.....	2
4. 調査の内容.....	2
5. 地区区分.....	2
6. 集計・分析に当たって.....	3
7. 標本誤差.....	3
8. 回答者の属性.....	4
II. 調査結果の分析.....	19
1. 定住意向について.....	19
2. 健康づくりについて.....	25
3. 子育てについて.....	31
4. 高齢化について.....	35
5. 生活環境について.....	40
6. 地域コミュニティについて.....	56
7. 市政への参加について.....	70
8. 防災について.....	74
9. 公共施設について.....	87
10. 戸田市の取り組みについて.....	89
III. 自由意見.....	102
参考資料（調査票）.....	109

# I. 調査の概要

## 1. 調査の背景

この調査は、市民生活及び市政に関する市民の意見や要望を把握し、戸田市のより良いまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的に、昭和 50 年より 4 年ごとに実施しています。今回の調査で第 11 回目となり、調査開始から 40 年が経過しようとしています。これまで、定点調査として継続的に調査を実施することにより、市民意識の経年変化を捉え、その時代に合った市政運営に活かしてきました。

厳しさを増す財政状況や変化の激しい社会情勢の中で、より一層多様化する市民ニーズを適確に把握し、効率的かつ効果的な市政運営を展開するため、基礎調査としての本調査の位置づけはより重要なものとなっていきます。

これまで、調査全般を外部委託により実施してきましたが、今回の調査は、調査票の設問設計からデータ入力、分析まで、一貫して市職員が行いました。このことは、アンケート調査のノウハウを市に蓄積するだけでなく、中長期的な事業展開においてアンケート調査をより効果的に活用していくスタートにもなりました。

調査の実施に当たっては、政策研究所の政策支援機能を活用して、法政大学大学院政策創造研究科岡本研究室にアドバイザーを依頼し、データ入力や分析方法など、専門的なアドバイスを得ながら進めました。

### 「戸田市市民意識調査 平成 26 年度実施（第 11 回）」アドバイザーより

昨今、ビッグデータの活用は国や地方自治体にとって重要な課題の一つである。こうした流れの中で、戸田市はいち早くデータ分析のノウハウを市職員内部に蓄積していく方針をとった。それが、今回の市民意識調査の職員による内製である。多くのアンケートを実施してきた戸田市であるが、これまではほとんど外部委託してきた（多くの自治体でも専門家への外部委託が一般的である）。

しかしながら、地域をよく知る職員自らがデータを扱うことは、委託費の削減というメリット以外に、大きな資産を作ることとなる。分析の切り口を試行錯誤する過程で、これまで見えてこなかった市民ニーズの把握や事業展開を考え、より効率的でニーズに合った市政運営が可能になるからだ。

本年度の調査は、こうした先鋭的な取り組みの第一歩である。アドバイスにあたり、専門家の目線で分析手法を指示することは容易い。しかし、それでは職員のノウハウ蓄積にならない。そのため、時間がかかるものの全ての工程において職員にまずは考えてもらい、矛盾を指摘し、また解決策を考えてもらうということを繰り返した。当初、統計知識が乏しく、作業に苦戦していた職員たちも、最終期には驚くほどの分析力と思考力を身につけていた。

本調査報告では、こうした背景から統計的にいくつか修正しがたい点が残ったことは否めない。特に、40 年近く蓄積してきた経年データについては修正が必要な点も多々あったが、これまでの調査方法を重視することとし、今後の調査課題として浮き彫りするに留めた。今後は、この 1 年間で明確になった調査課題を改善し、より多くの職員との情報共有に向けて動き出していくことを期待する。

最後に、予想以上に時間がかかりつつも、温かい支援の目で現場にらせていただいた市長はじめ上席者の方々の懐の広さに感謝の意を、また多大な熱意と努力で根気よく取り組んだ職員に、賞賛と拍手を送る。

法政大学大学院政策創造研究科 岡本義行研究室／研究員 中島由紀

## 2. 調査設計

- (1) 調査地域：戸田市全域
- (2) 調査対象：平成 26 年 4 月 1 日現在、市内に在住する満 16 歳以上の市民
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 抽出方法：無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送による配布・回収
- (6) 調査期間：平成 26 年 5 月 26 日～6 月 16 日（返送期日）

## 3. 回収状況

- (1) 有効標本数：3,000 人
- (2) 有効回答数：1,317 人
- (3) 回収率：43.9%

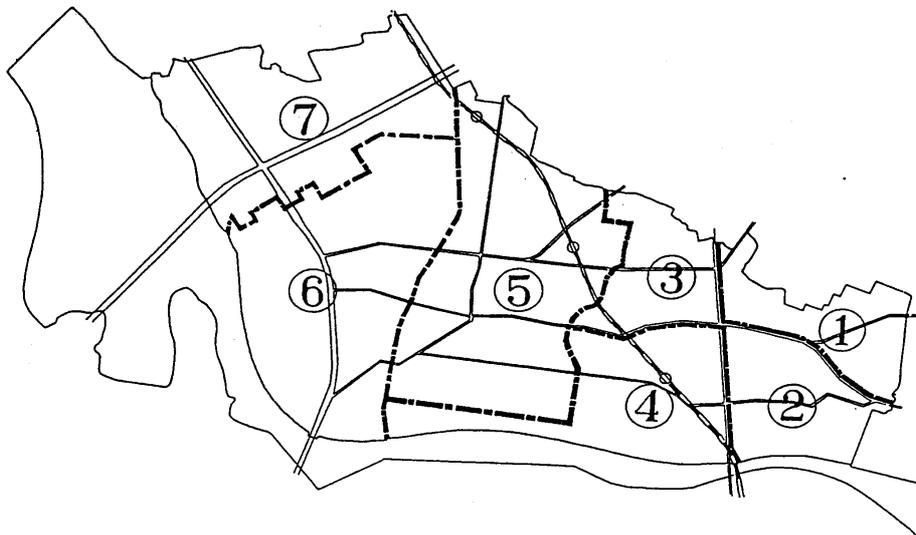
## 4. 調査の内容

- ①フェースシート（標本属性）
- ②定住意向
- ③健康づくり
- ④子育て
- ⑤高齢化
- ⑥生活環境
- ⑦地域コミュニティ
- ⑧市政への参加
- ⑨防災
- ⑩公共施設
- ⑪戸田市の取り組み

## 5. 地区区分

市内を次の 7 つの地区に区分して調査、集計、分析を行いました。

1. 下戸田 1 地区（喜沢 1・2 丁目、中町 1 丁目、下戸田 1・2 丁目）
2. 下戸田 2 地区（喜沢南 1・2 丁目、中町 2 丁目、下前 1・2 丁目、川岸 1・2 丁目）
3. 上戸田 1 地区（上戸田 1～5 丁目、大字上戸田）
4. 上戸田 2 地区（川岸 3 丁目、本町 1～5 丁目、南町、戸田公園）
5. 新曽地区（大字新曽、新曽南 1～4 丁目、氷川町 1～3 丁目、大字下笹目）
6. 笹目地区（笹目南町、笹目北町、早瀬 1・2 丁目、笹目 1～8 丁目）
7. 美女木地区（美女木 1～8 丁目、美女木東 1・2 丁目、大字美女木）



## 6. 集計・分析に当たって

- ・図表中の (n=\* (\*は自然数)) と年度や属性の後の ( ) 内は、集計母数を表しています。
- ・原則として、図表の単位は%としています。
- ・回答割合 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。そのため、属性ごとの回答割合の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・回答割合 (%) は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの回答割合を合計すると 100.0%を超えることがあります。
- ・過去の調査と選択肢等が異なる設問の経年比較については、類似の選択肢を用いている場合があります。

## 7. 標本誤差

この調査は無作為抽出法により行ったものであるため、標本抽出にともなう標本誤差を数学的に計算することが可能です。以下に、信頼水準 95% の場合の誤差算出式と早見表を掲載します。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{(N-n) / (N-1) \times P(1-P) / n}$$

N = 母集団の数 (戸田市の 16 歳以上人口 109,176 人、平成 26 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口)

n = 各設問の回答数      P = 各回答の回答比率

回答比率 (%) 回答数 (人)	10(または90)	20(または80)	30(または70)	40(または60)	50
1,317	±1.61	±2.15	±2.46	±2.63	±2.68
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.02	±3.08
900	±1.95	±2.60	±2.98	±3.19	±3.25
800	±2.07	±2.76	±3.16	±3.38	±3.45
700	±2.22	±2.95	±3.38	±3.62	±3.69
600	±2.39	±3.19	±3.66	±3.91	±3.99
500	±2.62	±3.50	±4.01	±4.28	±4.37
400	±2.93	±3.91	±4.48	±4.79	±4.89
300	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
200	±4.15	±5.54	±6.35	±6.78	±6.92
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

〈この表の見方〉

- ・例えば、問 17 で戸田市に住んでいる理由について、「ここで育ったから」と回答したのが 20.3% (n=1,317) の場合、上表で値の近い「20 (または 80)」の欄の「1,317」の行をみると、標本誤差は±2.15%となります。したがって、本市の 16 歳以上の全市民に同じ質問をした場合、標本誤差を考慮すると、20.3%±2.15%の人が「ここで育ったから」と回答する確率 (信頼水準) が 95%である、と見ることができます。

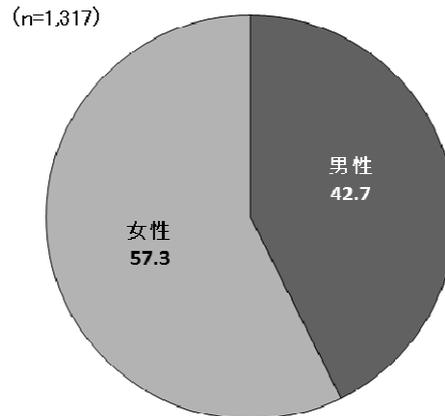
## 8. 回答者の属性

### (1) 性別

回答者 1,317 人のうち、男性は 42.7%、女性は 57.3%でした。

調査対象母集団（平成 26 年 4 月 1 日現在の 16 歳以上人口）の性別構成比は、男性 51.5%、女性 48.5%です。よって、女性の回答割合が高くなっています。

図表 1 性別(全体)

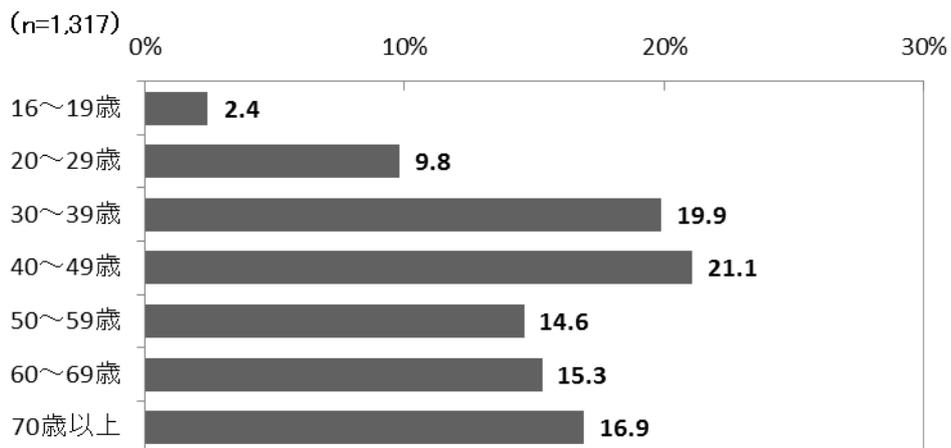


### (2) 年齢

回答者の年齢構成は、40 歳代の割合が最も高く 21.1%で、次いで 30 歳代が 19.9%、70 歳以上 16.9%、60 歳代 15.3%となっています。

調査対象母集団の年齢別構成比は、16～19 歳 4.8%、20 歳代 15.7%、30 歳代 20.9%、40 歳代 21.6%、50 歳代 13.0%、60 歳代 11.5%、70 歳以上 12.5%となっています。よって、30 歳未満の回答割合が少なく、50 歳以上の回答割合が多くなっています。

図表 2 年齢(全体)



### (3) 居住地区

居住地区は、新曽地区の割合が 21.2%と最も多く、美女木地区の割合が 9.2%と最も少なくなっています。前回調査と比較して、大きな相違はありません。

調査基準となった平成 26 年 4 月 1 日現在の町丁目別人口構成比は、下戸田 1 地区 12.9%、下戸田 2 地区 17.1%、上戸田 1 地区 10.0%、上戸田 2 地区 13.6%、新曽地区 21.7%、笹目地区 14.8%、美女木地区 9.9%となっています。

また、居住地区別でみると、下戸田 1 地区、笹目地区及び美女木地区において 60 歳以上の割合が他地区に比べて高くなっています。

図表 3 居住地区(全体)

地区区分	構成比(%)		
	平成 26年度 (1,317)	平成 22年度 (1,202)	平成 18年度 (1,375)
1. 下戸田1地区 (喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目)	12.5	13.9	14.8
2. 下戸田2地区 (喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目)	19.1	16.9	17.2
3. 上戸田1地区 (上戸田1～5丁目、大字上戸田)	10.8	10.6	9.2
4. 上戸田2地区 (川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園)	14.8	13.7	14.2
5. 新曽地区 (大字新曽、新曽南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目)	21.2	21.7	19.5
6. 笹目地区 (笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目)	12.5	14.7	14.6
7. 美女木地区 (美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木)	9.2	8.4	9.9

図表 4 居住地区別年齢構成

		1 6 5 1 9 歳	2 0 5 2 9 歳	3 0 5 3 9 歳	4 0 5 4 9 歳	5 0 5 5 9 歳	6 0 5 6 9 歳	7 0 歳 以 上
全体(1,317)		2.4	9.8	19.9	21.1	14.6	15.3	16.9
居住 地区 別	下戸田1地区(165)	1.8	12.1	12.1	16.4	16.4	19.4	21.8
	下戸田2地区(251)	2.8	7.6	21.5	22.7	13.9	17.1	14.3
	上戸田1地区(142)	1.4	9.9	23.2	20.4	15.5	12.0	17.6
	上戸田2地区(195)	3.1	10.3	18.5	25.1	14.9	13.8	14.4
	新曽地区(279)	3.2	12.2	23.3	22.2	14.7	10.4	14.0
	笹目地区(164)	0.6	7.9	17.7	18.9	13.4	19.5	22.0
	美女木地区(121)	3.3	7.4	20.7	19.0	13.2	18.2	18.2

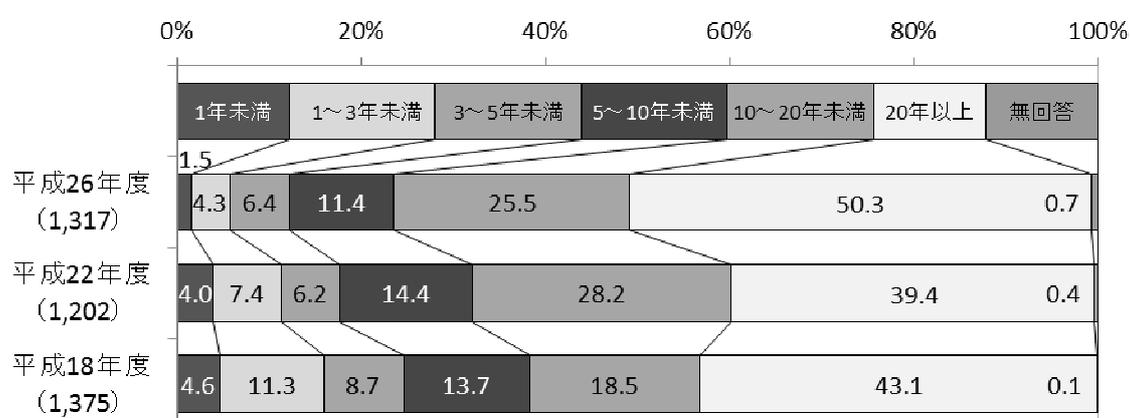
#### (4) 居住期間

居住期間は、「20年以上」が50.3%、次いで「10年以上20年未満」が25.5%となっています。

これまでの推移をみると、「20年以上」が平成22年度調査を10.9ポイント上回りました。一方「1年未満」が2.5ポイント、「1～3年未満」が3.1ポイント、それぞれ下回りました。

居住地区別にみると、下戸田1地区と笹目地区で、居住期間「20年以上」が60%を超えており、他の地区に比べ高くなっています。また、新曽地区は、「5年以上10年未満」が16.5%と他の地区に比べて高くなっています。

図表 5 居住期間(全体)



図表 6 居住期間(居住地区別)

		1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
全体(1,317)		1.5	4.3	6.4	11.4	25.5	50.3	0.7
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	2.4	4.2	9.7	20.6	62.4	0.6
	下戸田2地区(251)	0.4	5.2	6.4	9.6	31.9	46.2	0.4
	上戸田1地区(142)	2.8	3.5	9.2	9.9	23.2	51.4	0.0
	上戸田2地区(195)	1.5	8.2	5.6	8.7	28.7	46.7	0.5
	新曽地区(279)	2.5	3.2	9.3	16.5	28.7	38.0	1.8
	笹目地区(164)	1.2	2.4	3.0	12.2	17.1	63.4	0.6
	美女木地区(121)	2.5	4.1	5.0	10.7	20.7	57.0	0.0

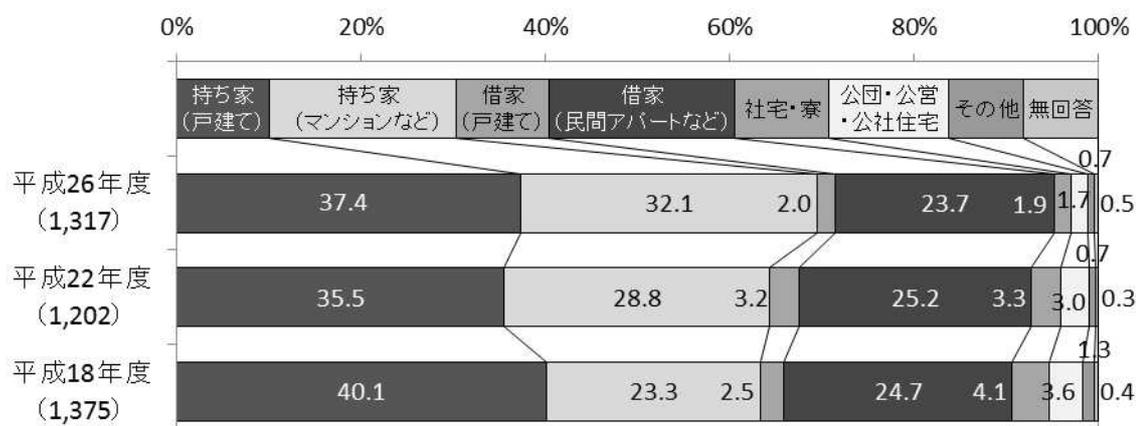
### (5) 住宅の種類

住宅の種類については、「持ち家（戸建て）」が37.4%、「持ち家（マンションなど）」が32.1%となっており、これらを合わせた持ち家比率が69.5%となっています。

これまでの推移をみると、持ち家比率が平成22年度から5.2ポイント高くなっています。

持ち家に着目し、居住地区別にみると、下戸田1地区、笹目地区及び美女木地区は「持ち家（戸建て）」が「持ち家（マンションなど）」よりも多く、下戸田2地区及び上戸田2地区では「持ち家（マンションなど）」が多くなっています。

図表 7 住宅の種類(全体)



図表 8 住宅の種類(居住地区別)

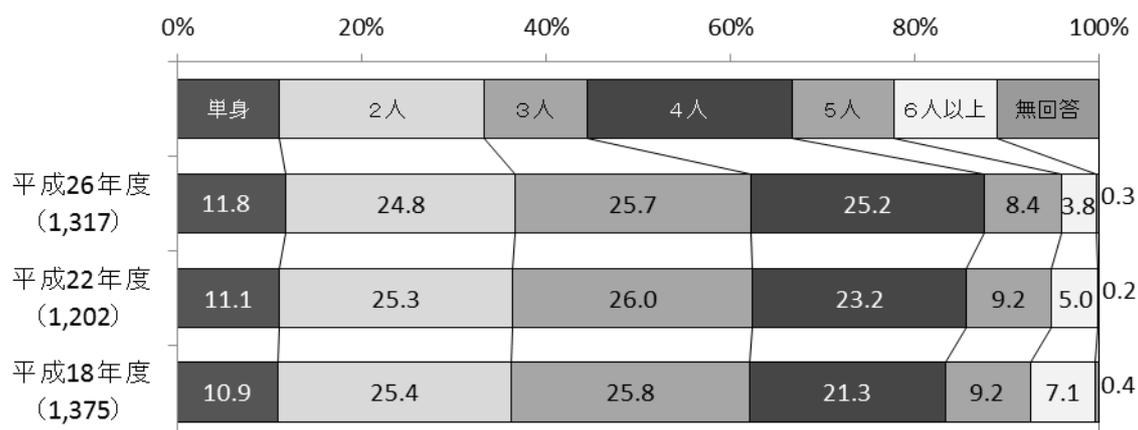
		持ち家 (戸建て)	(持ち家 (マンションなど))	借家 (戸建て)	ト・借家 (民間マンション)	社宅・寮	公団・公営・公社住宅	その他	無回答
全体 (1,317)		37.4	32.1	2.0	23.7	1.9	1.7	0.7	0.5
居住地区別	下戸田1地区 (165)	44.8	19.4	2.4	28.5	1.8	1.2	1.8	0.0
	下戸田2地区 (251)	28.7	53.0	0.8	11.6	0.0	5.6	0.4	0.0
	上戸田1地区 (142)	35.9	28.9	0.7	31.7	0.7	2.1	0.0	0.0
	上戸田2地区 (195)	28.7	41.0	1.5	26.7	1.5	0.0	0.5	0.0
	新曽地区 (279)	32.3	32.6	1.8	28.0	3.2	0.4	1.1	0.7
	笹目地区 (164)	53.7	14.6	4.3	22.0	0.6	1.2	0.6	3.0
	美女木地区 (121)	51.2	18.2	3.3	20.7	6.6	0.0	0.0	0.0

## (6) 家族の人数

回答者自身も含めた同居の家族の人数については、「2人」、「3人」及び「4人」がそれぞれ約25%となっています。

これまでの推移を見ると、平成22年度調査と比較して「4人」の家族が2ポイント高くなっています。

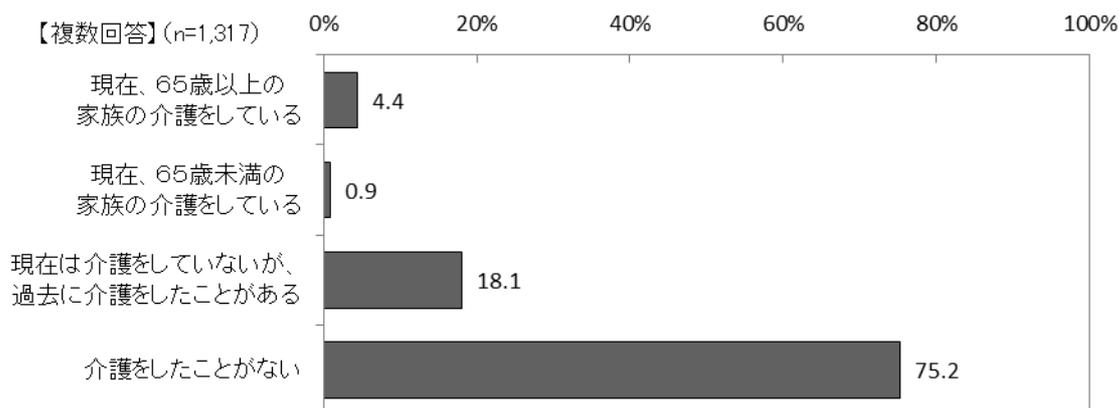
図表 9 家族の人数(全体)



## (7) 家族の介護経験

家族の介護経験については、「介護をしたことがない」が75.2%と最も高く、次いで「現在は介護をしていないが、過去に介護をしたことがある」が18.1%、「現在、65歳以上の家族の介護をしている」は4.4%でした。

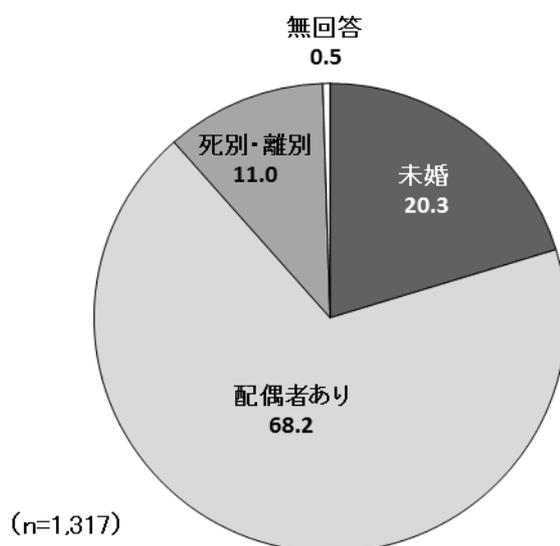
図表 10 家族の介護経験(全体)



### (8) 結婚

結婚の状況については、「未婚」が20.3%、「配偶者あり」が68.2%、「死別・離別」が11.0%でした。

図表 11 結婚(全体)

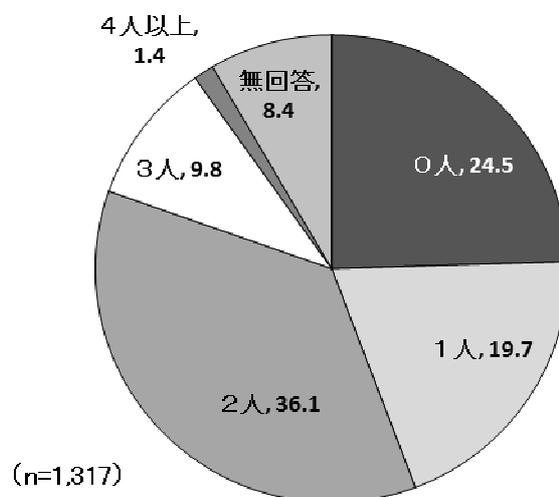


### (9) 子どもの人数と子どもの年齢

子どもの人数は、「2人」が36.1%と最も多く、次いで「0人」が24.5%でした。

また、子どもの人数別の上の子の年齢及び下の子の年齢については、子どもが1人の場合を除き、上の子、下の子ともに、「30歳以上」が最も高い割合でした。さらに、子どもの数が1人の場合は、「0～5歳」が32.4%と最も高い割合でした。

図表 12 子どもの人数(全体)



図表 13 子どもの人数と子どもの年齢

		上の子の年齢								下の子の年齢									
		0 5 5 歳	6 5 1 1 歳	1 2 5 1 4 歳	1 5 5 1 7 歳	1 8 5 2 1 歳	2 2 5 2 9 歳	3 0 歳 以上	非 該 当	無 回 答	0 5 5 歳	6 5 1 1 歳	1 2 5 1 4 歳	1 5 5 1 7 歳	1 8 5 2 1 歳	2 2 5 2 9 歳	3 0 歳 以上	非 該 当	無 回 答
子 ど も の 人 数	0人(323)	/	/	/	/	/	/	/	100.0	/	/	/	/	/	/	/	/	100.0	
	1人(259)	32.4	10.0	6.9	6.9	10.0	7.3	22.8	/	3.5	/	/	/	/	/	/	/	100.0	
	2人(476)	7.8	14.1	6.7	5.9	7.4	11.3	46.2	/	0.6	15.3	14.9	5.9	5.9	5.0	12.6	39.3	/	1.1
	3人(129)	0.8	14.0	6.2	7.0	5.4	10.9	53.5	/	2.3	17.1	10.1	3.1	5.4	5.4	12.4	43.4	/	3.1
	4人以上(193)	0.0	10.5	5.3	10.5	0.0	15.8	52.6	/	5.3	21.1	5.3	10.5	5.3	0.0	10.5	47.4	/	0.0
	無回答(111)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	5.4	/	92.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.9	3.6	/	93.7

(10) 仕事(雇用形態)

仕事については、「フルタイム正社員」が 29.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が 17.2%、「年金生活」が 14.6%、「無就業」が 8.7%となっています。「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計 69.8%が就労中という結果でした。

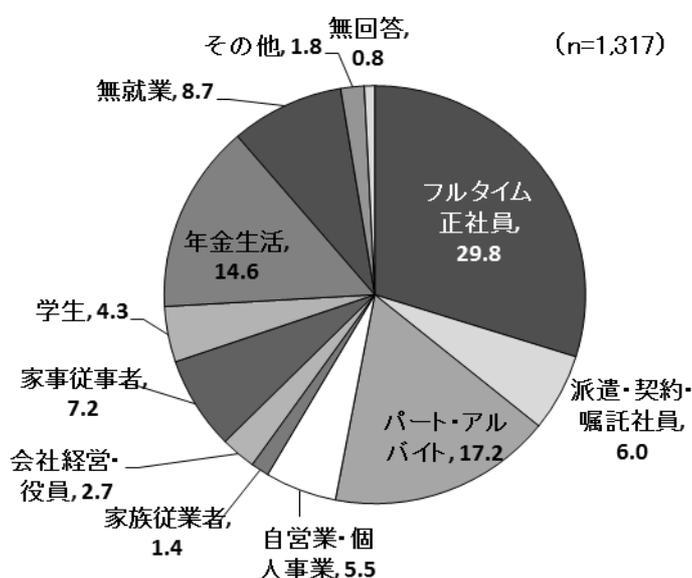
性別にみると、男性は「フルタイム正社員」が 46.1%と半数近くを占めるのに対し、女性は「パート・アルバイト」が 24.4%と最も高いのが特徴です。

年齢別でみると、20歳代、30歳代及び50歳代の「無就業」が約10%と他の年代より高くなっています。

一方で、60歳代では、「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計が 64.4%と、約3人に2人が就業しており、70歳以上では 25.0%と4人に1人が就業しています。

地区別にみると、笹目地区の「パート・アルバイト」が他地区と比べて突出して高いことが特徴です。

図表 14 仕事(全体)



図表 15 仕事(全体・性別・年齢別・居住地区別)

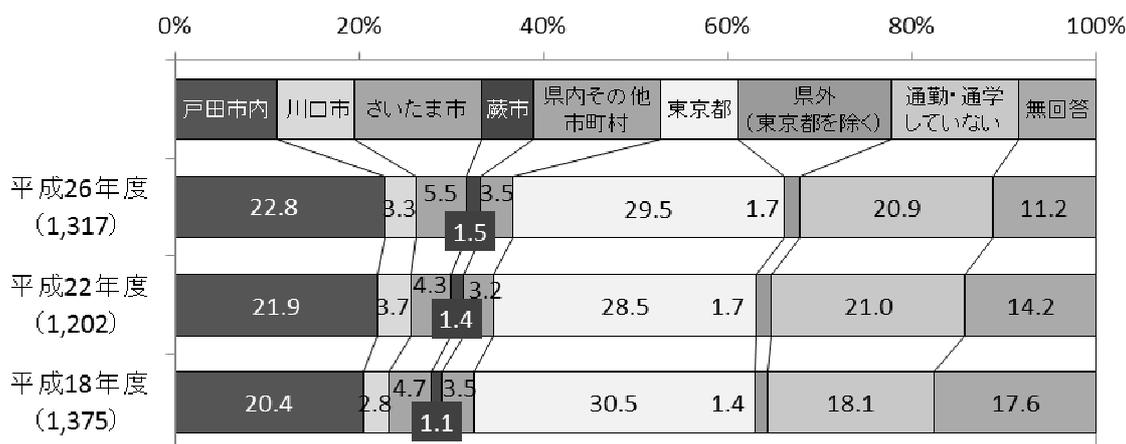
		フルタイム正社員	派遣社員・契約・嘱託社員	アルバイト	個人事業主・自営業主	家族従業者	会社経営・役員	家事従事者	学生	年金生活	無就業	その他	無回答
全体(1,317)		29.8	6.0	17.2	5.5	1.4	2.7	7.2	4.3	14.6	8.7	1.8	0.8
性別	男性(562)	46.1	6.4	7.5	9.6	0.5	5.0	0.2	3.9	11.9	6.2	2.3	0.4
	女性(755)	17.7	5.7	24.4	2.4	2.1	0.9	12.5	4.6	16.6	10.5	1.5	1.2
年齢別	16～19歳(32)	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	93.8	0.0	0.0	3.1	0.0
	20～29歳(129)	45.7	3.9	12.4	0.8	0.0	0.0	4.7	20.9	0.0	9.3	1.6	0.8
	30～39歳(262)	46.6	6.9	13.0	3.4	0.4	1.5	14.5	0.0	0.0	13.0	0.8	0.0
	40～49歳(278)	39.2	9.7	24.8	5.0	0.7	4.7	7.2	0.0	0.0	7.2	0.7	0.7
	50～59歳(192)	41.7	2.6	22.4	7.3	2.6	3.6	6.3	0.0	0.5	10.4	1.0	1.6
	60～69歳(202)	8.9	9.4	23.8	8.9	4.0	3.0	6.4	0.0	24.8	5.0	5.4	0.5
	70歳以上(222)	2.3	2.3	6.8	7.2	1.4	2.3	2.7	0.0	63.5	8.1	1.8	1.8
居住地区別	下戸田1地区(165)	27.3	6.1	17.6	5.5	0.0	1.2	3.6	4.2	21.2	9.1	3.6	0.6
	下戸田2地区(251)	33.5	5.6	17.5	6.4	1.6	2.0	6.4	3.6	12.7	9.6	0.4	0.8
	上戸田1地区(142)	35.2	7.7	12.0	4.9	2.1	0.0	7.7	1.4	16.9	9.2	2.1	0.7
	上戸田2地区(195)	29.2	7.7	16.4	4.6	1.0	3.6	10.3	6.2	12.8	6.7	1.0	0.5
	新曽地区(279)	33.3	5.4	16.5	5.0	1.1	2.5	9.0	6.5	10.4	8.6	1.1	0.7
	笹目地区(164)	20.1	4.3	24.4	8.5	1.8	3.7	3.7	2.4	20.7	7.3	2.4	0.6
	美女木地区(121)	25.6	5.8	14.9	2.5	3.3	6.6	9.1	4.1	10.7	10.7	4.1	2.5

### (11) 通勤・通学地

通勤・通学している人の通勤・通学先としては、「東京都」が29.5%と最も多く、次いで「戸田市内」が22.8%となっており、隣接市（川口市、さいたま市、蕨市の計）は10.3%にとどまっています。

これまでの推移をみると、「戸田市内」が微増しています。

図表 16 通勤・通学地(全体)



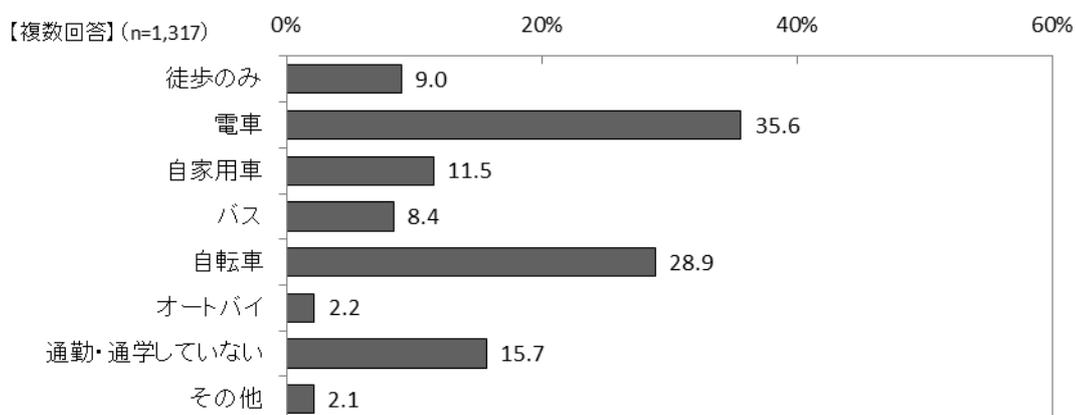
### (12) 通勤・通学の交通手段

通勤・通学の交通手段では、「電車」が35.6%と最も高く、次いで「自転車」が28.9%でした。

居住地区別にみると、鉄道3駅がある上戸田1地区、上戸田2地区及び新曽地区の3地区に加えて下戸田2地区は、「電車」の割合が他地区より高くなっています。一方、笹目地区及び美女木地区は、「自家用車」の割合が他地区より高くなっています。

通勤・通学地別でみると、「戸田市内」は「自転車」(57.3%)に次いで「徒歩のみ」(24.7%)が高くなっています。「東京都」や「さいたま市」は「電車」の割合が高くなっています。また、「川口市」は、他の通勤・通学地と比べて、「自家用車」(33.3%)が高いことが特徴です。

図表 17 通勤・通学の交通手段(全体)



図表 18 通勤・通学の交通手段(全体・居住地区別・通勤・通学地別)

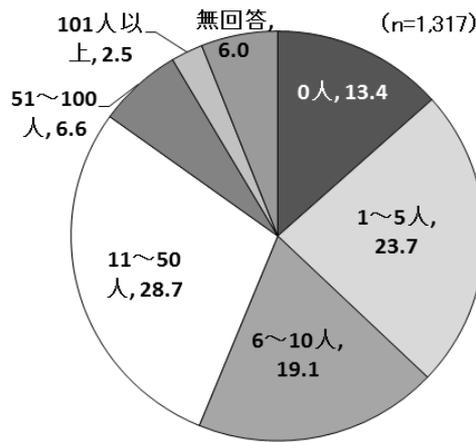
		徒歩のみ	電車	自家用車	バス	自転車	オートバイ	通勤・通学していない	その他
全体(1,317)		9.0	35.6	11.5	8.4	28.9	2.2	15.7	2.1
居住地区別	下戸田1地区(165)	12.1	33.9	9.1	14.5	36.4	0.6	15.2	2.4
	下戸田2地区(251)	6.8	37.1	12.4	9.2	31.5	2.0	13.9	2.0
	上戸田1地区(142)	10.6	42.3	9.2	3.5	23.9	1.4	16.2	0.7
	上戸田2地区(195)	5.6	47.7	7.2	5.6	16.4	2.1	14.9	3.6
	新曽地区(279)	8.2	39.1	11.5	6.8	30.5	2.5	13.6	1.4
	笹目地区(164)	9.8	20.1	15.2	10.4	34.8	3.7	22.0	2.4
	美女木地区(121)	14.0	20.7	17.4	9.1	27.3	3.3	17.4	1.7
通勤・通学地別	戸田市内(369)	24.7	4.7	18.7	7.7	57.3	2.7	3.7	3.7
	川口市(51)	4.5	11.4	38.6	15.9	38.6	4.5	0.0	2.3
	さいたま市(113)	5.6	59.7	27.8	20.8	37.5	4.2	0.0	1.4
	蕨市(25)	5.0	0.0	25.0	10.0	80.0	5.0	0.0	0.0
	県内その他の市町村(72)	8.7	67.4	26.1	19.6	23.9	6.5	0.0	4.3
	東京都(587)	6.7	90.0	8.5	11.1	30.8	2.6	0.3	1.0
	県外(東京都を除く)(30)	4.3	78.3	8.7	8.7	21.7	0.0	0.0	8.7
	通勤・通学していない(224)	2.2	1.1	1.8	2.2	2.9	0.4	69.5	1.5
	無回答(21)	0.7	3.4	0.7	2.0	2.7	0.7	2.7	1.4

(13) 友人・知人

戸田市に住んでいる友人・知人の数は、「11～50人」が最も多く28.7%で、次いで「1～5人」が23.7%でした。

年齢別でみると、60歳以上では、「1～5人」と「6～10人」の割合が高くなっています。また、40歳代では、「11～50人」、「50～100人」及び「101人以上」で他の地区よりも高くなっています。

図表 19 友人・知人(全体)



図表 20 友人・知人(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		0人	1~5人	6~10人	11~50人	51~100人	101人以上	無回答
全体(1,317)		13.4	23.7	19.1	28.7	6.6	2.5	6.0
性別	男性(562)	19.6	27.9	16.5	24.0	5.7	2.3	3.9
	女性(755)	8.7	20.5	21.1	32.2	7.3	2.6	7.5
年齢別	16~19歳(32)	6.3	3.1	12.5	25.0	18.8	28.1	6.3
	20~29歳(129)	19.4	20.2	16.3	29.5	7.8	2.3	4.7
	30~39歳(262)	17.9	26.7	17.9	28.2	5.3	2.3	1.5
	40~49歳(278)	14.7	16.9	18.0	35.6	7.6	2.9	4.3
	50~59歳(192)	15.1	29.2	17.7	27.1	4.7	2.1	4.2
	60~69歳(202)	9.9	26.7	23.8	24.8	6.4	0.5	7.9
	70歳以上(222)	5.4	26.1	21.6	25.7	6.3	0.9	14.0
居住地区別	下戸田1地区(165)	10.3	23.0	24.8	28.5	5.5	1.8	6.1
	下戸田2地区(251)	13.5	23.9	15.1	33.1	7.2	1.2	6.0
	上戸田1地区(142)	14.1	24.6	14.1	34.5	4.2	2.8	5.6
	上戸田2地区(195)	13.3	26.2	16.9	27.2	5.6	3.6	7.2
	新曽地区(279)	17.2	19.4	23.7	24.0	6.1	3.6	6.1
	笹目地区(164)	10.4	25.0	18.9	32.3	7.9	1.8	3.7
	美女木地区(121)	11.6	27.3	19.0	21.5	10.7	2.5	7.4

#### (14) 友人・知人との関係

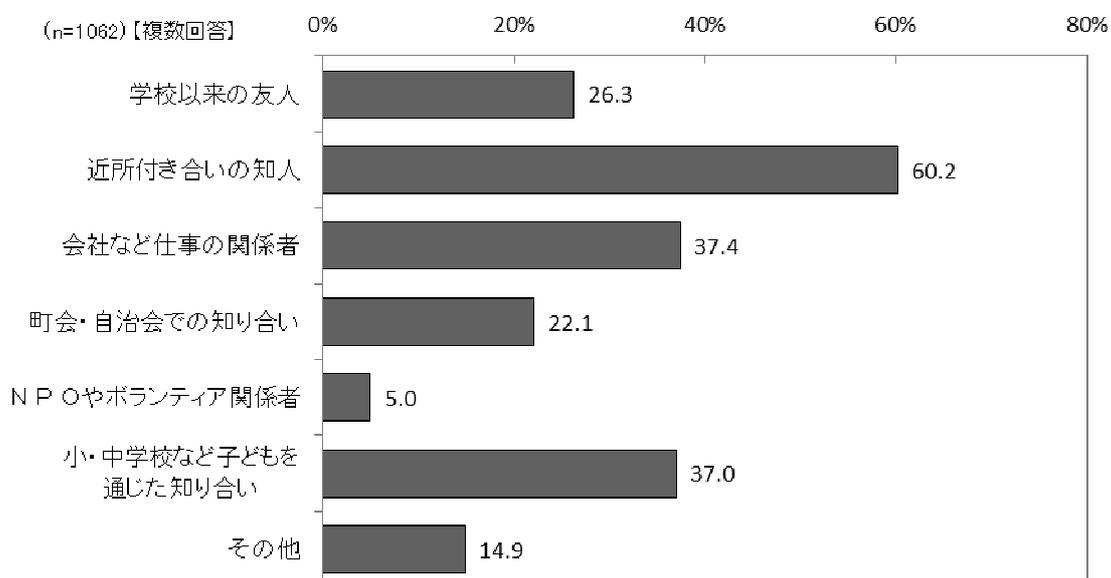
全標本 1,317 のうち、友人・知人の数が 1 人以上の標本は、1,062 でした。これを友人・知人との関係を考える際の集計母数  $n$  とします。

友人・知人との関係は、「近所付き合い」が 60.2% で最も多く、次いで「仕事関係者」が 37.4%、「子どもを通じた知り合い」が 37.0% でした。一方、低い値となったのは、「NPO・ボランティア」の 5.0% でした。

性別にみると、特に女性の「小・中学校など子どもを通じた知り合い」が 47.8% と男性 21.2% に比べて大幅に高いことが特徴です。

年齢別にみると、「近所付き合いの知人」及び「町会・自治会での知り合い」において、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。

図表 21 友人・知人との関係(全体)



図表 22 友人・知人との関係(全体・性別・年齢別・居住地区別・友人・知人の数別)

【複数回答】		学校 以来の 友人	近所 付き 合いの 知人	会社 など 仕事 の 関係 者	合 町 会 ・ 自 治 会 で の 知 り	関 係 者 N P O や ボ ラ ン テ ィ ア	を 通 じ た 知 り 合 い の 子 ど も	そ の 他
全体(1,062)		26.3	60.2	37.4	22.1	5.0	37.0	14.9
性別	男性(430)	27.0	57.9	43.7	23.3	4.9	21.2	15.3
	女性(632)	25.8	61.7	33.1	21.4	5.1	47.8	14.6
年齢別	16～19歳(28)	96.4	50.0	3.6	7.1	3.6	10.7	3.6
	20～29歳(98)	67.3	38.8	29.6	6.1	3.1	14.3	10.2
	30～39歳(211)	23.2	50.7	37.0	7.6	2.4	47.9	13.3
	40～49歳(225)	24.9	61.3	45.3	21.3	4.9	60.9	11.6
	50～59歳(155)	24.5	66.5	40.6	24.5	3.9	39.4	14.8
	60～69歳(166)	12.0	67.5	42.2	27.1	6.6	27.1	20.5
	70歳以上(179)	12.8	70.9	30.2	44.7	8.9	17.9	20.1
居住地区別	下戸田1地区(138)	23.9	60.9	37.7	21.0	4.3	32.6	19.6
	下戸田2地区(202)	25.2	64.4	31.2	21.8	7.4	41.6	11.9
	上戸田1地区(114)	21.9	58.8	39.5	21.9	0.9	36.0	23.7
	上戸田2地区(155)	23.9	61.9	36.1	18.1	5.8	35.5	16.1
	新曽地区(214)	28.0	53.7	37.4	16.8	2.8	39.7	11.2
	笹目地区(141)	34.0	60.3	41.1	30.5	5.0	34.8	17.0
	美女木地区(98)	25.5	63.3	43.9	30.6	9.2	34.7	7.1
友人・知人の数別	1～5人(312)	23.9	60.9	37.7	21.0	4.3	32.6	19.6
	6～10人(252)	25.2	64.4	31.2	21.8	7.4	41.6	11.9
	11～50人(378)	21.9	58.8	39.5	21.9	0.9	36.0	23.7
	51～100人(87)	23.9	61.9	36.1	18.1	5.8	35.5	16.1
	101人以上(33)	28.0	53.7	37.4	16.8	2.8	39.7	11.2

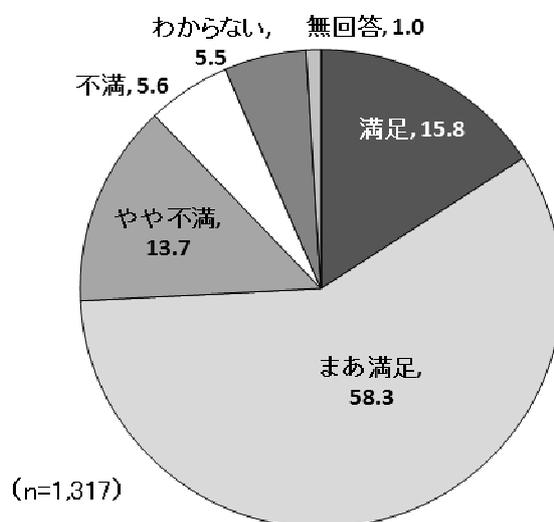
### (15) 生活満足度

全般的な生活満足度については、「満足」及び「まあ満足」を合わせると74.1%であり、約4人に3人は満足しているという結果でした。また、「やや不満」は13.7%、「不満」は5.6%でした。

年齢別にみると、年齢が上がるほど満足度は低くなる傾向が見られますが、70歳以上では、「満足」が18.0%と高くなっています。50歳代は、「やや不満」「不満」ともに、どの年齢区分よりも高くなっています。

居住地区別では、上戸田2地区が唯一、「満足」及び「まあ満足」を合すると80%を超えています。一方、「不満」及び「やや不満」を合わせると、最も高いのは美女木地区の25.6%であり、次いで上戸田1地区の23.9%となっています。

図表 23 生活満足度(全体)



図表 24 生活満足度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体(1,317)		15.8	58.3	13.7	5.6	5.5	1.0
性別	男性(562)	14.8	54.4	15.8	6.6	7.1	1.2
	女性(755)	16.6	61.2	12.2	4.9	4.4	0.8
年齢別	16～19歳(32)	31.3	56.3	9.4	0.0	3.1	0.0
	20～29歳(129)	18.6	64.3	8.5	2.3	5.4	0.8
	30～39歳(262)	17.2	62.2	14.9	3.8	1.5	0.4
	40～49歳(278)	15.1	62.2	13.7	5.0	4.0	0.0
	50～59歳(192)	10.4	52.6	18.2	10.9	6.8	1.0
	60～69歳(202)	13.4	53.0	14.4	6.9	10.9	1.5
	70歳以上(222)	18.0	55.4	11.7	5.4	6.8	2.7
居住地区別	下戸田1地区(165)	20.0	50.3	10.3	10.3	8.5	0.6
	下戸田2地区(251)	12.4	64.1	13.5	4.0	4.4	1.6
	上戸田1地区(142)	16.9	52.1	16.2	7.7	4.9	2.1
	上戸田2地区(195)	20.5	60.5	12.8	2.6	3.6	0.0
	新曽地区(279)	15.4	59.9	12.2	6.1	6.5	0.0
	笹目地区(164)	11.0	62.2	17.1	1.8	6.1	1.8
	美女木地区(121)	15.7	52.1	16.5	9.1	5.0	1.7

## Ⅱ. 調査結果の分析

### 1. 定住意向について

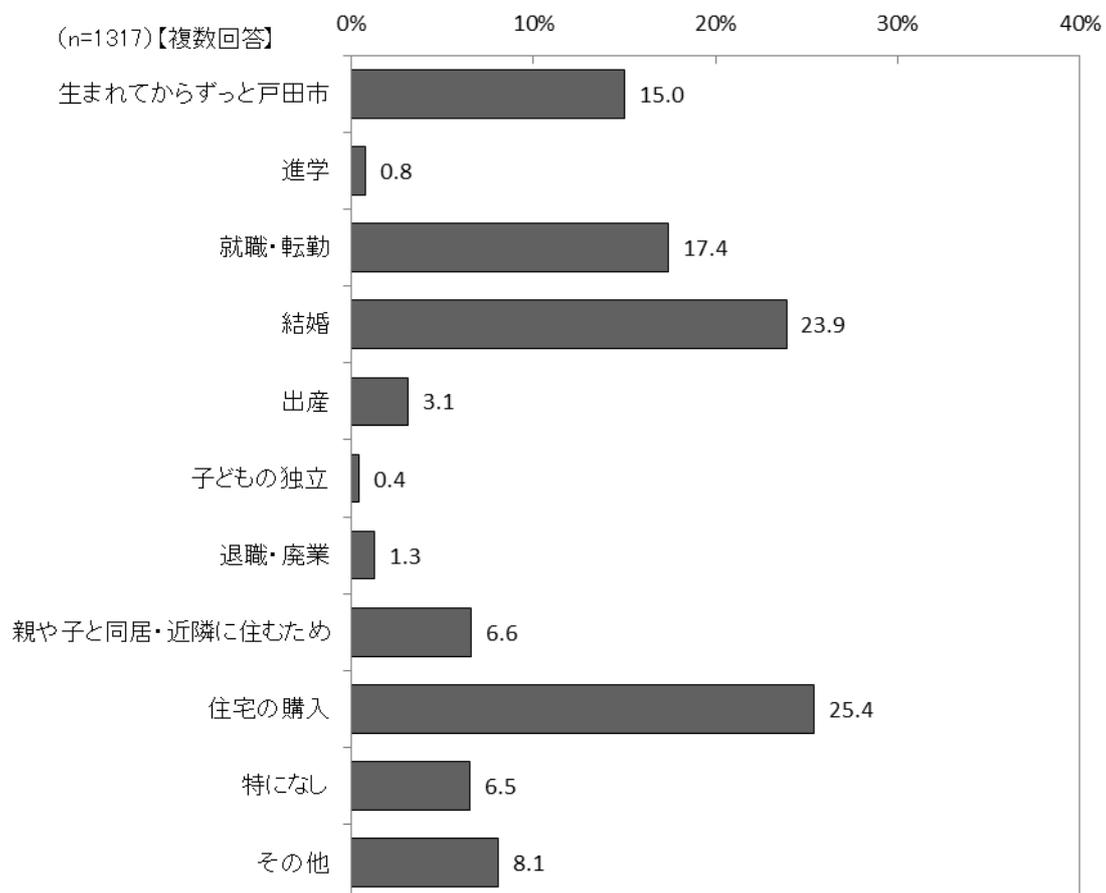
#### (1) 戸田市に移転したきっかけ

問 16 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

#### 【全体の回答傾向】

- ・戸田市に住むことを決めた直接の理由(複数回答)については、「住宅の購入」が25.4%と最も高く、次いで「結婚」が23.9%となっています。
- ・また、「生まれてからずっと戸田市」は15.0%となっています。

図表 25 戸田市に移転したきっかけ(全体)



### 【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は「就職・転勤」が女性より 8.2 ポイント高くなっており、一方、女性は「結婚」が男性と比べて 11.0 ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、10 歳代と 20 歳代は「生まれてからずっと戸田市」が高く、30 歳代と 40 歳代は、「結婚」が高くなっています。また、「住宅の購入」は 50 歳代以上で高くなっており、特に 70 歳以上では 40.1%と他の年代よりも高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「結婚」が多いのは上戸田 2 地区及び新曽地区でした。また、「住宅の購入」は下戸田 2 地区で 39.8%と他の地区に比べて特に高くなっています。

図表 26 戸田市に移転したきっかけ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		と生 戸 ま れ て か ら ず っ	進 学	就 職 ・ 転 勤	結 婚	出 産	子 ど も の 独 立	退 職 ・ 廃 業	隣 親 に や 子 と 同 居 ・ 近	住 宅 の 購 入	特 に な し	そ の 他
全体(1,317)		15.0	0.8	17.4	23.9	3.1	0.4	1.3	6.6	25.4	6.5	8.1
性別	男性(562)	16.4	0.7	22.1	17.6	2.8	0.2	2.3	5.7	26.7	6.8	7.5
	女性(755)	13.9	0.8	13.9	28.6	3.3	0.5	0.5	7.3	24.5	6.2	8.6
年齢別	16～19歳(32)	56.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	0.0	12.5
	20～29歳(129)	30.2	2.3	21.7	15.5	0.8	0.0	0.0	7.0	9.3	6.2	7.8
	30～39歳(262)	12.6	0.4	18.7	32.4	6.1	0.0	0.8	4.2	21.4	4.2	6.1
	40～49歳(278)	14.0	0.7	18.7	30.2	3.6	0.0	0.4	7.6	22.3	5.8	5.4
	50～59歳(192)	9.9	1.0	18.2	20.8	1.6	0.5	1.6	6.8	28.6	7.3	9.9
	60～69歳(202)	10.9	1.0	14.9	21.8	5.0	1.5	3.0	9.4	28.2	8.9	10.4
	70歳以上(222)	12.2	0.0	14.0	18.9	0.5	0.5	2.3	5.4	40.1	8.1	9.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	13.9	0.6	15.2	22.4	2.4	0.6	1.2	9.1	21.2	6.7	12.1
	下戸田2地区(251)	12.4	1.2	12.0	22.3	4.0	0.0	1.2	6.4	39.8	4.4	6.0
	上戸田1地区(142)	16.9	0.7	17.6	23.2	4.2	0.0	2.8	4.9	23.9	6.3	8.5
	上戸田2地区(195)	13.3	1.5	21.0	28.2	3.1	0.0	1.0	7.7	21.0	6.7	5.6
	新曽地区(279)	15.8	0.0	19.4	25.8	2.5	1.1	0.7	5.7	20.4	6.8	6.8
	笹目地区(164)	17.7	0.6	19.5	23.8	3.0	0.0	2.4	8.5	23.8	4.9	7.9
	美女木地区(121)	16.5	0.8	18.2	19.0	2.5	0.8	0.0	3.3	24.0	11.6	14.0

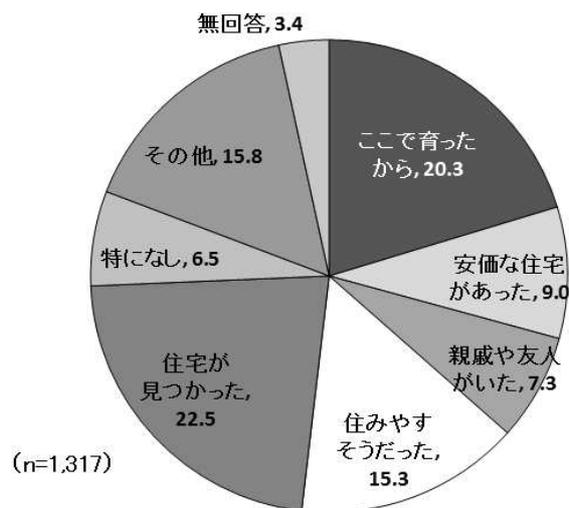
## (2) 戸田市に住んでいる理由

問 17 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(〇は1つ)

### 【全体の回答傾向】

- ・戸田市に住んでいる理由については、「住宅が見つかった」が22.5%と最も高く、次いで「ここで育ったから」が、20.3%となっています。

図表 27 戸田市に住んでいる理由(全体)



### 【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、10歳代と20歳代及び40歳代で「ここで育ったから」が高くなっています。
- ・30歳代と40歳代は「比較的安価な住宅があったから」と「住みやすそうだったから」が他の年代と比べて高い傾向となっています。
- ・60歳代及び70歳以上では、「親戚や友人がいたから」の割合が他の年代より高くなっています。
- ・「たまたま住宅が見つかったから」については、年齢が上がるほど高くなっています。
- ・「特になし」については、20歳代、30歳代及び40歳代で低くなっています。
- ・居住地区別でみると、下戸田1地区及び下戸田2地区は「たまたま住宅が見つかったから」が高くなっています。また、笹目地区及び美女木地区では「ここで育ったから」が高くなっています。

図表 28 戸田市に住んでいる理由(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		こ こ で 育 つ た か ら	が あ ら ば あ ら か ら な 住 宅	比 較 的 に 安 価 な 住 宅	か ら 親 戚 や 友 人 が い た	た ま ら ず す ま い だ つ	つ ま た た ま に 見 え る 住 宅 が あ る	特 に な し	そ の 他	無 回 答
全体(1,317)		20.3	9.0	7.3	15.3	22.5	6.5	15.8	3.4	
性別	男性(562)	21.9	9.6	6.0	16.0	22.1	7.7	13.9	2.8	
	女性(755)	19.1	8.5	8.2	14.7	22.8	5.7	17.2	3.8	
年齢別	16～19歳(32)	71.9	0.0	3.1	3.1	6.3	12.5	0.0	3.1	
	20～29歳(129)	45.7	10.9	2.3	14.0	12.4	2.3	11.6	0.8	
	30～39歳(262)	13.4	14.5	6.1	23.7	17.9	2.3	16.8	5.3	
	40～49歳(278)	21.2	12.2	6.1	19.1	22.3	3.2	14.7	1.1	
	50～59歳(192)	18.8	6.8	5.7	13.5	22.9	10.4	17.2	4.7	
	60～69歳(202)	12.9	5.0	9.4	10.9	28.2	10.4	20.3	3.0	
	70歳以上(222)	13.1	4.1	13.1	8.6	30.6	10.4	15.3	5.0	
居住地区別	下戸田1地区(165)	21.8	8.5	8.5	15.8	24.2	7.9	12.1	1.2	
	下戸田2地区(251)	16.3	8.0	5.6	15.9	29.1	4.8	15.9	4.4	
	上戸田1地区(142)	21.1	7.7	9.9	16.2	16.2	8.5	17.6	2.8	
	上戸田2地区(195)	16.9	10.3	7.7	16.9	19.5	4.1	19.5	5.1	
	新曽地区(279)	19.4	11.1	7.2	17.9	21.1	4.7	16.5	2.2	
	笹目地区(164)	26.2	6.7	7.3	11.0	22.0	11.0	12.8	3.0	
	美女木地区(121)	24.8	9.1	5.8	9.1	22.3	8.3	14.9	5.8	

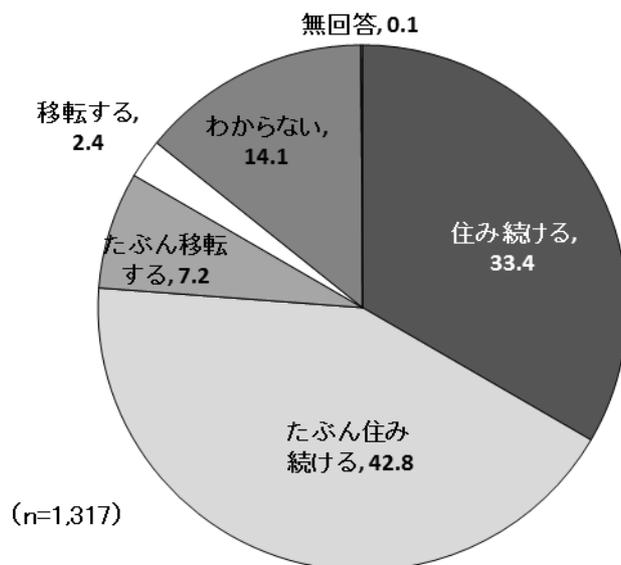
(3) 戸田市に住み続けたいか

問 18 あなたは、戸田市にこれからも住みたいと思いますか。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせると 76.2%となっています。一方、「たぶん移転する」と「移転する」を合わせると 9.6%となっています。

図表 29 戸田市に住み続けたいか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、「住み続ける」については、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られます。一方、「たぶん移転する」「移転する」をみると、いずれも10歳代及び20歳代で高くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区及び美女木地区で「住み続ける」が高くなっています。

図表 30 戸田市に住み続けたいか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		住み続ける	たぶん住み続ける	たぶん移転する	移転する	わからない	無回答
全体(1,317)		33.4	42.8	7.2	2.4	14.1	0.1
性別	男性(562)	33.1	43.1	8.0	3.4	12.5	0.0
	女性(755)	33.6	42.6	6.6	1.6	15.4	0.1
年齢別	16～19歳(32)	9.4	37.5	28.1	3.1	21.9	0.0
	20～29歳(129)	17.1	34.9	23.3	5.4	19.4	0.0
	30～39歳(262)	22.5	45.8	9.5	4.6	17.6	0.0
	40～49歳(278)	30.6	51.8	5.0	1.1	11.5	0.0
	50～59歳(192)	29.2	48.4	4.2	2.6	15.6	0.0
	60～69歳(202)	38.6	39.6	3.5	1.5	16.8	0.0
	70歳以上(222)	61.7	31.5	0.9	0.0	5.4	0.5
居住地区別	下戸田1地区(165)	29.1	46.1	5.5	3.6	15.8	0.0
	下戸田2地区(251)	33.5	48.2	5.6	1.2	11.6	0.0
	上戸田1地区(142)	36.6	33.1	9.9	1.4	19.0	0.0
	上戸田2地区(195)	32.8	43.1	8.2	1.0	14.9	0.0
	新曽地区(279)	26.2	47.7	8.2	4.3	13.3	0.4
	笹目地区(164)	39.6	39.0	6.7	1.2	13.4	0.0
	美女木地区(121)	44.6	32.2	6.6	3.3	13.2	0.0

## 2. 健康づくりについて

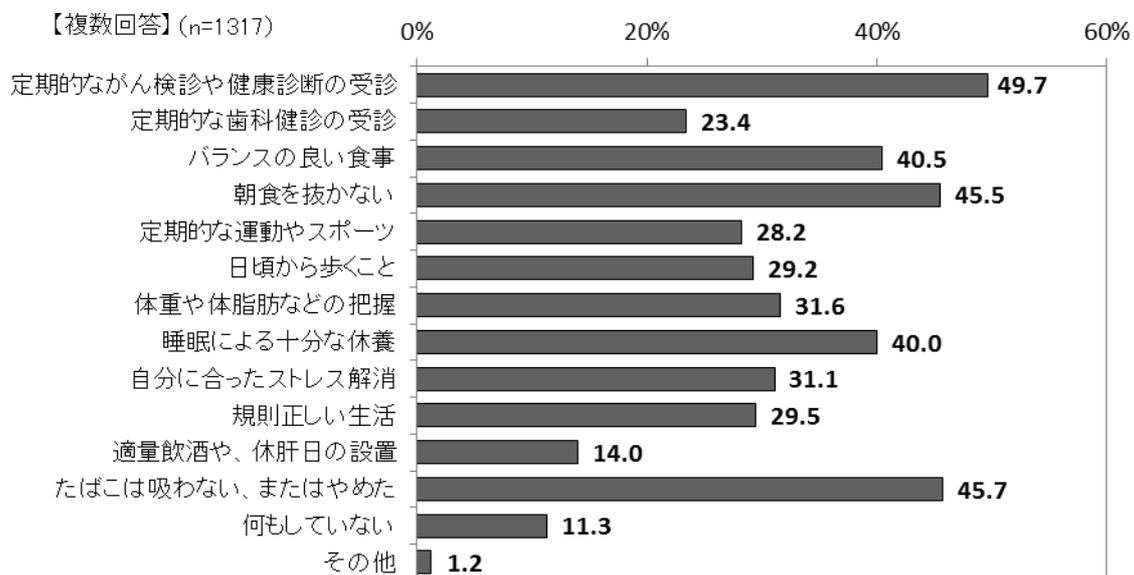
### (1) 健康のために留意していること

問 19 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

#### 【全体の回答傾向】

- 健康のために留意していることについては、「定期的ながん検診や健康診断の受診」が49.7%と最も高く、次いで、「たばこは吸わない、またはやめた」(45.7%)、「朝食を抜かない」(45.5%)となっています。一方、「何もしていない」は、「その他」を除けば11.3%と最も低くなっています。

図表 31 健康のために留意していること(全体)



#### 【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、男女とも「定期的ながん検診や健康診断の受診」が最も高くなっています。また、男性は女性に比べ、「定期的な運動やスポーツ」、「適量飲酒や、休肝日の設置」が高く、女性は男性に比べ、「定期的な歯科検診の受診」、「バランスの良い食事」、「規則正しい生活」が高くなっています。
- 年齢別にみると、「何もしていない」を除き、年齢が上がるにつれて高くなる傾向があります。「何もしていない」については、年齢が上がるにつれて低くなっています。また、16～19歳は「定期的ながん検診や健康診断の受診」は0.0%となっています。
- 居住地区別にみると、下戸田1地区を除く全ての居住地区で「定期的ながん検診や健康診断の受診」、「朝食を抜かない」、「たばこは吸わない、またはやめた」が上位3位までに入っています。一方、他の地域に比べ、下戸田1地区は、「定期的ながん検診や健康診断の受診」が低く、「何もしていない」が高くなっています。

図表 32 健康のために留意していること(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	休肝日の設置、適量飲酒や、	たばこは吸わない、またはやめた	何もしていない	その他
全体(1,317)		49.7	23.4	40.5	45.5	28.2	29.2	31.6	40.0	31.1	29.5	14.0	45.7	11.3	1.2
性別	男性(562)	49.5	19.4	33.6	41.5	34.7	30.2	28.6	38.6	29.0	24.0	19.0	47.7	13.7	0.9
	女性(755)	49.9	26.4	45.7	48.5	23.4	28.5	33.8	41.1	32.7	33.5	10.2	44.2	9.5	1.5
年齢別	16～19歳(32)	0.0	6.3	31.3	53.1	21.9	15.6	15.6	37.5	31.3	15.6	3.1	15.6	18.8	0.0
	20～29歳(129)	22.5	16.3	30.2	31.8	23.3	19.4	27.1	39.5	32.6	24.0	16.3	40.3	16.3	0.0
	30～39歳(262)	42.0	17.6	35.1	39.3	23.3	21.8	25.6	44.7	30.5	30.5	14.9	45.4	11.5	0.4
	40～49歳(278)	57.2	19.8	37.1	43.5	27.3	24.5	34.5	36.3	32.7	22.7	12.9	47.1	10.1	0.0
	50～59歳(192)	53.6	20.3	44.3	40.6	33.9	25.5	29.7	31.8	27.6	23.4	14.6	40.1	13.0	2.6
	60～69歳(202)	57.9	35.1	48.5	48.0	30.7	41.1	43.1	40.6	36.1	36.6	15.3	50.0	8.9	1.5
	70歳以上(222)	61.7	33.3	48.2	64.0	32.0	44.1	31.1	46.4	27.5	40.5	12.6	52.7	9.5	3.2
居住地区別	下戸田1地区(165)	38.8	21.8	41.2	46.7	26.7	27.9	27.9	40.6	30.9	29.1	16.4	46.1	18.2	1.8
	下戸田2地区(251)	53.8	19.9	42.2	45.4	29.9	29.9	32.7	42.6	28.3	30.7	13.1	43.8	7.6	0.8
	上戸田1地区(142)	54.2	27.5	43.0	43.0	31.0	33.8	31.7	40.1	36.6	23.9	12.0	48.6	9.2	0.7
	上戸田2地区(195)	53.3	26.7	43.6	46.7	31.8	31.8	39.0	39.5	29.2	33.8	19.5	49.2	9.7	1.5
	新曽地区(279)	50.2	22.9	36.2	42.3	26.9	28.0	30.5	39.8	30.1	25.8	14.0	41.2	11.1	1.1
	笹目地区(164)	48.2	22.0	43.9	47.6	26.8	26.8	28.0	42.7	35.4	33.5	10.4	48.2	10.4	1.2
	美女木地区(121)	46.3	25.6	33.9	49.6	23.1	26.4	29.8	31.4	30.6	29.8	10.7	47.1	16.5	1.7

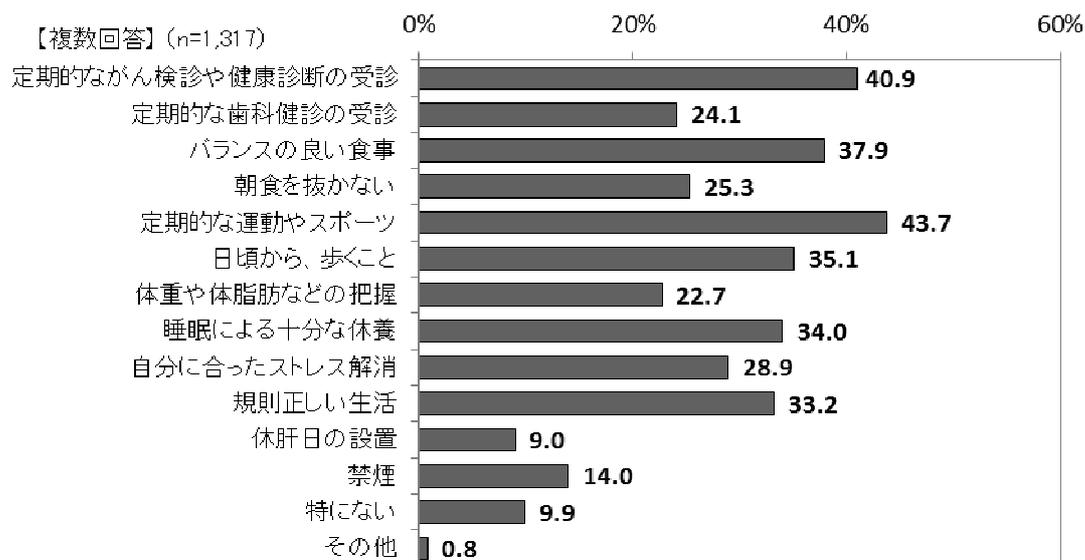
## (2) 健康のために今後取り組みたいこと

問 20 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。  
 あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

### 【全体の回答傾向】

- 健康のために今後取り組みたいことについて、「定期的な運動やスポーツ」(43.7%)が最も高く、次いで、「定期的ながん検診や健康診断の受診」(40.9%)となっています。

図表 33 健康のために今後取り組みたいこと(全体)



### 【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、男性は女性に比べ、「休肝日の設置」、「禁煙」、「特にない」が高く、女性は男性に比べ、それ以外の全ての項目で高く、その差が大きくなっています。特に、「バランスの良い食事」は12ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「定期的な運動やスポーツ」を除き、年齢が上がるにつれ、各項目の割合が高くなる傾向が見られます。また、20歳代から40歳代は、他の年齢と比べて「定期的な運動やスポーツ」が高く、70歳以上は、「朝食を抜かない」や「日頃から、歩くこと」が高くなっています。
- 居住地区別にみると、他の地区に比べ、下戸田1地区は、「定期的ながん検診や健康診断の受診」が低く、「特にない」が高くなっています。また、新曽地区では、「バランスの良い食事」、「日頃から、歩くこと」、「体重や体脂肪などの把握」が低くなっています。一方、上戸田1地区では、「自分に合ったストレス解消」が高くなっています。

図表 34 健康のために今後取り組みたいこと(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		健康診断の受診や	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から、歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	休肝日の設置	禁煙	特にない	その他
全体(1,317)		40.9	24.1	37.9	25.3	43.7	35.1	22.7	34.0	28.9	33.2	9.0	14.0	9.9	0.8
性別	男性(562)	35.4	22.2	31.0	23.8	39.7	32.4	20.6	33.3	23.5	29.5	11.9	19.2	13.0	0.5
	女性(755)	45.0	25.6	43.0	26.4	46.8	37.1	24.2	34.6	33.0	35.9	6.9	10.1	7.5	0.9
年齢別	16～19歳(32)	9.4	3.1	31.3	25.0	40.6	15.6	21.9	34.4	12.5	46.9	0.0	3.1	15.6	0.0
	20～29歳(129)	32.6	16.3	29.5	14.7	54.3	21.7	14.7	27.9	27.9	27.1	4.7	8.5	5.4	0.8
	30～39歳(262)	35.5	26.0	29.4	14.5	54.6	26.7	14.9	30.5	28.6	30.5	7.3	11.5	8.0	0.0
	40～49歳(278)	41.4	23.4	36.0	16.2	47.8	32.7	25.5	28.8	26.6	30.6	11.5	13.3	8.6	0.4
	50～59歳(192)	36.5	20.8	38.0	22.4	40.1	35.9	23.4	34.9	28.1	30.7	13.0	15.6	11.5	0.5
	60～69歳(202)	46.0	28.7	42.6	31.2	37.1	43.6	28.2	35.6	36.1	36.1	11.9	17.8	10.4	2.5
	70歳以上(222)	55.4	29.3	51.8	52.7	29.3	50.0	27.5	45.9	29.3	40.5	5.9	17.6	13.5	0.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	33.9	22.4	38.2	25.5	35.8	38.2	21.8	38.8	31.5	36.4	8.5	13.9	14.5	1.2
	下戸田2地区(251)	45.4	26.3	41.8	23.5	44.6	37.8	26.3	31.1	28.3	32.3	10.4	13.9	8.4	1.2
	上戸田1地区(142)	45.8	26.1	40.1	30.3	45.1	36.6	25.4	38.7	38.7	34.5	10.6	17.6	6.3	0.7
	上戸田2地区(195)	37.4	27.2	39.0	22.1	48.2	33.3	24.1	32.3	26.2	34.4	11.8	10.8	8.7	0.5
	新曽地区(279)	42.3	21.9	33.0	23.7	47.3	30.5	17.9	33.3	27.2	30.8	7.5	13.6	11.5	1.1
	笹目地区(164)	41.5	21.3	37.2	28.0	44.5	34.8	23.2	30.5	28.7	33.5	5.5	15.9	9.1	0.0
	美女木地区(121)	37.2	24.0	37.2	28.1	34.7	37.2	21.5	37.2	24.0	32.2	9.1	13.2	9.9	0.0

### 【定期的ながん検診や健康診断の受診について】

「健康のために留意していること」(問 19) 及び「健康のために今後取り組みたいこと」(問 20) のいずれにおいても高い値を示した「定期的ながん検診や健康診断の受診」について、問 19 及び問 20 に対する回答(選択していれば○、選択していなければ×)に基づき、回答者を4つに分類し、集計しました(図表 35)。

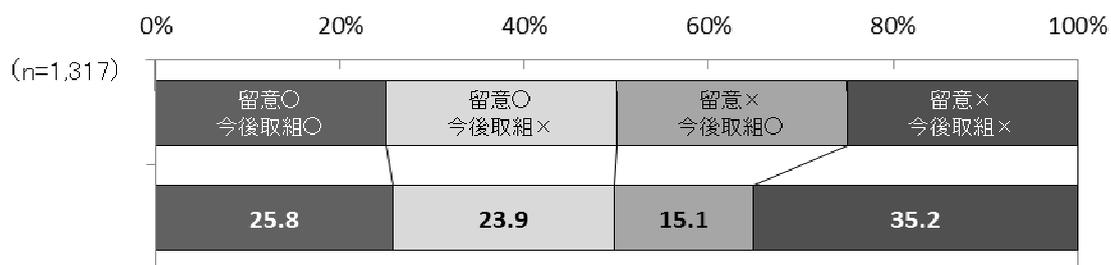
今後、がん検診や健康診断の受診者の増加を目指す場合、「現在留意していないが、今後取り組みたいと思っている(留意×今後取組○)」層に対する対策が効果的であると考えられます。

「留意×今後取組○」は、全体では 15.1%でした。さらに内訳を見ると、性別では、女性が 68.3%と男性の2倍以上という結果でした。年齢別では、30 歳代(27.1%)と 40 歳代(25.1%)の子育て世代の合計が 52.2%と半数を超えており、全体の年齢構成(41.0%、図表 2 参照)よりも多くなっています。また、雇用形態別でみると、「フルタイム正社員」(21.1%)と「パート・アルバイト」(23.6%)が多くなっています。

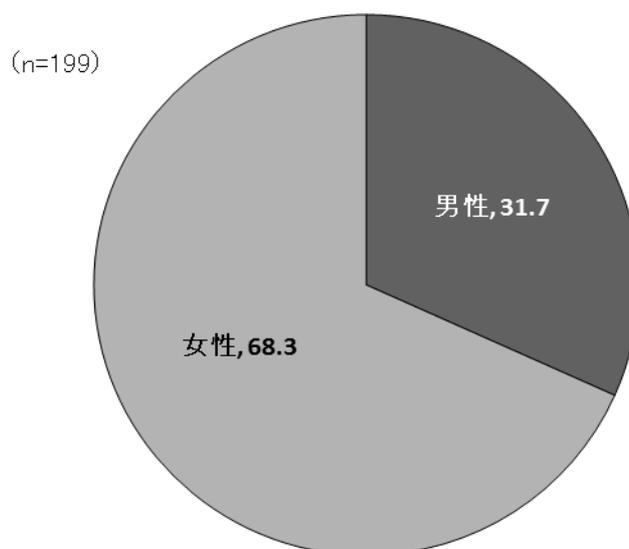
まとめると、定期的ながん検診や健康診断の受診について、「留意×今後取組○」の集団は、女性の割合が高く、年齢では 30 歳代・40 歳代の子育て世代、雇用形態では、パート・アルバイトなどが多い、という結果でした。

なお、この「留意×今後取組○」は、全体(n=1,317)の 15.1%であり、n=199 と集計母数が十分とは言えないため、そこから得た結果については、あくまで傾向を見る程度である点に留意してください。

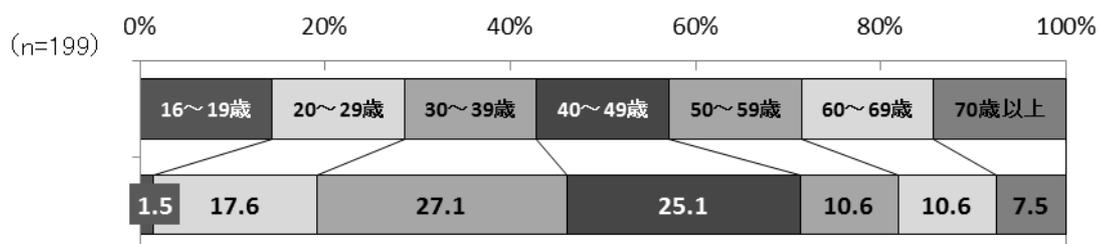
図表 35 「定期的ながん検診や健康診断の受診」(全体)



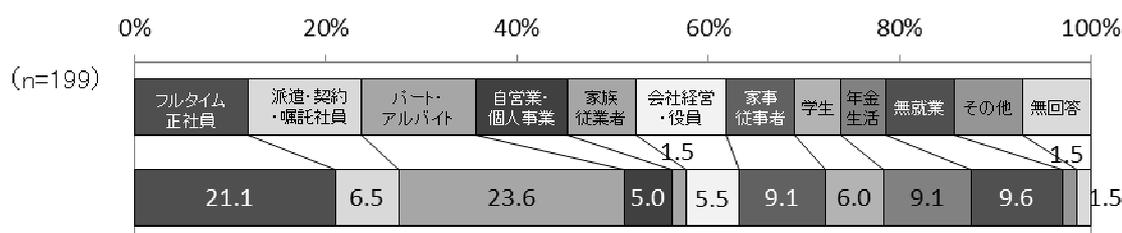
図表 36 「留意× 今後取組○」(性別)



図表 37 「留意× 今後取組○」(年齢別)



図表 38 「留意× 今後取組○」(雇用形態別)



### 3. 子育てについて

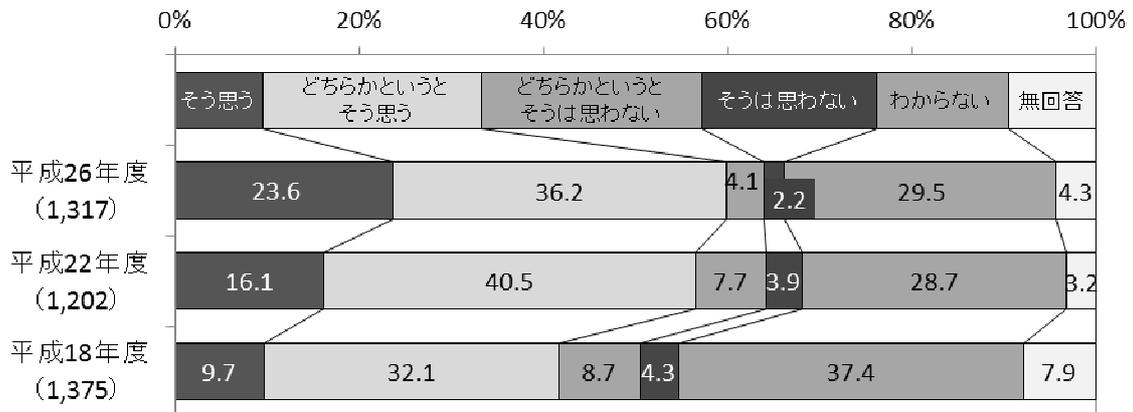
#### (1) 子育てのしやすさ

問 21 戸田市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

##### 【全体の回答傾向】

- ・戸田市の子育てのしやすさについては、「そう思う」(23.6%)と「どちらかというそう思う」(36.2%)を合わせた肯定的な意見が59.8%で半数を超えています。
- ・これまでの推移をみると、平成18年度調査以降、肯定的な意見が最も高くなっており、平成22年度調査から3.2%上昇しています。

図表 39 子育てのしやすさ(全体)



##### 【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせた肯定的な意見について、男性が55.3%であるのに対し、女性は63.2%と女性の方が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代～40歳代の現役世代の「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせた肯定的な意見が60%を超えています。また、16～19歳の「そう思う」が31.3%となっており、最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、すべての地区で、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせた肯定的な意見が50%を超えています。また、肯定的な意見が最も多いのが下戸田2地区の63.3%、最も低いのが美女木地区の56.2%となっています。

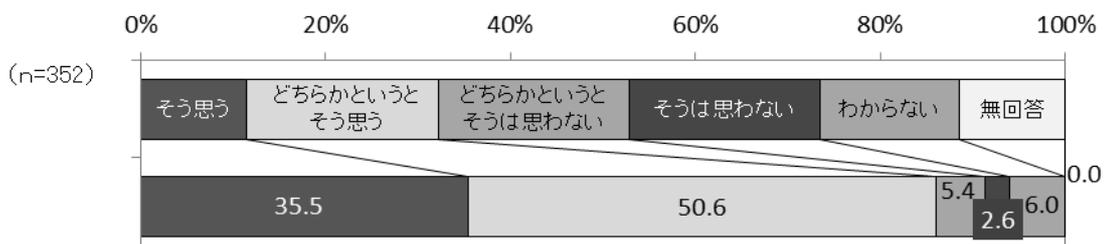
図表 40 子育てのしやすさ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという と	どちらかという と	そうは 思わない	わからない	無 回 答
全体(1,317)		23.6	36.2	4.1	2.2	29.5	4.3
性別	男性(562)	20.1	35.2	3.9	2.3	34.3	4.1
	女性(755)	26.2	37.0	4.2	2.1	26.0	4.5
年齢別	16～19歳(32)	31.3	15.6	3.1	0.0	50.0	0.0
	20～29歳(129)	20.9	43.4	3.9	0.8	30.2	0.8
	30～39歳(262)	27.9	40.5	5.3	2.3	24.0	0.0
	40～49歳(278)	28.1	39.9	5.4	2.2	23.0	1.4
	50～59歳(192)	16.7	39.6	3.6	3.6	33.9	2.6
	60～69歳(202)	18.3	31.2	4.0	2.0	38.1	6.4
	70歳以上(222)	24.3	27.0	1.8	2.3	29.3	15.3
居住地区別	下戸田1地区(165)	21.2	37.6	4.2	3.0	27.9	6.1
	下戸田2地区(251)	24.3	39.0	3.6	3.2	24.3	5.6
	上戸田1地区(142)	21.1	35.2	4.9	0.7	33.8	4.2
	上戸田2地区(195)	24.1	36.9	5.1	1.0	27.7	5.1
	新嘗地区(279)	25.8	34.8	3.9	2.5	30.5	2.5
	笹目地区(164)	26.2	32.3	3.0	0.6	34.1	3.7
	美女木地区(121)	19.0	37.2	4.1	4.1	32.2	3.3

【現役の子育て世代の回答傾向】

末子年齢が中学生以下である現役子育て世代の「子育てしやすさ」に対する意識は、「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合わせた 86.1%が子育てしやすいと回答しました。

図表 41 子育てのしやすさ(末子年齢が中学生以下の層)



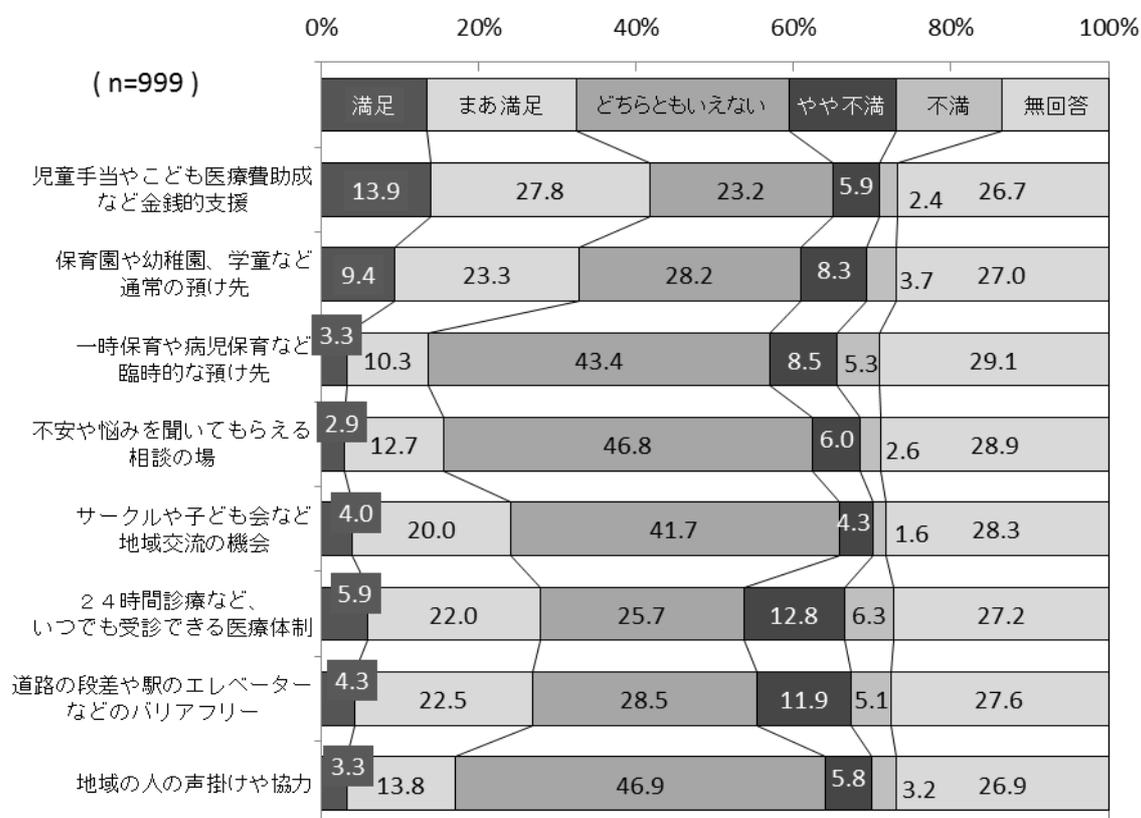
## (2) 子育てに関する満足度

問 22 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)

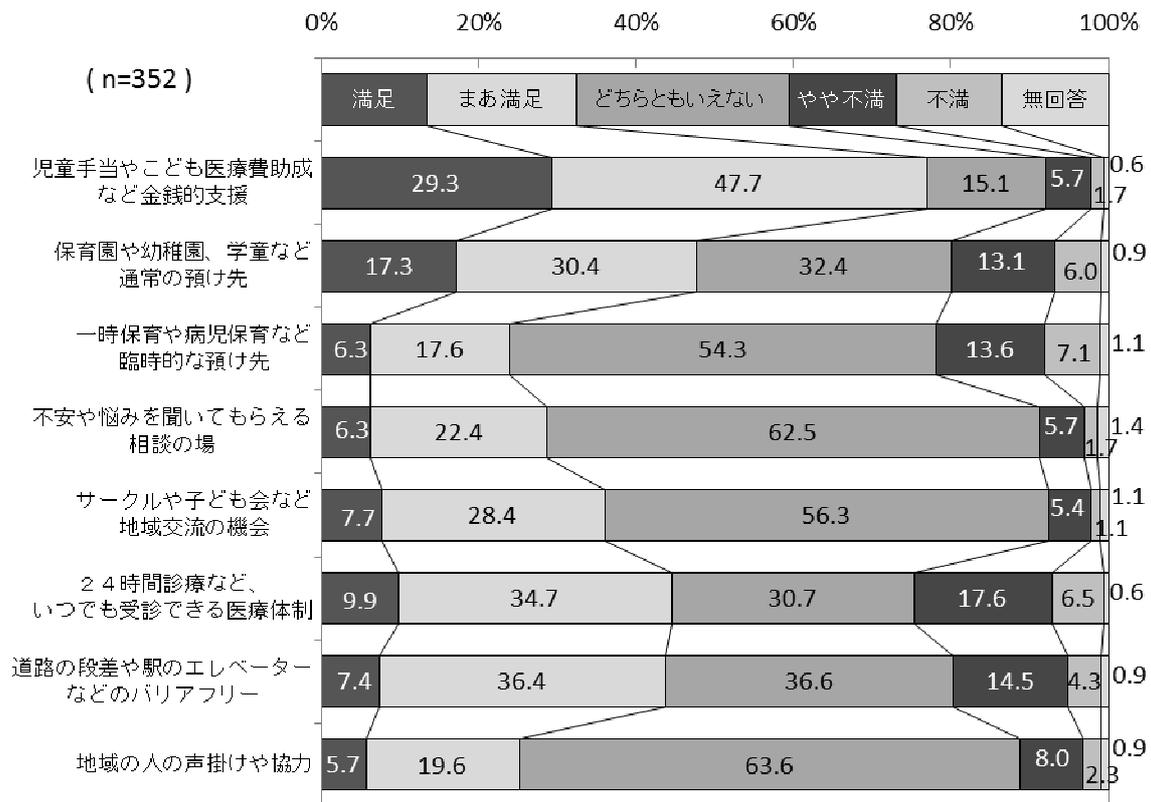
### 【回答傾向】

- ・この設問は、子どもがいる方のみ回答する設問であり、全体（n=1,317）から、子どもがいない方（n=318）を除いた n=999 が集計母数となります。
- ・「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」と「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」については、「満足」と「まあ満足」を合わせた肯定的な意見が 30%を超えています。一方で、「一時保育や病児保育など臨時的な預け先」、「不安や悩みを聞いてもらえる相談の場」、「地域の人声掛けや協力」については、肯定的な意見に関して、10%台と満足している人の割合が低くなっています。

図表 42 子育てに関する満足度(全体)



図表 43 子育てに関する満足度(末子年齢が中学生以下の層)



- ・ 現役の子育て世代である、末子年齢が中学生以下の層については、全体（図表 42）と比べて、無回答者が少なく、その分、各項目に分散しています。このことから、全ての項目で全体の割合に比べて、「満足」と「まあ満足」の割合が大きくなり、「不満」と「やや不満」の割合も大きくなっています。
- ・ 「満足」と「まあ満足」の合計が、全体（図表 42）と比べて最も高いのは、「児童手当や子ども医療費助成など金銭的支援」でした。一方、「不満」と「やや不満」の合計が全体と比べて高かったのは、「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」（+7.1%）、次いで「一時保育や病児保育など臨時的な預け先」（+6.9%）でした。

#### 4. 高齢化について

##### (1) 高齢者にとって、過ごしやすいまちだと思うか

問 23 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

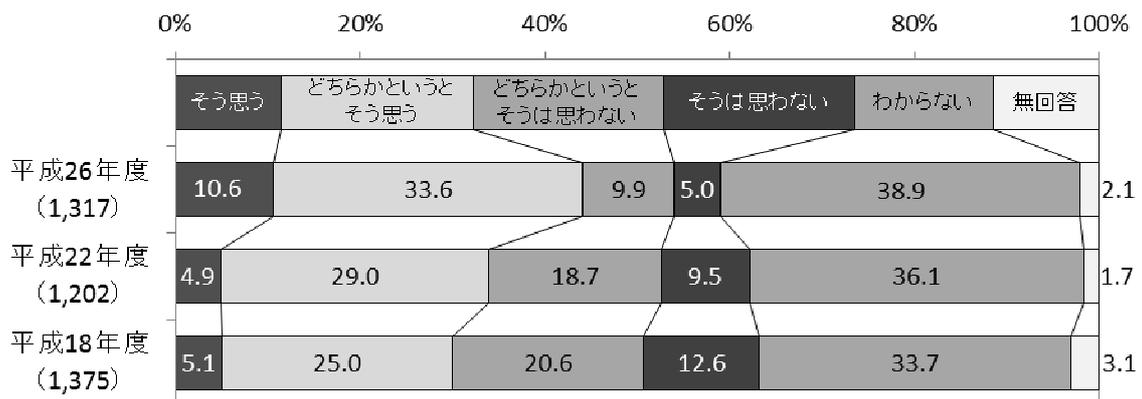
##### 【全体の回答傾向】

- ・「そう思う」(10.6%)と「どちらかというと思う」(33.6%)を合わせた肯定的な意見が44.2%となっており、平成22年度調査(33.9%)から10.3ポイント増えています。また、否定的な意見は13.3ポイント減っています。
- ・この原因としては設問の違いが考えられます。平成22年度調査の設問は、下記のとおり、「安心して快適な生活」という具体的かつ複数の問いかけとなっており、回答者が肯定しにくい側面があったことが考えられます。

(参考) 平成22年度及び平成18年度調査の設問

「あなたは、市内に住む高齢者または高齢者のいる世帯が、安心して快適な生活を送ることができると思いますか。1つだけ選んでください。」

図表 44 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか(全体)



##### 【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、16～19歳及び70歳以上で肯定的な意見が多い傾向でした。特に70歳以上は、「そう思う」(26.6%)が突出して高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田1地区と笹目地区で「そう思う」が15.2%と高い割合となっています。
- ・介護経験の有無については、回答数は少ないものの、65歳以上介護中の集計を見ると、「そう思う」が17.2%と全体に比べて高い値を示すとともに、「そうは思わない」も10.3%と全体よりも高くなっています。

図表 45 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか

(全体・性別・年齢別・居住地区別・介護経験別)

		そう 思う	そう 思う か と い う と	そう は 思 わ な い と	そう は 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体(1,317)		10.6	33.6	9.9	5.0	38.9	2.1
性別	男性(562)	10.9	31.0	9.6	5.2	41.5	2.0
	女性(755)	10.3	35.6	10.1	4.9	37.0	2.1
年齢別	16～19歳(32)	15.6	40.6	3.1	6.3	34.4	0.0
	20～29歳(129)	8.5	37.2	6.2	3.1	42.6	2.3
	30～39歳(262)	7.6	28.2	11.1	6.9	46.2	0.0
	40～49歳(278)	5.8	36.3	10.1	2.9	42.1	2.9
	50～59歳(192)	6.3	30.7	12.0	6.3	43.8	1.0
	60～69歳(202)	7.9	33.7	12.4	6.4	36.6	3.0
	70歳以上(222)	26.6	36.0	7.2	4.1	22.5	3.6
居住地区別	下戸田1地区(165)	15.2	30.9	6.7	5.5	38.2	3.6
	下戸田2地区(251)	8.4	37.5	9.6	5.2	38.6	0.8
	上戸田1地区(142)	9.9	35.2	12.7	4.9	36.6	0.7
	上戸田2地区(195)	6.7	30.8	10.3	5.1	45.6	1.5
	新嘗地区(279)	11.1	34.8	9.0	6.8	36.9	1.4
	笹目地区(164)	15.2	32.3	11.6	1.2	36.6	3.0
	美女木地区(121)	8.3	31.4	10.7	5.0	39.7	5.0
介護経験	65歳以上介護中(58)	17.2	32.8	10.3	10.3	25.9	3.4
	65歳未満介護中(12)	8.3	58.3	16.7	0.0	16.7	0.0
	過去介護経験あり(239)	9.6	40.6	13.4	7.1	27.6	1.7
	介護したことない(990)	9.9	32.3	9.1	4.3	42.3	2.0

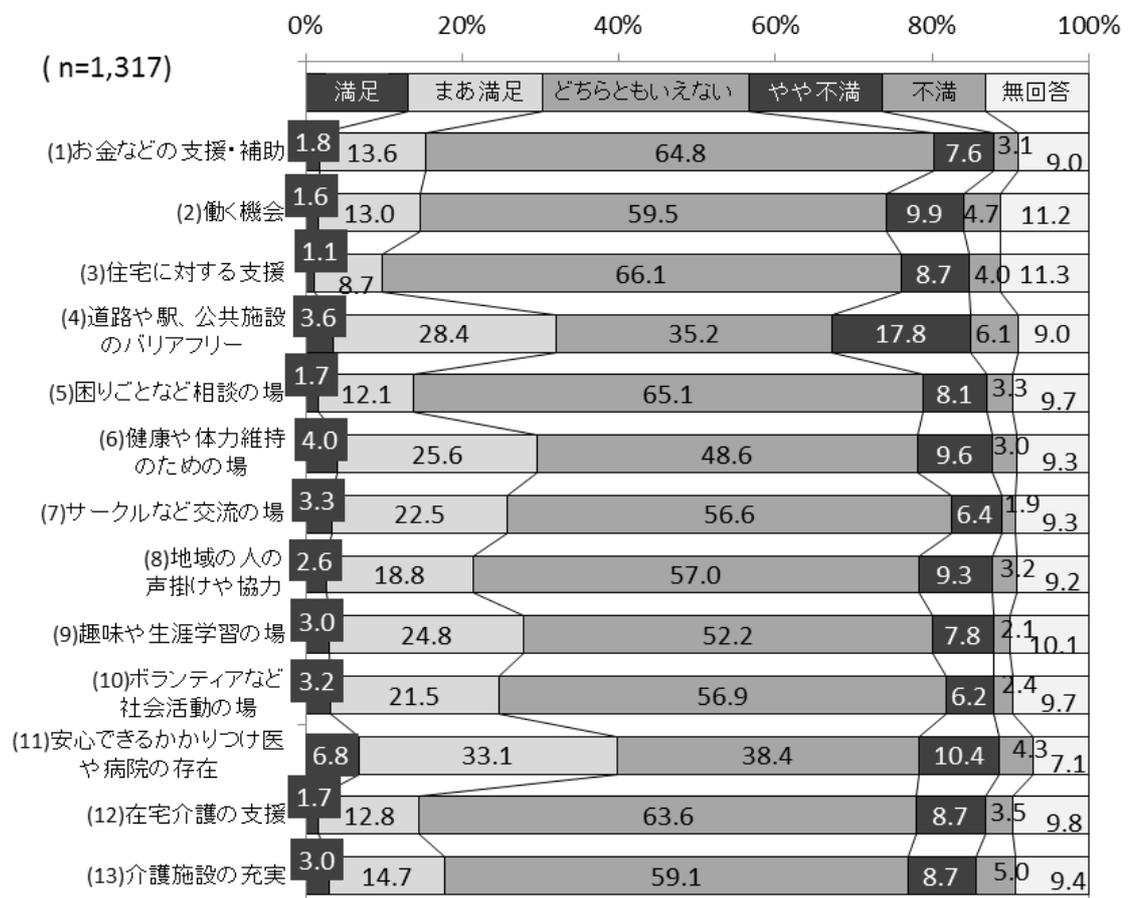
(2) 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか

問 24 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)  
 ※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

【全体の回答傾向】

- ・どの項目も、「どちらともいえない」が最も多い結果でした。
- ・「満足」及び「まあ満足」を見ると、「(11)安心できるかかりつけ医や病院の存在」が合計で 39.9%と他の項目に比べて高い割合でした。また、「(4)道路や駅、公共施設のバリアフリー」については、「満足」及び「まあ満足」が合計で 32.0%と2番目に高い満足度を示す一方で、「やや不満」及び「不満」の合計が 25.9%と突出して高いことが特徴でした。

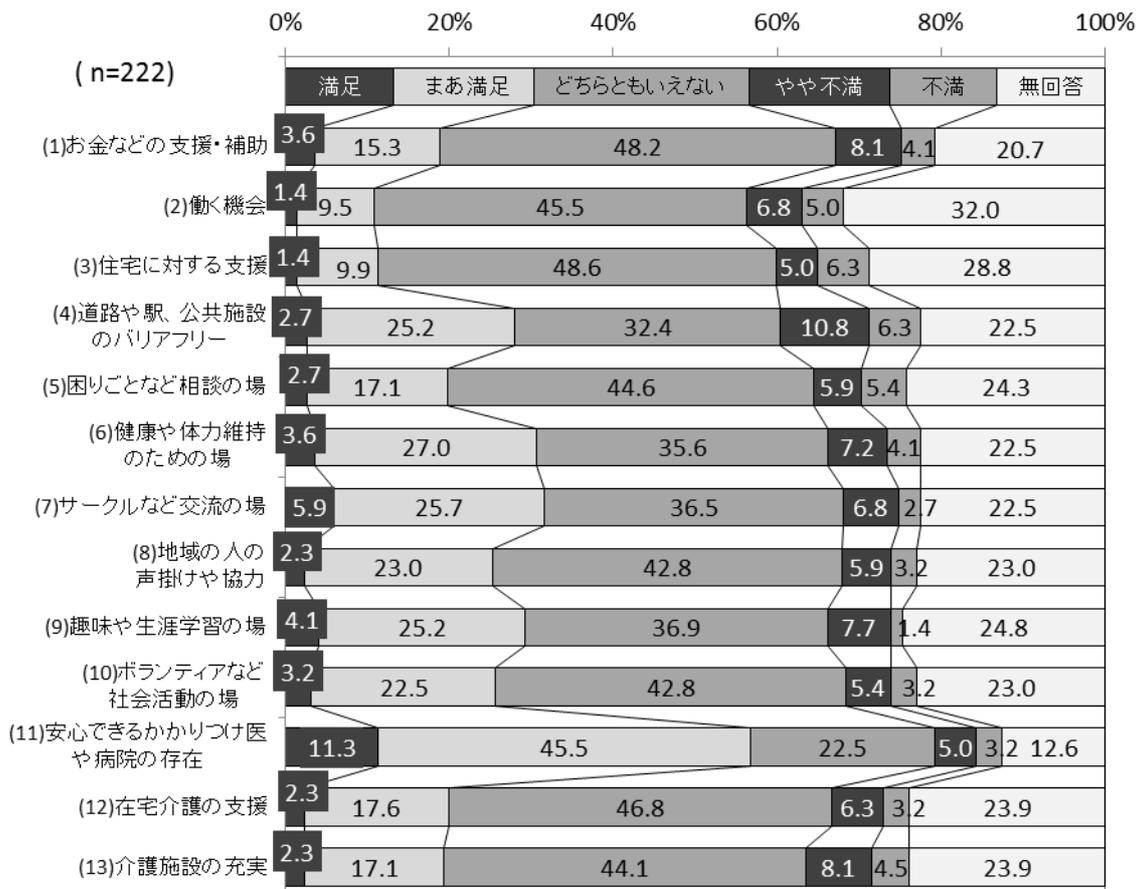
図表 46 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか(全体)



### 【70歳以上の満足度】

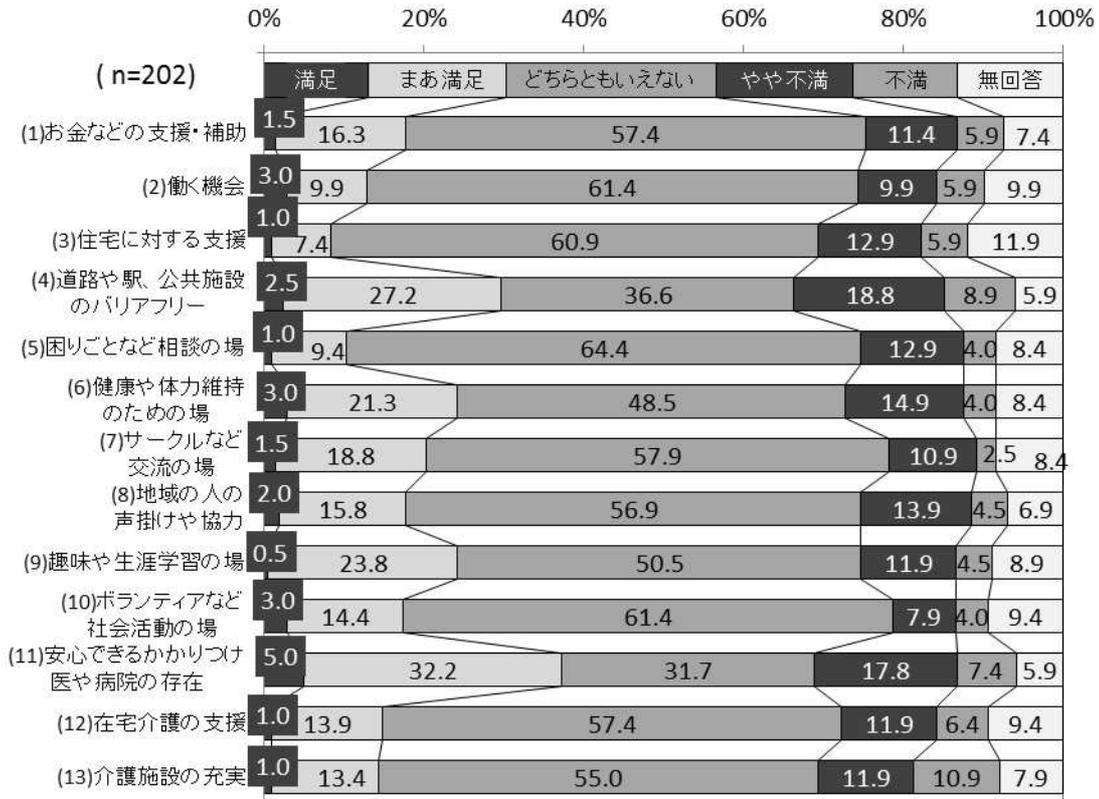
- ・70歳以上の満足度は総じて満足度が高い結果でした。最も顕著なのは、「(11)安心できるかかりつけ医や病院の存在」であり、「満足」「まあ満足」が突出して高くなっています。また、「(5)困りごとなど相談の場」が全体（図表 46）と比べて高くなっています。一方で、「(2)働く機会」や「(4)道路や駅、公共施設のバリアフリー」は、全体よりも低い値となっていました。

図表 47 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか(70歳以上)

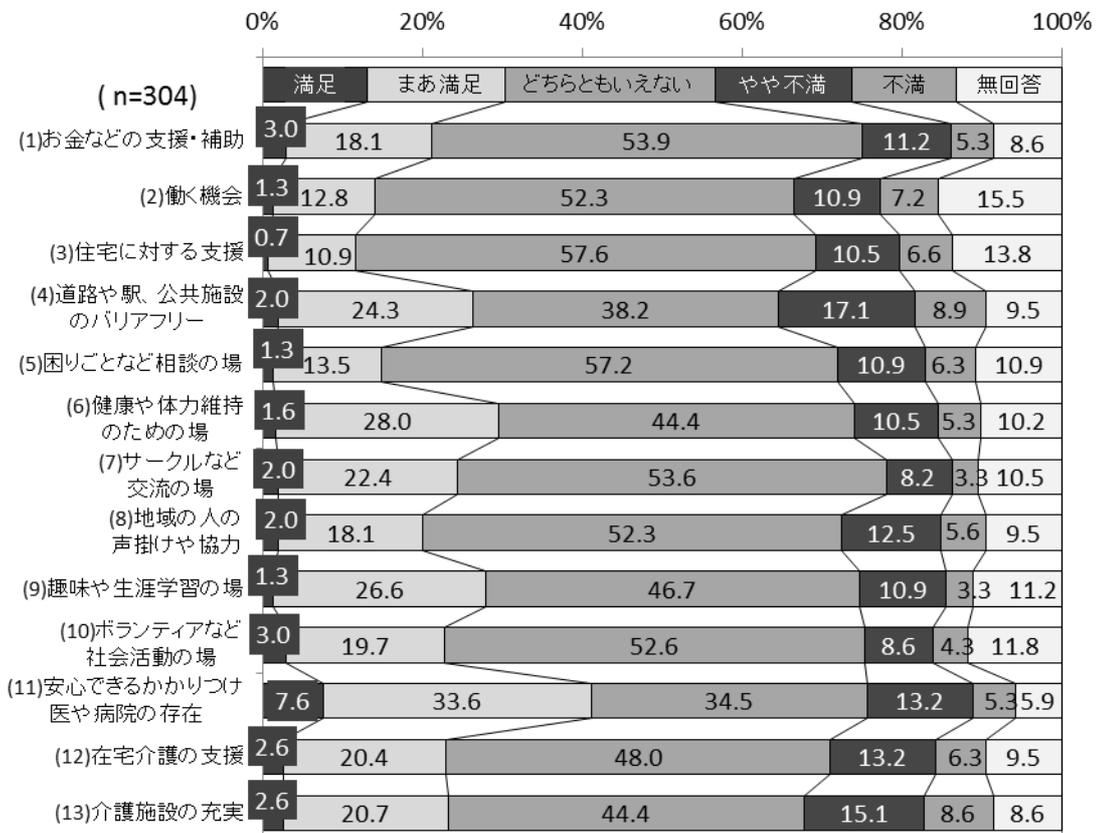


- ・60歳代（図表 48）を見ると、全体（図表 46）や70歳代（図表 47）と比べて、「やや不満」「不満」の割合が高く、無回答が少なくなっています。一方、「満足」「まあ満足」が全体（図表 46）と比べて高くなっているのは、「(1)お金などの支援・補助」及び「(12)在宅介護の支援」です。
- ・介護経験者（図表 49）については、「(12)在宅介護支援」「(13)介護施設の充実」の「満足」「まあ満足」が全体（図表 46）と比べて高くなっています。一方で全体的に「不満」「やや不満」が高く、「(12)在宅介護支援」「(13)介護施設の充実」についても、全体（図表 46）と比べて、「不満」と「やや不満」が高い結果でした。

図表 48 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか(60~69歳)



図表 49 高齢者に関することについてのどの程度満足しているか(介護経験者)



## 5. 生活環境について

### (1) 地域の生活環境

問 25 あなたは住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。(項目ごとに○は1つ)

#### 《本設問の集計方法とグラフの見方》

- ・地域の生活環境について、保健・衛生、安全、利便、快適の4分野23項目とそれらの総合評価からなる計24項目にわたって、「非常に良い」から「非常に悪い」までの5段階で評価を求めました。
- ・評価の結果をわかりやすく示すために、「非常に良い・やや良い・普通・やや悪い・非常に悪い」の回答数に、それぞれ「+2・+1・0・-1・-2」点を与え、その合計を全回答数（「わからない」「無回答」を除く）で除して評価点としました。
- ・したがって本設問の場合、+2に近いほど肯定的な評価、-2に近いほど否定的な評価とみることができます。

#### 【全体の回答傾向】

- ・23項目のうちプラスの評価点となったものは14項目あり、評価点の高い順に「(1)ごみの回収」「(15)日用品・食料品等の買い物の便利さ」「(21)日当たりや風通しの良さ」「(16)通勤・通学の便利さ」となっています。
- ・一方、マイナスの評価点となったものは9項目で、評価点の低い順に「(23)川の水のきれいさ」「(14)周りの道路の安全性」「(3)蚊、ハエ等の害虫対策の状況」「(13)夜道の明るさ」となっています。

#### ① 保健・衛生

- ・保健・衛生に関する7項目は、プラス評価・マイナス評価が混在しています。「(1)ごみの回収」は評価点が0.68と23項目の中で最も高くなっており、一方、「(2)雨水など水のはげぐあい」や「(3)蚊、ハエ等の害虫対策の状況」など、環境衛生や水はげに関する項目の評価が低くなっています。

#### ② 安全

- ・安全に関しては、7項目中5項目がマイナス評価となっています。特に、「(14)周りの道路の安全性」が-0.26、「(13)夜道の明るさ」が-0.21と、低い評価でした。

#### ③ 利便

- ・利便に関する5項目は、すべてプラス評価になっています。特に「(15)日用品・食料品等の買い物の便利さ」が+0.56、「(16)通勤・通学の便利さ」が+0.48と高い評価点となっています。

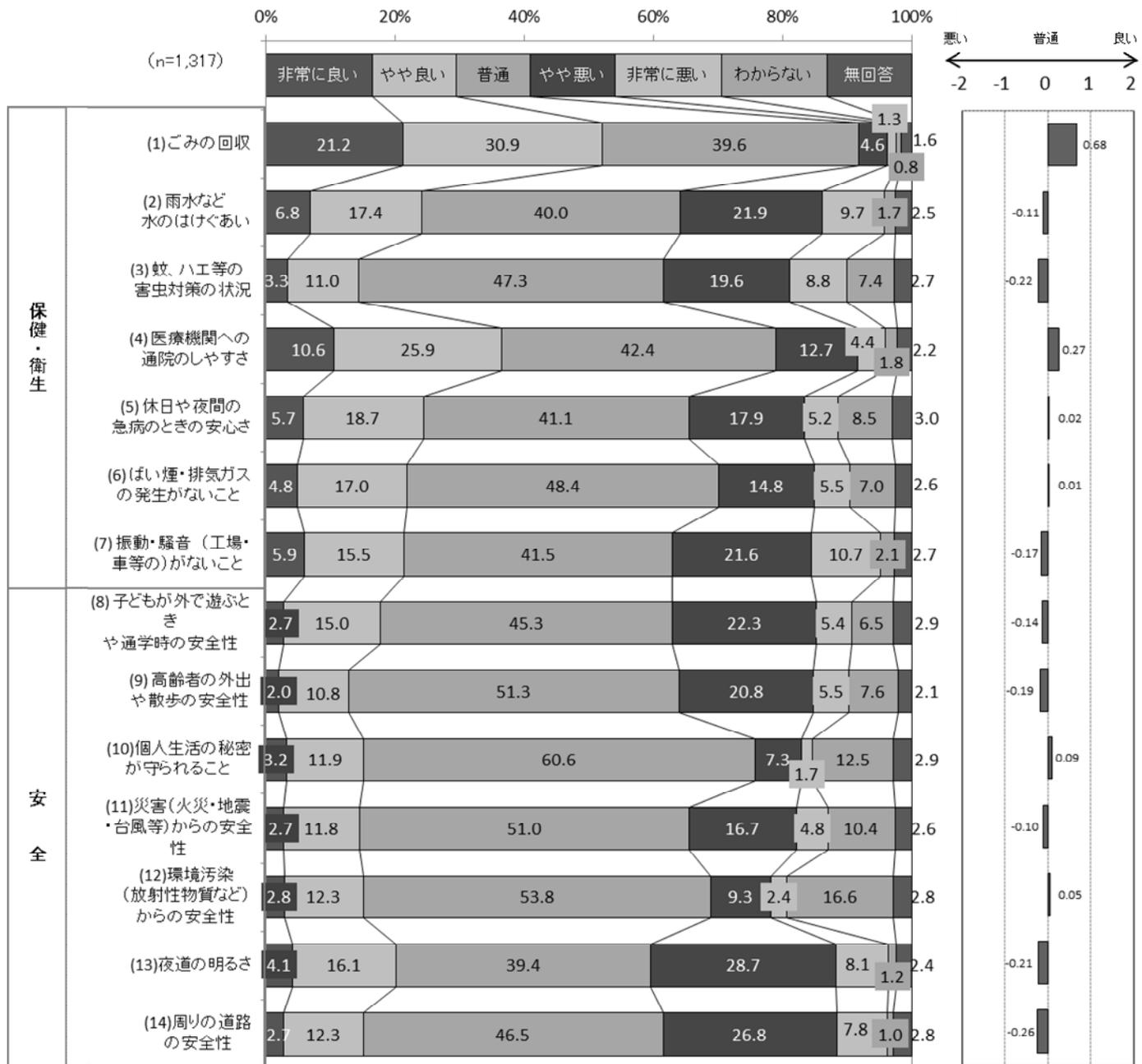
#### ④ 快適

- ・快適に関する4項目は、「(23)川の水のきれいさ」の-0.48を除き、プラス評価となっています。「(21)日当たりや風通しの良さ」は、+0.51と全体でも2番目に高い評価となっています。

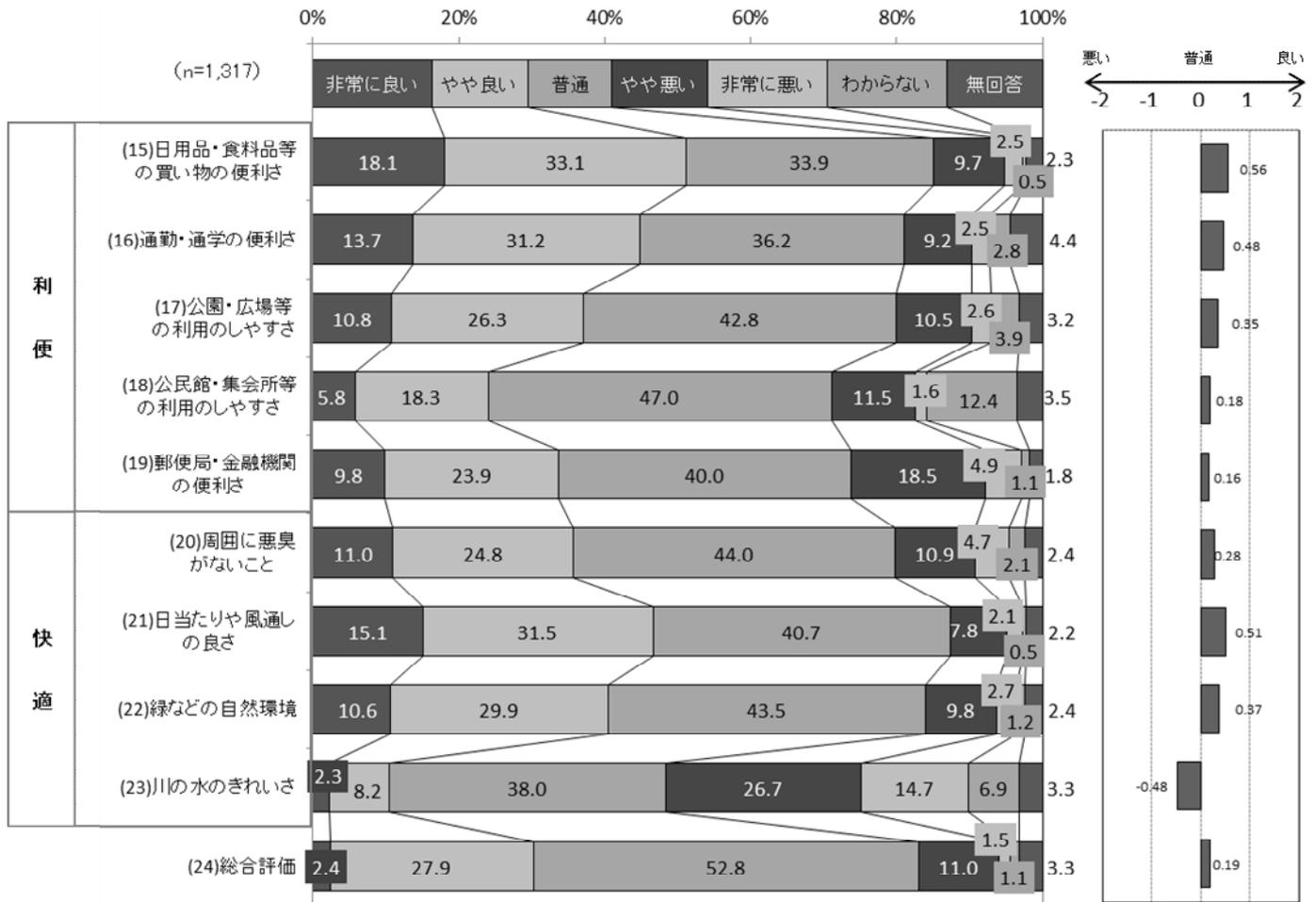
⑤ 総合

・①～④を総合した場合の評価点は+0.19で、地域の生活環境については総じてプラス評価となっています。

図表 50-1 地域の生活環境(全体・評価点)



図表 50-2 地域の生活環境(全体・評価点)(つづき)

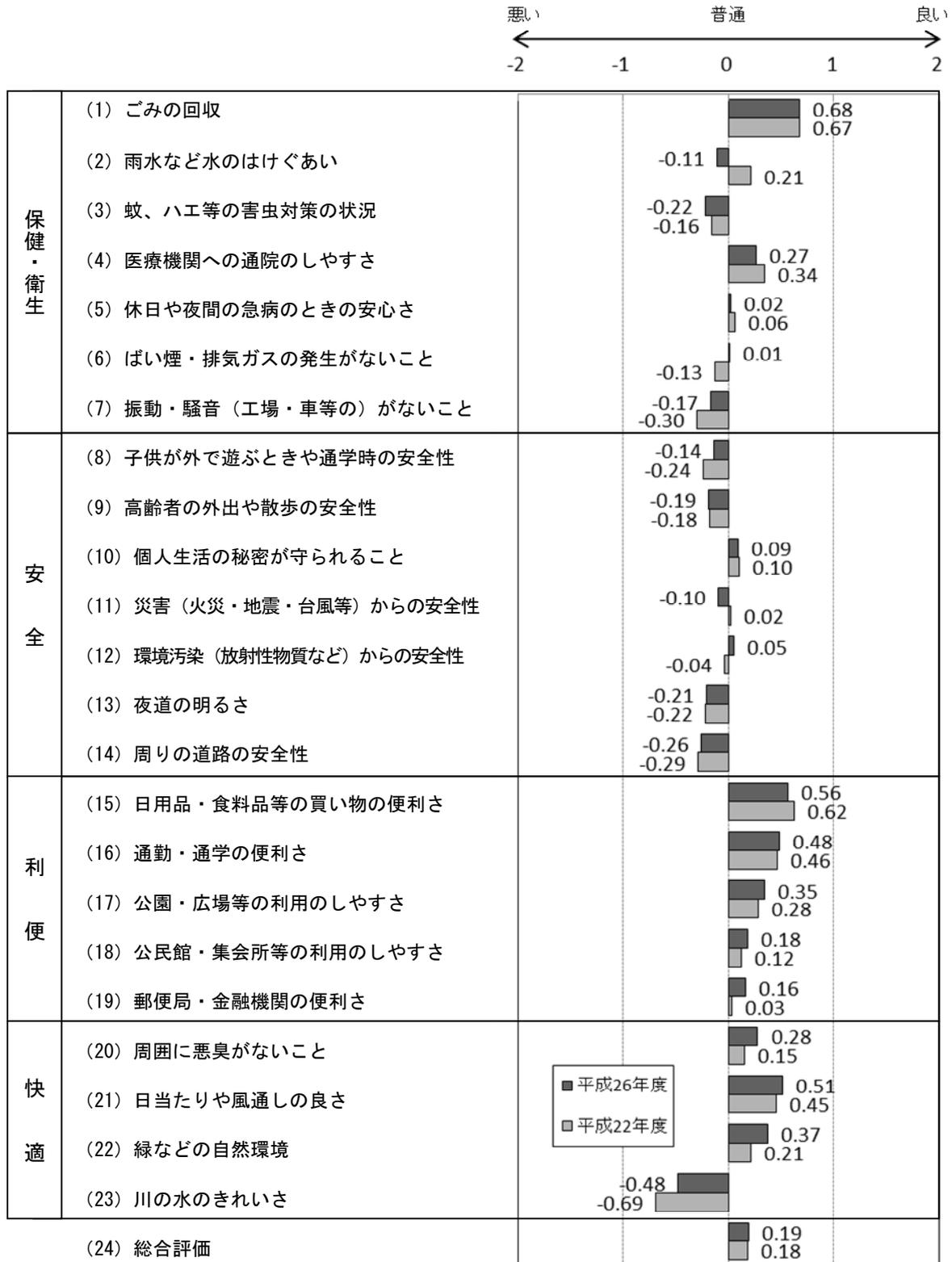


【平成 22 年度調査との比較】

- ・ 前回調査である平成 22 年度調査と比較すると、「(24)総合評価」では、0.01 ポイントのプラスでした。
- ・ 4つの大きな項目で見ると、「利便」と「快適」の分野では、「(15)日用品・食料品等の買い物の便利さ」(前回比-0.06)を除き、9項目中8項目で前回比プラスとなりました。
- ・ 一方、「保健・衛生」と「安全」の分野では、特に大きく上下した項目として、前回比プラスとなった項目では、「(6)ばい煙・排気ガスの発生がないこと」(前回比+0.14)が最も高く、次いで、「(7)振動・騒音(工場・車等の)がないこと」(前回比+0.13)でした。また、前回比マイナスとなった項目では、「(2)雨水など水のはけぐあい」(前回比-0.32)、「(11)災害(火災・地震・台風)からの安全性」(前回比-0.12)でした。
- ・ 平成 26 年度調査においてマイナス評価で、かつ前回比がマイナスとなった項目は、「(2)雨水など水のはけぐあい」(評価点-0.11、前回比-0.32)、「(3)蚊、ハエ等の害虫対策の状況」(評価点-0.22、前回比-0.06)、「(9)高齢者の外出や散歩の安全

性」(評価点-0.19、前回比-0.01)、「(11)災害(火災・地震・台風)からの安全性」(評価点-0.10、前回比-0.12)の4項目でした。

図表 51 地域の生活環境(平成 22 年度調査との比較)



※ (12) は、前回調査(平成 22 年度)では「放射性物質」ではなく「ダイオキシン」

## 【属性別の回答傾向】

### ①平成 26 年度の評価点と、前回比がともにマイナスとなった項目について

- ・「(2) 雨水など水のはけぐあい」(評価点-0.11、前回比-0.32)

平成 26 年度調査の評価点を属性別に見ると、年齢は 40 歳代で最も低く、20 歳代～50 歳代までが低い傾向となっています。また、地区別で見ると、新曽地区(-0.54)と上戸田 1 地区(-0.35)が突出して低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、年齢が高いほど前回比でマイナスが大きい傾向があります。また、地区別では、上戸田 1 地区が最もマイナスが大きく、次いで、新曽地区、美女木地区が前回比で大きくマイナスとなっています。

- ・「(3) 蚊、ハエ等の害虫対策の状況」(評価点-0.22、前回比-0.06)

平成 26 年度の評価点を見ると、年齢別では、若い年代の方が低い傾向となっています。また、居住地区別には、新曽地区(-0.51)と上戸田 1 地区(-0.41)が最も低い値となっており、「(2) 雨水など水のはけぐあい」と同様の傾向でした。居住期間別でみると、居住期間が短いほど低い傾向となっています。

前回比でみると、年齢では 50 歳代以上で低い傾向があります。地区別にみると、上戸田 1 地区が最もマイナスが大きい結果でした。新曽地区は-0.08 と横ばいであり、前回から評価が低いままであることが分かります。

- ・「(9) 高齢者の外出や散歩の安全性」(評価点-0.19、前回比-0.01)

平成 26 年度の評価点で見ると、年齢別では 30 歳代～50 歳代で低い結果であり、居住地区別では美女木地区(-0.34)が最も低く、次いで新曽地区(-0.23)、下戸田 2 地区(-0.20)、上戸田 2 地区(-0.20)と続いています。

前回比でみると、美女木地区が前回比-0.17 とマイナスが大きく、下戸田 2 地区でも-0.15 と前回より大きくマイナスとなっています。

- ・「(11)災害(火災・地震・台風)からの安全性」(評価点-0.10、前回比-0.12)

平成 26 年度の評価点で見ると、年齢別では年齢が高いほど低い傾向であり、60 歳代が最も低い値(-0.21)でしたが、70 歳以上では、-0.04 と大きいマイナスではないことが特徴的です。居住地区別にみると、下戸田 1 地区で唯一+0.05 とプラスであり、最も低かったのは、新曽地区の-0.19 でした。

前回比で見ると、年齢では 60 歳代が前回比-0.30 と最も低く、次いで 70 歳代が前回比-0.19 と大きいマイナスとなっています。居住地区別で見ると、すべての地区でマイナスとなっており、美女木地区で前回比-0.28 と最も低い値でした。

### ②前回比はプラスとなったものの、評価点はマイナスとなった項目の傾向

- ・「(7)振動・騒音(工場・車等の)がないこと」(評価点-0.17、前回比+0.13)

平成 26 年度の評価点で見ると、居住地区別が特徴的で、美女木地区(-0.46)で最も低く、次いで笹目地区(-0.29)が低い結果でした。また、下戸田 1 地区で唯一プラスの評価(+0.19)でした。

前回比で見ると、年齢別では 40 歳代(+0.26)及び 70 歳以上(+0.23)で大きくプラスとなっています。居住地区別では、上戸田 1 地区で唯一前回比でマイナス(-

0.10) となっています。一方、下戸田1地区は前回比+0.28と大きくプラスとなっています。評価点が低かった美女木地区及び笹目地区でも、それぞれ前回比+0.13、前回比+0.18とプラスになっています。

・「(8) 子どもが外で遊ぶ時や通学時の安全性」(評価点-0.14、前回比+0.10)

平成26年度の評価点で見ると、30歳代~50歳代で他の年代より低い値となっています。居住地区別では、新曽地区(-0.24)、美女木地区(-0.22)、笹目地区(-0.21)で低い値となっています。

前回比で見ると、年齢別では、評価点が低かった30歳代~50歳代でも前回比ではプラスになっています。一方、60歳以上の年代では大きな変化は見られませんでした。居住地区別では、前回比でマイナスとなった地区はありませんでした。評価点の低い美女木地区、笹目地区では、前回比でほとんど変化はなく、横ばいの状況でした。一方、下戸田1地区では、前回比+0.23となっています。

・「(13)夜道の明るさ」(評価点-0.21、前回比+0.01)

平成26年度の評価点で見ると、性別では女性が-0.27と男性の-0.14よりも低い値でした。年齢別では、集計母数が少ない10歳代を除き、50歳代で最も低く(-0.33)、次いで40歳代(-0.30)となっています。また、居住地区別で特徴的なのは、新曽地区(-0.40)と美女木地区(-0.31)、上戸田1地区(-0.26)で低い値となっています。

前回比で見ると、年齢別では、10歳代を除くと、40歳代以下の年代では前回比でプラスとなっており、50歳以上で前回比マイナスとなっています。居住地区別では、笹目地区で前回比+0.28と他の地区より突出して大きなプラスとなっています。

・「(14)周りの道路の安全性」(評価点-0.26、前回比+0.03)

平成26年度の評価点で見ると、年齢別では30歳代~50歳代で低い値となっています。また、居住地区別では、新曽地区(-0.38)と上戸田1地区(-0.31)で低い値となっています。

前回比で見ると、居住地区別では、上戸田1地区で前回比-0.15と大きくマイナスしており、一方、笹目地区は前回比+0.21と大きくプラスになっています。

・「(23)川の水のきれいさ」(評価点-0.48、前回比+0.21)

平成26年度の評価点で見ると、年齢別では、10歳代を除くと、50歳代が-0.61と最も低く、次いで60歳代の-0.53、40歳代の-0.48が続きます。居住地区別では、上戸田2地区が-0.64と最も低く、次いで下戸田1地区が-0.61でした。また、最も高かったのは、美女木地区の-0.25で、次いで上戸田1地区の-0.28でした。

前回比で見ると、50歳代以下の年代、居住地区で前回比プラスとなっています。年齢別では、60歳代以上で前回比が若干ではあるもののマイナスとなっており、50歳代以下では、前回比でプラスとなっています。特に40歳代で前回比+0.40、20歳代で前回比+0.35となっています。また、地区別で見ると、下戸田1地区(前回比+0.08)、上戸田1地区(前回比+0.11)でプラス幅が小さくなっています。

図表 52-1 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

	保健・衛生							安全							
	(1) ごみの回収	(2) い雨水など水のはけぐあ	(3) の蚊、ハ工等の害虫対策	(4) や医療機関への通院のし	(5) き休日や夜間の急病のと	(6) 生ばい煙いこと	(7) 等振動・騒音(工場・車)	(8) や子どもが外で遊ぶとき	(9) 安全高年齢者の外出や散歩の	(10) れ個人生活の秘密が守ら	(11) 風災害(火災・地震・台	(12) な環境汚染(放射線物質	(13) 夜道の明るさ	(14) 周りの道路の安全性	
全体(1,317)	0.68	-0.11	-0.22	0.27	0.02	0.01	-0.17	-0.14	-0.19	0.09	-0.10	0.05	-0.21	-0.26	
性別	男性(562)	0.65	-0.09	-0.19	0.22	0.02	0.00	-0.15	-0.13	-0.17	0.11	-0.11	0.09	-0.14	-0.22
	女性(755)	0.70	-0.13	-0.24	0.30	0.02	0.02	-0.18	-0.15	-0.20	0.07	-0.10	0.01	-0.27	-0.29
年齢別	16～19歳(32)	0.46	0.19	-0.37	0.69	0.29	-0.17	-0.40	-0.03	-0.14	0.52	0.48	0.33	-0.37	-0.10
	20～29歳(129)	0.62	-0.09	-0.30	0.37	0.11	0.09	-0.19	0.00	-0.03	0.21	0.06	0.12	-0.29	-0.16
	30～39歳(262)	0.63	-0.15	-0.37	0.33	0.08	-0.11	-0.28	-0.30	-0.25	0.10	-0.10	0.06	-0.21	-0.35
	40～49歳(278)	0.58	-0.29	-0.27	0.19	-0.04	-0.12	-0.29	-0.25	-0.28	0.10	-0.16	-0.01	-0.30	-0.42
	50～59歳(192)	0.57	-0.17	-0.29	0.10	-0.16	-0.03	-0.21	-0.23	-0.29	-0.06	-0.18	-0.01	-0.33	-0.29
	60～69歳(202)	0.78	-0.06	-0.08	0.29	-0.01	0.15	-0.02	-0.01	-0.22	0.04	-0.21	0.01	-0.18	-0.19
	70歳以上(222)	0.93	0.15	0.05	0.29	0.13	0.22	0.13	0.10	0.02	0.12	-0.04	0.11	0.05	-0.04
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.73	0.12	-0.05	0.38	0.08	0.24	0.19	0.07	-0.02	0.17	0.05	0.11	-0.09	-0.15
	下戸田2地区(251)	0.65	-0.03	-0.03	0.38	-0.01	-0.05	-0.16	-0.13	-0.20	0.07	-0.11	0.00	-0.16	-0.28
	上戸田1地区(142)	0.63	-0.35	-0.41	0.44	0.02	-0.06	-0.21	-0.04	-0.15	0.07	-0.09	0.05	-0.26	-0.31
	上戸田2地区(195)	0.66	0.03	-0.17	0.64	0.21	0.03	-0.09	-0.14	-0.20	0.14	-0.12	0.11	-0.07	-0.16
	新嘗地区(279)	0.65	-0.54	-0.51	0.16	-0.02	0.06	-0.21	-0.24	-0.23	0.05	-0.19	0.00	-0.40	-0.38
	笹目地区(164)	0.76	0.13	-0.12	0.04	0.03	0.02	-0.29	-0.21	-0.18	0.11	-0.07	0.08	-0.15	-0.21
	美女木地区(121)	0.71	0.12	-0.11	-0.40	-0.23	-0.28	-0.46	-0.22	-0.34	0.03	-0.13	0.01	-0.31	-0.23
居住期間別	5年未満(160)	0.59	-0.14	-0.38	0.30	0.09	0.04	-0.22	-0.05	-0.04	0.14	-0.13	0.04	-0.26	-0.27
	5年以上10年未満(150)	0.68	-0.07	-0.34	0.30	0.08	-0.08	-0.28	-0.37	-0.24	0.08	-0.13	0.02	-0.24	-0.36
	10年以上20年未満(336)	0.70	-0.26	-0.23	0.34	0.12	0.01	-0.23	-0.15	-0.22	0.16	-0.08	0.10	-0.30	-0.30
	20年以上(662)	0.69	-0.03	-0.13	0.22	-0.05	0.03	-0.08	-0.10	-0.20	0.05	-0.10	0.03	-0.15	-0.20
	無回答(9)	0.78	-0.44	-0.56	-0.50	-0.67	-0.25	-0.63	0.00	0.11	0.14	-0.38	-0.20	-0.22	-0.22

図表 52-2 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別)つづき

		利便					快適				総合
		(15) 日用品の 便・食料 品等の買 いやすさ	(16) 通勤・通 学の便利 さ	(17) 公園・広 場等の利 用のやす さ	(18) 公民館・ 集会所等 の利	(19) 郵便局・ 金融機関 の便	(20) 周囲に悪 臭がない こと	(21) 日当たり や風通し の良	(22) 緑などの 自然環境	(23) 川の水の きれいさ	(24) 総合評価
全体(1,317)		0.56	0.48	0.35	0.18	0.16	0.28	0.51	0.37	-0.48	0.19
性別	男性(562)	0.54	0.44	0.37	0.18	0.09	0.26	0.46	0.34	-0.50	0.17
	女性(755)	0.58	0.51	0.33	0.18	0.21	0.29	0.55	0.39	-0.47	0.21
年齢別	16～19歳(32)	0.80	0.84	0.81	0.68	0.53	0.50	0.74	0.52	-0.72	0.48
	20～29歳(129)	0.89	0.57	0.41	0.28	0.18	0.54	0.61	0.48	-0.44	0.40
	30～39歳(262)	0.56	0.52	0.49	0.18	0.03	0.29	0.62	0.53	-0.42	0.21
	40～49歳(278)	0.58	0.55	0.38	0.17	-0.03	0.31	0.58	0.44	-0.48	0.22
	50～59歳(192)	0.38	0.40	0.27	0.05	0.08	0.10	0.42	0.24	-0.61	0.06
	60～69歳(202)	0.49	0.41	0.17	0.12	0.32	0.25	0.41	0.23	-0.53	0.15
	70歳以上(222)	0.52	0.32	0.23	0.24	0.42	0.21	0.37	0.26	-0.38	0.11
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.76	0.56	0.38	0.22	0.27	0.43	0.45	0.13	-0.61	0.24
	下戸田2地区(251)	0.56	0.47	0.25	0.18	0.09	0.29	0.57	0.43	-0.41	0.19
	上戸田1地区(142)	0.59	0.53	0.55	0.25	0.21	0.31	0.47	0.53	-0.28	0.25
	上戸田2地区(195)	0.51	0.78	0.40	0.12	0.36	0.40	0.53	0.39	-0.64	0.26
	新曽地区(279)	0.63	0.51	0.23	0.13	-0.01	0.21	0.55	0.35	-0.53	0.16
	笹目地区(164)	0.32	0.13	0.41	0.25	0.06	0.13	0.40	0.41	-0.52	0.13
	美女木地区(121)	0.51	0.19	0.38	0.17	0.27	0.17	0.53	0.37	-0.25	0.11
居住期間別	5年未満(160)	0.43	0.43	0.41	0.11	-0.10	0.29	0.57	0.59	-0.41	0.22
	5年以上10年未満(150)	0.61	0.62	0.42	0.21	0.14	0.32	0.62	0.45	-0.42	0.29
	10年以上20年未満(336)	0.65	0.54	0.42	0.23	0.05	0.32	0.59	0.43	-0.56	0.24
	20年以上(662)	0.53	0.43	0.28	0.16	0.28	0.24	0.43	0.27	-0.47	0.14
	無回答(9)	0.56	0.13	-0.22	0.00	0.22	0.56	0.33	0.33	-0.67	0.00

図表 53-1 地域の生活環境【前回比】(平成26年度調査の値と平成22年度調査の値の差)

		保健・衛生						安全							
		(1) ごみの回収	(2) い雨水など水のはげぐあ	(3) の蚊、ハ工等の害虫対策	(4) や医療機関への通院のし	(5) き休日や夜間の急病のと	(6) 生ばい煙いこと	(7) 等振動・騒音(工場・車)	(8) や子どもが外で遊ぶとき	(9) 安全高齢者の外出や散歩の	(10) れる個人生活の秘密が守ら	(11) 風災害(火災・地震・台	(12) な環境汚染(放射線物質	(13) 夜道の明るさ	(14) 周りの道路の安全性
全体		0.01	-0.32	-0.06	-0.07	-0.04	0.14	0.13	0.10	-0.01	-0.01	-0.12	0.09	0.01	0.03
性別	男性	-0.06	-0.40	-0.06	-0.12	-0.08	0.05	0.07	0.04	-0.01	0.00	-0.16	0.05	0.02	0.03
	女性	0.05	-0.26	-0.06	-0.05	-0.01	0.22	0.18	0.14	0.00	-0.03	-0.10	0.10	-0.01	0.04
年齢別	16～19歳	-0.18	0.06	-0.14	0.30	0.10	-0.02	-0.22	0.07	0.15	0.35	0.33	0.14	-0.40	0.18
	20～29歳	0.17	-0.28	0.01	0.09	0.00	0.34	0.19	0.21	0.24	0.16	0.01	0.08	0.02	0.12
	30～39歳	0.11	-0.28	-0.03	-0.01	0.08	0.17	0.10	0.11	0.00	0.00	-0.09	0.17	0.08	0.05
	40～49歳	-0.02	-0.22	0.07	-0.05	0.04	0.33	0.26	0.19	0.15	0.16	-0.05	0.16	0.19	0.13
	50～59歳	-0.13	-0.37	-0.18	-0.19	-0.14	0.07	0.04	0.07	-0.08	-0.12	-0.15	0.12	-0.12	0.04
	60～69歳	-0.08	-0.36	-0.18	-0.07	-0.13	-0.08	0.04	0.01	-0.25	-0.13	-0.30	-0.04	-0.09	-0.10
	70歳以上	-0.03	-0.54	-0.15	-0.26	-0.14	-0.01	0.23	-0.04	-0.07	-0.21	-0.19	-0.03	-0.15	-0.09
居住地区別	下戸田1地区	0.08	-0.30	-0.01	-0.15	-0.09	0.17	0.28	0.23	0.16	0.02	-0.06	0.02	-0.11	0.02
	下戸田2地区	-0.11	-0.28	-0.13	-0.15	-0.15	0.07	0.21	0.06	-0.15	-0.04	-0.12	0.06	-0.11	-0.04
	上戸田1地区	-0.01	-0.67	-0.33	-0.38	-0.40	-0.08	-0.10	0.17	-0.04	-0.09	-0.11	-0.06	-0.07	-0.15
	上戸田2地区	-0.03	-0.08	0.05	0.07	0.12	0.21	0.13	0.15	0.05	0.04	-0.08	0.23	0.09	0.03
	新曽地区	0.01	-0.43	-0.08	-0.06	-0.03	0.18	0.08	0.08	0.00	-0.02	-0.12	0.05	-0.04	0.06
	笹目地区	0.19	-0.19	0.13	0.15	0.29	0.28	0.18	0.00	0.07	0.07	-0.10	0.17	0.28	0.21
	美女木地区	-0.09	-0.34	-0.15	-0.18	-0.12	0.09	0.13	0.04	-0.17	-0.10	-0.28	0.13	0.03	0.10
居住期間別	5年未満	0.05	-0.34	-0.11	-0.03	-0.01	0.11	0.06	0.12	0.11	-0.01	-0.22	0.03	0.01	-0.05
	5年以上10年未満	0.05	-0.11	-0.10	0.05	0.04	0.17	0.23	-0.03	0.04	0.00	-0.02	0.17	0.03	0.15
	10年以上20年未満	0.06	-0.31	-0.06	0.05	0.11	0.21	0.05	0.14	0.00	0.11	-0.04	0.16	-0.06	0.04
	20年以上	-0.05	-0.41	-0.10	-0.17	-0.11	0.07	0.15	0.04	-0.10	-0.05	-0.17	0.01	-0.01	0.00
	無回答	-0.42	-0.64	-0.16	-1.50	-0.67	-0.25	-0.03	0.75	0.31	0.39	0.42	0.40	0.03	0.58

図表 53-2 地域の生活環境【前回比】(平成26年度調査の値と平成22年度調査の値の差)

つづき

		利便					快適				総合 評価
		(15) 日用品の 便・食料品 等の買 利	(16) 通 勤・通 学の 便 利	(17) 公園・広 場等 の利 用	(18) 公民館・ 集会所 等の利	(19) 郵便局・ 金融機 関の便	(20) 周囲に 悪臭が ないこ と	(21) さ 日 当 たり や 風 通 し の 良	(22) 緑 な ど の 自 然 環 境	(23) 川 の 水 の き れ い さ	
全体		-0.06	0.02	0.07	0.06	0.13	0.13	0.06	0.16	0.21	0.01
性別	男性	-0.07	-0.02	0.07	0.06	0.08	0.09	0.00	0.08	0.15	-0.07
	女性	-0.06	0.04	0.06	0.05	0.17	0.15	0.10	0.22	0.24	0.08
年齢別	16～19歳	-0.05	0.07	0.64	0.64	-0.05	0.29	0.03	0.40	0.28	0.14
	20～29歳	0.14	0.04	0.08	0.18	0.11	0.29	0.20	0.27	0.35	0.26
	30～39歳	-0.09	0.05	0.11	0.06	0.26	0.18	0.05	0.20	0.24	0.00
	40～49歳	-0.06	0.05	0.20	0.16	0.11	0.31	0.14	0.32	0.40	0.19
	50～59歳	-0.26	-0.05	-0.02	-0.03	0.04	0.03	-0.01	0.05	0.21	-0.13
	60～69歳	0.02	0.08	-0.06	-0.06	0.12	0.00	0.04	0.05	-0.01	-0.06
	70歳以上	-0.04	-0.09	-0.09	-0.05	0.07	-0.14	0.02	0.05	-0.02	-0.15
居住地区別	下戸田1地区	-0.08	-0.03	0.01	0.14	0.01	0.11	0.04	0.04	0.08	-0.05
	下戸田2地区	-0.30	-0.11	-0.01	0.08	0.00	0.06	0.10	0.26	0.24	-0.07
	上戸田1地区	-0.10	-0.10	0.11	-0.01	0.11	-0.04	0.00	0.28	0.11	-0.06
	上戸田2地区	-0.38	-0.03	0.03	0.02	0.18	0.26	0.06	0.10	0.31	0.04
	新曽地区	0.20	-0.01	0.18	0.11	0.21	0.19	0.12	0.24	0.21	0.04
	笹目地区	0.13	0.22	0.13	0.07	0.23	0.14	0.00	0.16	0.20	0.19
	美女木地区	0.04	0.21	-0.11	-0.12	0.12	0.07	-0.01	-0.09	0.18	-0.03
居住期間別	5年未満	-0.17	-0.04	-0.08	0.04	0.12	0.15	0.05	0.26	0.03	-0.04
	5年以上10年未満	0.05	0.24	0.20	0.15	0.37	0.28	0.12	0.25	0.30	0.28
	10年以上20年未満	-0.03	0.06	0.23	0.16	0.04	0.21	0.05	0.22	0.20	0.04
	20年以上	-0.07	0.01	0.03	0.00	0.04	0.02	0.11	0.12	0.10	-0.04
	無回答	-0.04	-0.47	0.58	0.00	-0.03	0.76	0.13	0.53	0.13	0.20

## (2) 公共施設の利用状況

### 問 26 あなたは市の施設をどの程度利用していますか。(施設ごとに○は1つ)

市内の公共施設について、平成 26 年度調査では新たな施設（「(9)新曽南多世代交流館（さくらパル）」「(15)福祉保健センター」等）を加えるなど、計 26 施設についてそれぞれの利用状況を尋ねました。

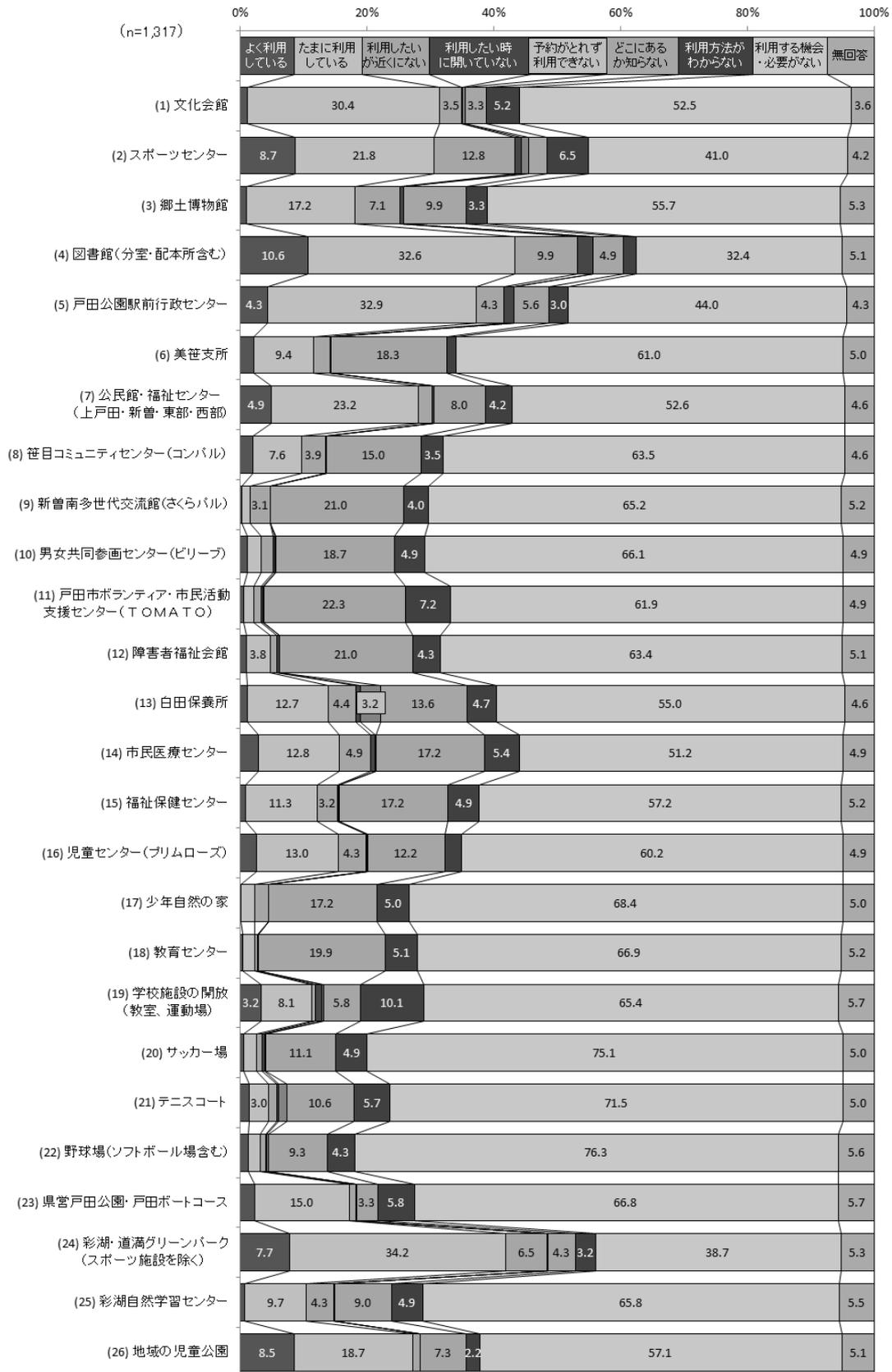
#### 【全体の回答傾向】

- ・「利用する」（「よく利用している」と「たまに利用している」の計。以下同様。）の割合が比較的高い施設は、割合が高いものから「(4)図書館（分室含む）」（43.2%）、「(24)彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」（41.9%）、「(5)戸田公園駅前行政センター」（37.2%）となっています。
- ・一方、利用しない（「よく利用している」「たまに利用している」「利用する機会・必要がない」と「無回答」以外の計。以下同様）の割合が高い施設は、「(11)戸田市ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）」（31.1%）、次いで「(14)市民医療センター」（28.4%）、「(9)新曽南多世代交流館（さくらパル）」（28.1%）となっています。

#### 【平成 22 年度調査との比較】

- ・平成 22 年度調査（前回調査）と比較すると、ほとんどの施設は「利用する」に大きな変化はありませんが、「(5)戸田公園駅前行政センター」は利用頻度が大きく増加しています（前回比+28.8）。また、「(3)郷土博物館」は、「利用する」が前回比+3.0と増加し、さらに「利用しない」が前回比-7.3と、利用者増加の傾向が見て取れます。
- ・一方、「利用する」が前回比でマイナスとなっていて、「利用する機会・必要がない」が前回比で他の施設より大きくプラスとなっている施設は、「(8)笹目コミュニティセンター（コンパル）」や「(14)市民医療センター」、「(13)白田保養所」、「(11)戸田市ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）」、「(10)男女共同参画センター（ビリーブ）」であり、それぞれ前回比で+7.0以上となっています。「利用する機会・必要がない」が増えていることに対しては、公共施設の利用者の拡大や、利用方法そのものの再検討など、公共施設の利活用の在り方について検討する必要性を示唆しています。

図表 54 公共施設の利用状況(全体)



(注) 3%未満は非表示

図表 55 公共施設の利用状況(平成 22 年度調査との比較)

施設名	利用する		利用しない		利用する機会・必要がない		無回答	
	H26	H22	H26	H22	H26	H22	H26	H22
(1) 文化会館	31.5	28.4	12.6	13.7	52.5	53.1	3.6	4.8
(2) スポーツセンター	30.5	29.7	24.4	25.4	41.0	39.9	4.2	4.9
(3) 郷土博物館	18.1	15.1	20.8	28.1	55.7	50.9	5.3	6.0
(4) 図書館(分室・配本所含む)	43.2	43.9	19.2	21.4	32.4	29.1	5.1	5.5
(5) 戸田公園駅前行政センター	37.2	8.4	14.5	29.1	44.0	55.4	4.3	7.2
(6) 美笹支所	11.5	-	22.5	-	61.0	-	5.0	-
(7) 公民館・福祉センター (上戸田・新曽・東部・西部)	28.1	29.8	14.7	16.5	52.6	48.6	4.6	5.0
(8) 笹目コミュニティセンター (コンパル)	9.6	11.5	22.5	28.2	63.5	54.6	4.6	5.7
(9) 新曽南多世代交流館(さくらパル)	1.6	-	28.1	-	65.2	-	5.2	-
(10) 男女共同参画センター(ビリーブ)	3.3	4.3	25.9	31.4	66.1	58.5	4.9	5.7
(11) 戸田市ボランティア・市民活動支援 センター(TOMATO)	2.1	2.4	31.1	37.7	61.9	54.2	4.9	5.9
(12) 障害者福祉会館	4.7	7.3	26.8	28.0	63.4	59.2	5.1	5.5
(13) 白田保養所	13.8	14.3	26.6	33.1	55.0	47.1	4.6	5.5
(14) 市民医療センター	15.6	23.5	28.4	27.9	51.2	42.4	4.9	6.2
(15) 福祉保健センター	12.1	-	25.6	-	57.2	-	5.2	-
(16) 児童センター(プリムローズ)	15.5	15.7	19.4	18.6	60.2	59.2	4.9	6.5
(17) 少年自然の家	2.2	2.4	24.4	27.5	68.4	63.6	5.0	6.4
(18) 教育センター	2.2	2.4	25.7	28.1	66.9	63.1	5.2	6.4
(19) 学校施設の開放(教室、運動場)	11.3	12.0	17.7	18.3	65.4	63.1	5.7	6.6
(20) サッカー場	2.6	1.3	17.4	18.3	75.1	74.0	5.0	6.5
(21) テニスコート	4.4	3.9	19.2	19.9	71.5	69.9	5.0	6.2
(22) 野球場(ソフトボール場含む)	3.1	3.2	14.9	15.4	76.3	74.9	5.6	6.4
(23) 県営戸田公園・戸田ポートコース	17.2	19.8	10.2	10.6	66.8	63.3	5.7	6.2
(24) 彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	41.9	38.8	14.1	16.4	38.7	38.7	5.3	6.2
(25) 彩湖自然学習センター	10.4	8.3	18.4	22.3	65.8	63.2	5.5	6.2
(26) 地域の児童公園	27.2	25.7	10.6	10.0	57.1	58.2	5.1	6.2

(注) 表中の「利用する」は「よく利用」と「たまに利用」の合計。また、「利用しない」は「利用したいが近くにない」「利用したい時に開いていない」「予約がとれず利用できない」「どこにあるか知らない」「利用方法がわからない」の合計。

図表 56 公共施設の利用状況(平成26年度調査の値と平成22年度調査の値の差)

施設名	利用する	利用しない	必要がない機会・	無回答
(1) 文化会館	3.1	-1.1	-0.6	-1.2
(2) スポーツセンター	0.8	-1.0	1.1	-0.7
(3) 郷土博物館	3.0	-7.3	4.8	-0.7
(4) 図書館(分室・配本所含む)	-0.7	-2.2	3.3	-0.4
(5) 戸田公園駅前行政センター	28.8	-14.6	-11.4	-2.9
(6) 美笹支所	-	-	-	-
(7) 公民館・福祉センター (上戸田・新曽・東部・西部)	-1.7	-1.8	4.0	-0.4
(8) 笹目コミュニティセンター (コンパル)	-1.9	-5.7	8.9	-1.1
(9) 新曽南多世代交流館(さくらパル)	-	-	-	-
(10) 男女共同参画センター(ビリーブ)	-1.0	-5.5	7.6	-0.8
(11) 戸田市ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)	-0.3	-6.6	7.7	-1.0
(12) 障害者福祉会館	-2.6	-1.2	4.2	-0.4
(13) 白田保養所	-0.5	-6.5	7.9	-0.9
(14) 市民医療センター	-7.9	0.5	8.8	-1.3
(15) 福祉保健センター	-	-	-	-
(16) 児童センター(プリムローズ)	-0.2	0.8	1.0	-1.6
(17) 少年自然の家	-0.2	-3.1	4.8	-1.4
(18) 教育センター	-0.2	-2.4	3.8	-1.2
(19) 学校施設の開放(教室、運動場)	-0.7	-0.6	2.3	-0.9
(20) サッカー場	1.3	-0.9	1.1	-1.5
(21) テニスコート	0.5	-0.7	1.6	-1.2
(22) 野球場(ソフトボール場含む)	-0.1	-0.5	1.4	-0.8
(23) 県営戸田公園・戸田ポートコース	-2.6	-0.4	3.5	-0.5
(24) 彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	3.1	-2.3	0.0	-0.9
(25) 彩湖自然学習センター	2.1	-3.9	2.6	-0.7
(26) 地域の児童公園	1.5	0.6	-1.1	-1.1

【属性別の回答傾向】

・性別にみると、男性は女性と比べて「(23)県営戸田公園・戸田ボートコース」「(24)彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」など屋外・スポーツ施設の利用頻度が高く、一方、女性は「(7)公民館・福祉センター（上戸田・新曽・東部・西部）」「(16)児童センター（プリムローズ）」など文化施設や福祉関連施設の利用頻度が高くなっています。

図表 57-1 公共施設の利用状況「よく利用」・「たまに利用」の合計  
（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		(1) 文化会館	(2) スポーツセンター	(3) 郷土博物館	(4) 図書館（分室・配本所含む）	(5) 戸田公園駅前行政センター	(6) 美笹支所	(7) 公民館・福祉センター （上戸田・新曽・東部・西部）	(8) 笹目コミュニティセンター （コンパル）	(9) 新曽南多世代交流館 （さくらパル）	(10) 男女共同参画センター （ピリブ）	(11) 戸田市ボランティア・市民活動 センター（TOMATO）	(12) 障害者福祉会館	(13) 白田保養所
全体(1,317)		31.4	30.4	18.1	43.3	37.1	11.5	28.1	9.6	1.5	3.3	2.1	4.7	13.8
性別	男性(562)	27.2	30.5	16.9	40.7	34.0	12.1	22.9	8.0	0.6	1.1	1.7	3.9	13.2
	女性(755)	34.6	30.5	19.1	45.2	39.5	11.0	31.9	10.8	2.2	4.9	2.3	5.3	14.3
年齢別	16～19歳(32)	31.3	59.4	21.9	56.3	25.0	9.4	21.9	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1	3.1
	20～29歳(129)	20.9	32.6	14.0	47.3	46.5	4.7	11.7	4.7	0.0	1.6	0.0	2.4	5.5
	30～39歳(262)	34.8	36.6	22.1	56.5	46.6	10.0	28.7	9.5	2.7	5.0	1.9	3.1	8.4
	40～49歳(278)	32.8	39.5	21.6	52.8	43.2	10.8	30.9	11.5	1.4	1.1	1.4	5.7	15.1
	50～59歳(192)	25.0	31.2	17.7	41.2	36.4	10.4	24.0	6.8	1.5	3.1	2.6	6.3	8.9
	60～69歳(202)	32.7	21.2	16.3	32.7	29.8	15.9	32.2	8.4	1.0	3.0	3.0	5.5	14.4
	70歳以上(222)	36.5	14.0	13.1	23.0	22.1	15.3	34.3	14.9	1.9	5.4	3.2	5.0	28.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	25.4	16.4	7.3	27.9	25.5	0.0	27.3	3.0	0.0	1.2	1.8	4.8	15.1
	下戸田2地区(251)	29.5	25.1	16.7	45.9	50.6	2.4	36.3	3.2	1.6	2.0	2.8	12.8	12.0
	上戸田1地区(142)	39.4	33.1	17.6	47.2	33.8	1.4	28.1	3.5	2.1	9.1	2.8	2.1	11.3
	上戸田2地区(195)	34.8	30.3	19.0	43.6	77.5	0.5	24.6	4.1	2.6	3.0	1.5	3.6	12.3
	新曽地区(279)	32.3	43.0	21.9	50.5	31.9	2.2	31.6	8.7	2.6	4.6	1.1	2.1	12.2
	笹目地区(164)	32.9	29.2	22.5	41.4	14.6	44.5	22.0	32.3	0.6	1.2	1.2	1.8	20.7
	美女木地区(121)	24.8	30.5	20.7	39.7	6.6	52.1	18.2	19.0	0.0	1.6	4.1	2.5	15.7

・年齢別にみると、70歳以上を除くすべての年代は、「(4)図書館（分室含む）」「(24)彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」ともに利用頻度が上位3位までに入っています。これに加えて、70歳以上は「(1)文化会館」「(7)公民館・福祉センター（上戸田・新曽・東部・西部）」「(13)白田保養所」など文化施設や福祉関連施設の利用頻度が高くなっています。

図表 57-2 公共施設の利用状況「よく利用」・「たまに利用」の合計  
（全体・性別・年齢別・居住地区別）つづき

		(14) 市民医療センター	(15) 福祉保健センター	(16) 児童センター（プリムローズ）	(17) 少年自然の家	(18) 教育センター	(19) 学校施設の開放（教室、運動場）	(20) サッカー場	(21) テニスコート	(22) 野球場（ソフトボール場含む）	(23) ス県営戸田公園・戸田ボートコース	(24) 彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）	(25) 彩湖自然学習センター	(26) 地域の児童公園
全体(1,317)		15.6	12.1	15.5	2.2	2.2	11.3	2.6	4.3	3.1	17.2	42.0	10.4	27.2
性別	男性(562)	12.1	9.1	11.0	2.5	2.3	10.3	2.8	4.4	4.8	19.8	45.0	10.8	24.1
	女性(755)	18.2	14.3	18.8	2.0	2.1	12.0	2.4	4.2	1.9	15.4	39.7	10.1	29.5
年齢別	16～19歳(32)	6.3	0.0	28.1	6.3	6.3	9.4	9.4	9.4	3.1	12.5	34.4	12.5	34.4
	20～29歳(129)	7.0	10.9	11.7	0.0	0.0	3.1	0.8	3.9	2.3	14.8	36.5	6.2	16.3
	30～39歳(262)	21.0	28.3	28.6	0.8	1.2	18.3	5.3	3.8	3.0	23.2	59.2	12.2	46.6
	40～49歳(278)	18.7	9.7	24.8	5.4	2.6	23.4	4.4	6.9	8.0	22.3	55.0	15.8	38.9
	50～59歳(192)	11.9	5.7	9.9	2.1	4.1	6.2	1.0	6.2	1.5	15.6	38.6	13.0	18.2
	60～69歳(202)	14.4	6.9	5.0	2.0	2.0	3.0	0.0	3.0	1.0	15.9	34.2	7.4	17.8
	70歳以上(222)	15.8	8.6	3.2	0.9	2.3	5.0	0.9	1.0	0.9	8.6	19.8	4.1	11.3
居住地区別	下戸田1地区(165)	2.4	5.4	7.3	1.2	0.6	7.9	0.6	3.6	2.4	12.7	26.6	7.9	20.7
	下戸田2地区(251)	10.8	13.1	9.6	4.0	4.4	10.4	3.2	5.2	3.2	24.3	40.7	6.0	29.9
	上戸田1地区(142)	9.9	16.9	12.0	2.1	3.5	7.7	2.1	6.3	2.8	18.3	35.2	11.3	25.4
	上戸田2地区(195)	8.7	12.3	13.4	2.6	2.6	8.2	2.0	4.1	1.0	26.7	35.4	8.7	28.2
	新曽地区(279)	14.7	14.3	20.8	1.1	2.2	14.4	3.6	4.4	2.8	15.7	45.2	10.1	27.3
	笹目地区(164)	31.7	7.9	23.1	1.2	0.6	12.2	1.8	3.6	4.2	9.7	51.8	9.7	24.4
	美女木地区(121)	41.3	13.2	23.9	3.3	0.0	19.0	4.1	2.5	6.6	5.8	63.6	26.5	34.7

## 6. 地域コミュニティについて

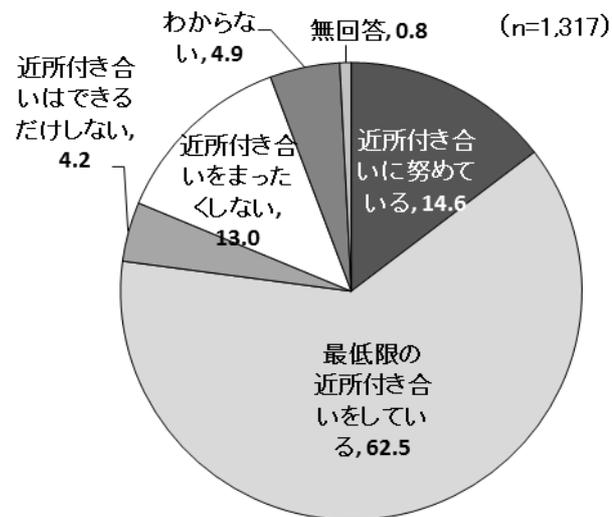
### (1) 近所付き合いの程度

問 27 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

#### 【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの程度については、「近所付き合いに努めている」が14.6%となっています。また、「最低限の近所付き合いをしている」が62.5%と、半数以上を占めています。

図表 58 近所付き合いの程度(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性に比べて女性は「近所付き合いに努めている」が多く、反対に女性に比べて男性は「近所付き合いをまったくしない」が多くなっています。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるほど「近所付き合いに努めている」が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区で「近所付き合いに努めている」(18.3%)が最も高くなっています。一方、上戸田1地区で「近所付き合いをまったくしない」(16.9%)が最も高くなっています。

図表 59 近所付き合いの程度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		い 近 所 付 き 合 い に 努 め て	を 最 低 限 の 近 所 付 き 合 い	だ 近 所 付 き 合 い は で き る	く 近 所 付 き 合 い を ま っ た	わ か ら な い	無 回 答
全体(1,317)		14.6	62.5	4.2	13.0	4.9	0.8
性別	男性(562)	11.0	61.2	5.5	15.3	6.4	0.5
	女性(755)	17.2	63.4	3.2	11.3	3.8	1.1
年齢別	16～19歳(32)	6.3	68.8	3.1	9.4	12.5	0.0
	20～29歳(129)	7.0	52.7	2.3	27.1	10.1	0.8
	30～39歳(262)	9.9	62.2	5.0	18.3	4.6	0.0
	40～49歳(278)	12.9	65.8	5.4	11.9	4.0	0.0
	50～59歳(192)	9.9	66.7	5.2	12.0	4.7	1.6
	60～69歳(202)	17.3	66.8	4.0	7.4	4.5	0.0
	70歳以上(222)	29.3	55.9	2.3	6.3	3.2	3.2
居住地区別	下戸田1地区(165)	16.4	59.4	4.8	10.3	7.3	1.8
	下戸田2地区(251)	13.9	63.3	3.2	14.3	4.4	0.8
	上戸田1地区(142)	16.2	54.9	3.5	16.9	7.0	1.4
	上戸田2地区(195)	12.8	66.7	7.7	10.3	2.6	0.0
	新曽地区(279)	11.8	65.2	2.2	14.7	5.4	0.7
	笹目地区(164)	18.3	62.2	5.5	9.1	4.3	0.6
	美女木地区(121)	15.7	61.2	3.3	14.9	4.1	0.8

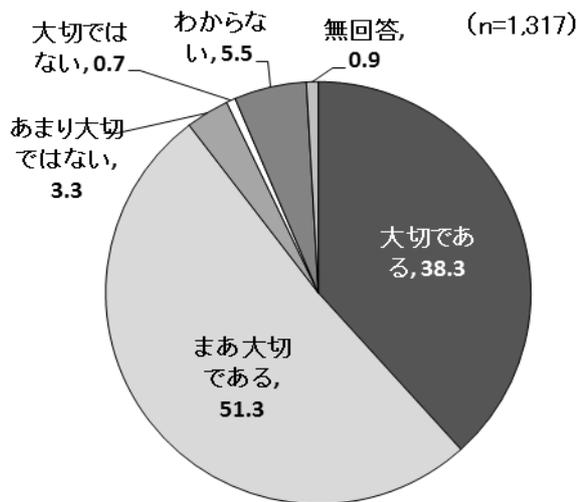
(2) 近所付き合いの大切さ

問 28 あなたは、近所付き合いは大切だと思いますか。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの大切さについて、「大切である」が 38.3%、「まあ大切である」が 51.3%と、約 90%となっています。

図表 60 近所付き合いは大切か



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、年齢が上がるほど大切である割合（「大切である」と「まあ大切である」の合計）が高くなる傾向です。特に70歳以上は「大切である」が54.1%と他の年代と比べて突出して高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区と美女木地区で90%を超える人が大切である（「大切である」と「まあ大切である」の割合の合計）と感じています。

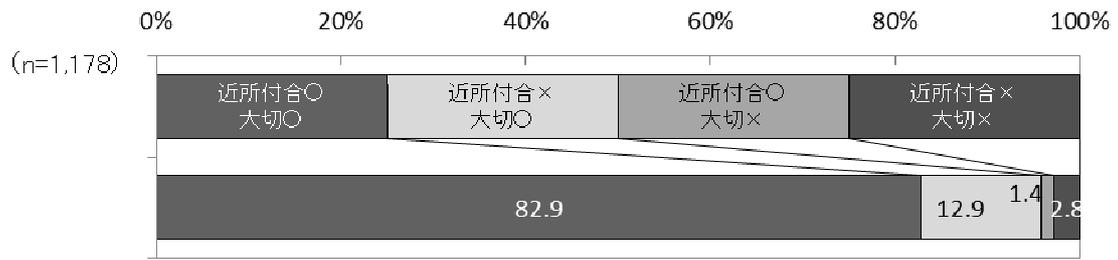
図表 61 近所付き合いは大切か(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		大切である	まあ大切である	あまり大切ではない	大切ではない	わからない	無回答
全体(1,317)		38.3	51.3	3.3	0.7	5.5	0.9
性別	男性(562)	35.4	53.6	3.9	0.9	5.2	1.1
	女性(755)	40.4	49.5	2.9	0.5	5.8	0.8
年齢別	16～19歳(32)	37.5	50.0	6.3	0.0	6.3	0.0
	20～29歳(129)	35.7	50.4	4.7	1.6	7.0	0.8
	30～39歳(262)	37.4	52.7	3.8	0.8	5.3	0.0
	40～49歳(278)	29.9	60.4	3.2	0.4	6.1	0.0
	50～59歳(192)	34.4	54.7	4.2	1.0	4.2	1.6
	60～69歳(202)	39.1	49.5	3.0	0.5	6.9	1.0
	70歳以上(222)	54.1	37.4	1.4	0.5	4.1	2.7
居住地区別	下戸田1地区(165)	33.9	53.3	1.2	0.6	8.5	2.4
	下戸田2地区(251)	39.0	52.2	2.0	0.0	5.6	1.2
	上戸田1地区(142)	35.9	52.1	3.5	0.7	5.6	2.1
	上戸田2地区(195)	42.1	47.2	4.1	0.0	6.7	0.0
	新曽地区(279)	35.8	53.0	4.3	1.4	5.0	0.4
	笹目地区(164)	42.7	47.0	5.5	0.0	4.3	0.6
	美女木地区(121)	38.8	53.7	2.5	2.5	2.5	0.0

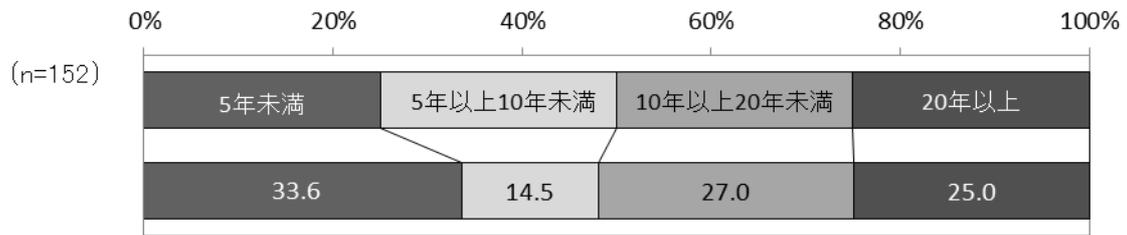
### 【近所付き合いに関する行動と意識について】

- ・近所付き合いについて、問 27 で行動を、問 28 では意識について回答を得ました。各標本の回答を、行動と意識の回答によって 4 つに分けて分析しました。行動については、「近所付き合いに努めている」及び「最低限の近所付き合いをしている」と回答した場合は○（行動している）、「近所付き合いはできるだけしない」及び「近所付き合いをまったくしない」の場合は×（行動していない）としました。また、意識については、「大切である」及び「まあ大切である」と回答した場合は○（大切だと思っている）、「あまり大切ではない」及び「大切ではない」の場合は×（大切だと思っていない）としました。行動と意識の○、×の組み合わせにより、4 つの区分に分けて集計しました。
- ・近所付き合いに関する行動と意識に関する全体（n=1,178）では、「近所付合○大切○」が 82.9%とほとんどを占めており、次いで、「近所付合×大切○」が 12.9%でした。
- ・「近所付合×大切○」の層（n=152）に着目すると、居住期間では、「5 年未満」が 33.6%と最も高い割合でした。「20 年以上」は、25.0%であり、全体（50.3%。図表 6）よりも大幅に低い値でした。
- ・また、子どもの人数で見ると、子どもがいない（0 人）の割合が 48.0%であり、全体全体（24.5%。図表 12）より高くなっています。
- ・さらにもう一つの特徴として、住宅の種類で見ると、「近所付合×大切○」の層（n=152）では、「借家(民間アパート・マンション)」の割合が 49.3%と最も高く、全体（32.1%。図表 7）と比べて高くなっています。また、「持ち家(戸建て)」は 11.8%と全体（37.4%。図表 7）と比べて低い割合となっています。

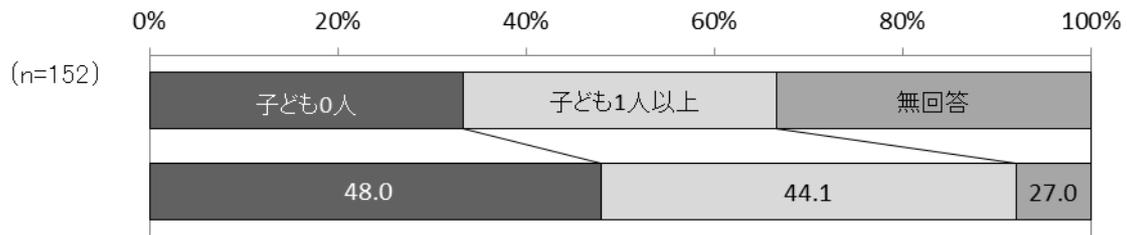
図表 62 近所付き合いに関する行動と意識について(全体)



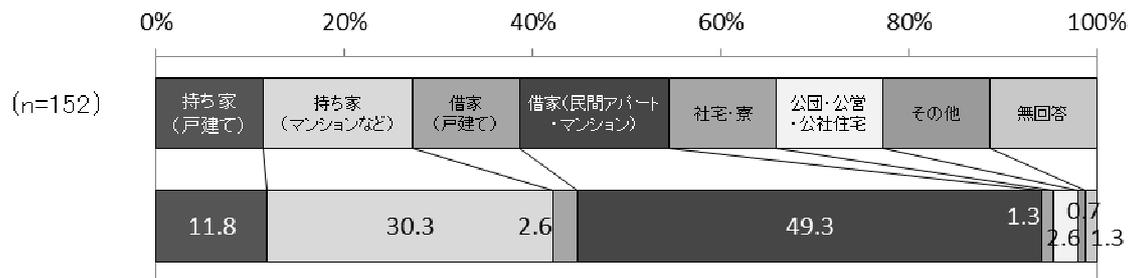
図表 63 「近所付合×大切○」の居住期間



図表 64 「近所付合×大切○」の子ども人数



図表 65 「近所付合×大切○」の住宅の種類



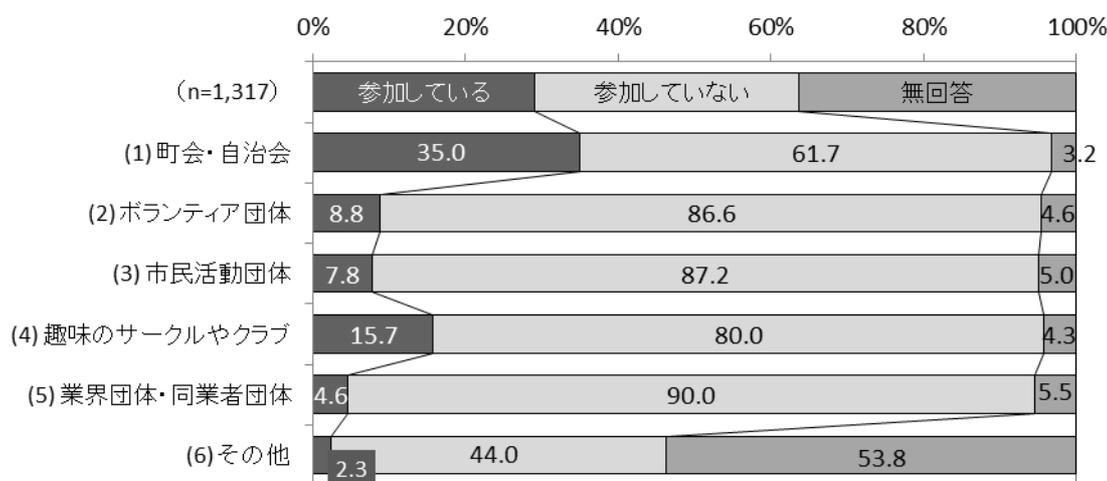
### (3) 団体等の活動への参加

問 29 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。(活動内容ごとに○は1つずつ)

#### 【全体の回答傾向】

- ・地域の団体等の活動への参加状況について、参加割合が比較的高い団体等は「(1) 町会・自治会」が 35.0%と最も多く、次いで「(4) 趣味のサークルやクラブ」が 15.7%となっています。

図表 66 団体等の活動への参加(全体)



(注) 参加している = 「まったく参加していない」「無回答」以外の合計

参加していない = 「まったく参加していない」

- ・団体活動別にみると、「(4) 趣味のサークルやクラブ」は、比較的参加頻度が高くなっています。

図表 67 団体等の活動への参加頻度

	ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度
(1) 町会・自治会(462)	0.6	6.3	16.7	42.6	33.8
(2) ボランティア団体(116)	0.0	19.8	17.2	32.8	30.2
(3) 市民活動団体(103)	0.0	8.7	15.5	35.0	40.8
(4) 趣味のサークルやクラブ(207)	2.4	42.0	30.9	15.5	9.2
(5) 業界団体・同業者団体(59)	3.4	3.4	23.7	42.4	27.1
(6) その他(28)	3.6	21.4	32.1	21.4	21.4

【属性別の回答傾向】

①町会・自治会への参加

- ・性別にみると、女性は男性よりも参加割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代は「全く参加していない」が90%を超えています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区及び美女木地区は、参加頻度が他の地区に比べ高くなっています。

図表 68 団体等の活動への参加頻度①町会・自治会(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.2	2.2	5.8	15.0	11.8	61.7	3.2
性別	男性(562)	0.0	2.1	5.7	12.8	12.6	63.7	3.0
	女性(755)	0.4	2.3	6.0	16.6	11.3	60.3	3.3
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	84.4	6.3
	20〜29歳(129)	0.0	0.8	0.0	5.4	2.3	90.7	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	0.0	3.8	14.5	9.2	72.5	0.0
	40〜49歳(278)	0.0	0.0	6.1	14.4	13.7	65.1	0.7
	50〜59歳(192)	0.0	1.0	4.7	16.1	17.7	57.3	3.1
	60〜69歳(202)	0.0	3.5	8.4	20.3	15.8	48.5	3.5
	70歳以上(222)	1.4	8.6	10.8	18.0	9.9	40.5	10.8
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	1.2	5.5	17.6	8.5	61.8	5.5
	下戸田2地区(251)	0.4	1.6	6.0	13.9	15.1	59.8	3.2
	上戸田1地区(142)	0.0	0.7	4.9	15.5	11.3	65.5	2.1
	上戸田2地区(195)	0.0	2.6	6.2	10.8	10.3	68.2	2.1
	新曽地区(279)	0.4	1.1	3.6	13.6	10.4	67.7	3.2
	笹目地区(164)	0.0	5.5	7.3	18.3	12.8	52.4	3.7
	美女木地区(121)	0.8	4.1	9.9	18.2	14.9	49.6	2.5

②ボランティア団体への参加

- ・性別にみると、女性は男性よりも参加割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、他の年齢に比べ70歳以上の参加割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、上戸田1地区は、「まったく参加していない」が90%を超えています。

図表 69 団体等活動への参加頻度②ボランティア団体(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.0	1.7	1.5	2.9	2.7	86.6	4.6
性別	男性(562)	0.0	0.2	1.8	2.0	2.5	89.0	4.6
	女性(755)	0.0	1.1	0.8	3.3	3.7	85.8	5.3
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	84.4	6.3
	20〜29歳(129)	0.0	0.8	0.0	2.3	3.1	93.0	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	0.4	0.0	1.9	3.1	94.7	0.0
	40〜49歳(278)	0.0	0.4	2.9	3.2	1.4	91.7	0.4
	50〜59歳(192)	0.0	2.1	0.5	2.1	2.1	89.1	4.2
	60〜69歳(202)	0.0	3.0	0.5	3.0	3.0	86.1	4.5
	70歳以上(222)	0.0	4.5	4.5	5.0	2.7	65.3	18.0
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	1.8	0.6	1.8	5.5	84.2	6.1
	下戸田2地区(251)	0.0	2.0	1.2	4.0	2.8	84.9	5.2
	上戸田1地区(142)	0.0	0.0	0.7	0.7	2.1	90.8	5.6
	上戸田2地区(195)	0.0	2.1	1.5	3.6	2.6	88.2	2.1
	新曽地区(279)	0.0	1.4	1.4	2.9	3.2	86.7	4.3
	笹目地区(164)	0.0	1.8	2.4	3.7	0.0	85.4	6.7
	美女木地区(121)	0.0	3.3	3.3	2.5	1.7	86.8	2.5

### ③市民活動団体への参加

- ・年齢別にみると、他の年齢に比べ70歳以上の参加割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、上戸田2地区は「まったく参加していない」が90%を超えています。

図表 70 団体等の活動への参加頻度③市民活動団体(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.0	0.7	1.2	2.7	3.2	87.2	5.0
性別	男性(562)	0.0	1.4	1.6	2.8	2.0	88.4	3.7
	女性(755)	0.0	2.0	1.5	2.9	3.2	85.2	5.3
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	87.5	6.3
	20〜29歳(129)	0.0	0.0	0.0	2.3	1.6	95.3	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	0.4	0.4	1.5	1.9	95.8	0.0
	40〜49歳(278)	0.0	0.4	0.7	2.2	2.2	93.9	0.7
	50〜59歳(192)	0.0	1.6	0.5	1.0	3.1	88.5	5.2
	60〜69歳(202)	0.0	0.5	1.5	3.5	5.4	85.1	4.0
	70歳以上(222)	0.0	1.4	4.1	6.3	4.5	64.4	19.4
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	0.6	0.0	2.4	4.8	86.7	5.5
	下戸田2地区(251)	0.0	0.4	0.8	4.0	3.6	85.3	6.0
	上戸田1地区(142)	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8	87.3	7.0
	上戸田2地区(195)	0.0	1.5	1.5	1.0	3.1	90.8	2.1
	新曽地区(279)	0.0	1.1	1.8	2.2	2.5	87.5	5.0
	笹目地区(164)	0.0	0.0	1.2	3.0	3.7	86.0	6.1
	美女木地区(121)	0.0	0.8	3.3	4.1	1.7	86.8	3.3

④趣味のサークルやクラブへの参加

- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて参加割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区は参加割合が他の地区に比べ高くなっています。

図表 71 団体等の活動への参加頻度④趣味のサークルやクラブ  
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	なまじく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.4	6.6	4.9	2.4	1.4	80.0	4.3
性別	男性(562)	0.0	5.3	5.2	3.0	1.1	81.0	4.4
	女性(755)	0.7	7.5	4.6	2.0	1.7	79.2	4.2
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	3.1	0.0	0.0	9.4	81.3	6.3
	20〜29歳(129)	0.8	3.1	0.8	0.8	0.8	93.0	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	2.7	5.7	2.3	1.5	87.8	0.0
	40〜49歳(278)	0.0	4.0	4.3	2.9	0.7	87.8	0.4
	50〜59歳(192)	0.5	8.3	4.7	1.0	1.0	80.2	4.2
	60〜69歳(202)	0.0	7.9	5.0	3.5	1.5	79.2	3.0
	70歳以上(222)	1.4	14.4	7.7	3.6	1.8	53.6	17.6
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	6.7	4.8	1.2	0.6	81.2	5.5
	下戸田2地区(251)	0.8	6.4	2.0	2.8	2.4	80.9	4.8
	上戸田1地区(142)	0.0	6.3	5.6	3.5	0.7	77.5	6.3
	上戸田2地区(195)	0.5	4.6	6.2	2.6	1.5	83.1	1.5
	新曽地区(279)	0.4	6.8	5.0	2.2	1.1	80.6	3.9
	笹目地区(164)	0.0	10.4	5.5	3.0	0.6	75.0	5.5
	美女木地区(121)	0.8	5.0	6.6	1.7	3.3	79.3	3.3

⑤業界団体・同業者団体への参加

- ・性別にみると、男性は女性よりも参加割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて参加割合が高くなっています
- ・居住地区別にみると、笹目地区及び美女木地区は、他の地区に比べ「まったく参加していない」の割合が低くなっています。

図表 72 団体等の活動への参加頻度⑤業界団体・同業者団体  
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,317)		0.2	0.2	1.1	1.9	1.2	90.0	5.5
性別	男性(562)	0.0	1.4	1.6	2.8	1.4	88.4	5.0
	女性(755)	0.1	0.3	0.4	1.1	1.1	91.1	6.0
年齢別	16〜19歳(32)	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	87.5	6.3
	20〜29歳(129)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	99.2	0.8
	30〜39歳(262)	0.0	0.0	0.8	0.8	1.1	97.3	0.0
	40〜49歳(278)	0.4	0.0	0.7	1.4	0.4	96.4	0.7
	50〜59歳(192)	0.5	0.0	2.1	2.6	1.0	89.6	4.2
	60〜69歳(202)	0.0	0.0	1.5	3.0	1.5	88.6	5.4
	70歳以上(222)	0.0	0.9	1.4	3.6	2.3	69.8	22.1
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	0.0	0.0	1.8	0.6	91.5	6.1
	下戸田2地区(251)	0.0	0.4	1.6	1.2	1.6	89.2	6.0
	上戸田1地区(142)	0.0	0.0	1.4	1.4	1.4	90.1	5.6
	上戸田2地区(195)	0.0	0.0	0.5	1.5	1.5	93.3	3.1
	新曽地区(279)	0.0	0.4	1.4	1.1	1.1	90.7	5.4
	笹目地区(164)	1.2	0.0	0.0	3.7	0.6	86.6	7.9
	美女木地区(121)	0.0	0.0	2.5	4.1	1.7	86.8	5.0

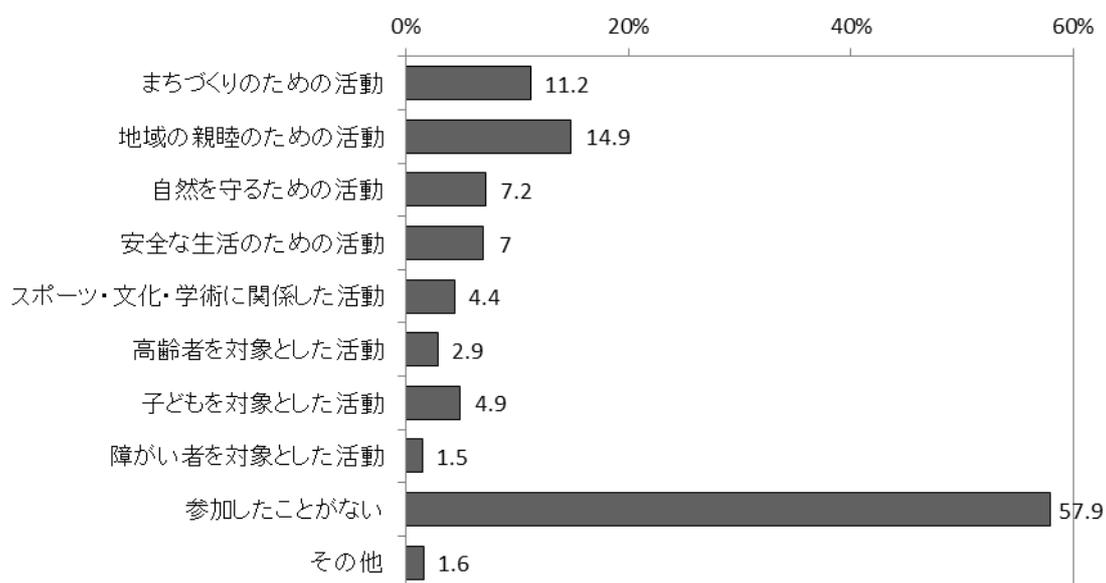
#### (4) 地域活動やボランティア活動への参加

問 30 あなたは、ここ 1 年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。  
参加したものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

##### 【全体の回答傾向】

- ・地域活動やボランティア活動への参加状況について、「参加したことがない」が 57.9%と最も高くなっています。
- ・一方、活動に参加した人では、地域住民による祭りや運動会などの「地域の親睦のための活動」が 14.9%と最も高く、次いで道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動などの「まちづくりのための活動」が 11.2%と高くなっています。

図表 73 地域活動やボランティア活動への参加(全体)



##### 【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性は男性に比べ、「(2) 地域の親睦のための活動」「(7) 子どもを対象とした活動」が高くなっています。一方、男性は女性に比べ「(2) スポーツ・文化・学術に関係した活動」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、70歳以上は他の年齢に比べ「(1) まちづくりのための活動」(24.8%)、「(2) 地域の親睦のための活動」(21.2%)及び「(3) 自然を守るための活動」(17.1%)が最も高くなっています。また、40歳代は、他の年代に比べ「(4) 安全な生活のための活動」(14.4%)が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、美女木地区は他の地区に比べ、「(1) まちづくりのための活動」(24.0%)、「(2) 地域の親睦のための活動」(24.8%)及び「(3) 自然を守るための活動」(14.9%)が最も高くなっています。また、笹目地区は他の地区に比べ「(6) 高齢者を対象とした活動」(6.1%)が最も高くなっています。

図表 74 地域活動やボランティア活動への参加(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		(1) 活 ま ち づ く り の た め の	(2) 活 地 域 の 親 睦 の た め の	(3) 動 自 然 を 守 る た め の 活	(4) 活 安 全 な 生 活 の た め の	(5) 術 ス ポ ー ツ ・ 文 化 ・ 学 に 関 係 し た 活 動	(6) 活 高 齢 者 を 対 象 と し た	(7) 活 子 ど も を 対 象 と し た	(8) た 障 が い 者 を 対 象 と し	(9) 参 加 し た こ と が な い	(10) そ の 他
全体(1,317)		11.2	14.9	7.2	7.0	4.4	2.9	4.9	1.5	57.9	1.6
性別	男性(562)	11.6	12.5	6.6	7.1	5.3	2.3	2.7	1.8	60.0	1.8
	女性(755)	11.0	16.7	7.7	6.9	3.7	3.3	6.5	1.3	56.3	1.5
年齢別	16～19歳(32)	6.3	12.5	3.1	3.1	3.1	0.0	3.1	0.0	62.5	3.1
	20～29歳(129)	3.9	5.4	2.3	0.0	5.4	0.8	4.7	2.3	72.9	0.0
	30～39歳(262)	4.6	13.0	1.9	4.2	2.7	1.1	7.6	0.8	61.8	1.1
	40～49歳(278)	10.4	19.1	5.8	14.4	4.7	0.4	8.6	1.1	56.8	0.7
	50～59歳(192)	9.9	9.4	6.3	4.7	5.2	0.5	3.1	1.0	59.4	1.0
	60～69歳(202)	12.9	16.3	9.9	6.9	4.5	7.4	2.5	2.0	57.4	4.5
	70歳以上(222)	24.8	21.2	17.1	7.7	5.0	7.7	0.9	2.7	44.1	1.8
居住地区別	下戸田1地区(165)	7.3	10.9	7.3	6.1	4.2	4.2	1.2	0.6	57.0	3.6
	下戸田2地区(251)	12.4	16.7	6.0	8.0	5.2	2.4	6.0	2.8	61.0	0.0
	上戸田1地区(142)	7.7	12.0	4.2	7.7	2.1	0.7	1.4	0.7	65.5	0.7
	上戸田2地区(195)	8.7	11.3	7.2	6.7	6.2	1.5	4.6	1.5	56.4	2.1
	新嘗地区(279)	8.6	14.3	7.2	5.7	2.9	2.5	7.2	1.4	59.1	1.8
	笹目地区(164)	14.6	16.5	6.1	9.1	5.5	6.1	4.9	1.8	53.0	1.2
	美女木地区(121)	24.0	24.8	14.9	5.8	5.0	3.3	6.6	0.8	49.6	2.5

## 7. 市政への参加について

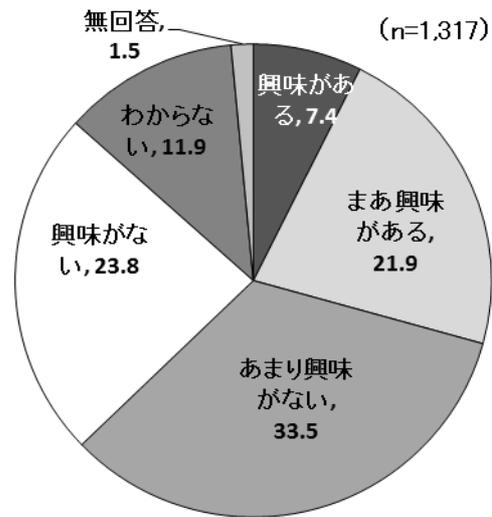
### (1) 市政参加への興味

問 31 あなたは、市政への参加（市の会議への参加やイベントの企画運営など）に興味がありますか。（○は1つ）

#### 【全体の回答傾向】

- ・ 市政参加への興味は、「あまり興味がない」（33.5%）と「興味がない」（23.8%）を合わせた否定的な意見が 57.3%となっています。

図表 75 市政参加への興味(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、興味がある傾向にあります。また、20歳代は「興味がある」の割合が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、新曽地区で「あまり興味が無い」と「興味が無い」を合わせると60%を超えており、最も高くなっています。

図表 76 市政参加への興味(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		興味がある	まあ興味がある	あまり興味がない	興味がない	わからない	無回答
全体(1,317)		7.4	21.9	33.5	23.8	11.9	1.5
性別	男性(562)	9.6	23.7	33.1	22.6	9.8	1.2
	女性(755)	5.7	20.7	33.8	24.6	13.5	1.7
年齢別	16～19歳(32)	3.1	28.1	21.9	31.3	15.6	0.0
	20～29歳(129)	10.1	24.8	26.4	31.0	6.2	1.6
	30～39歳(262)	7.3	20.6	32.8	28.2	10.7	0.4
	40～49歳(278)	2.5	19.4	41.0	25.9	10.4	0.7
	50～59歳(192)	4.7	26.0	34.4	20.8	13.0	1.0
	60～69歳(202)	10.4	17.8	37.6	19.8	13.4	1.0
	70歳以上(222)	12.2	24.3	26.1	16.7	15.8	5.0
居住地区別	下戸田1地区(165)	4.8	20.6	32.7	26.1	11.5	4.2
	下戸田2地区(251)	8.0	23.1	33.9	22.3	11.2	1.6
	上戸田1地区(142)	8.5	27.5	28.2	23.2	10.6	2.1
	上戸田2地区(195)	7.7	27.2	35.9	20.5	8.7	0.0
	新曽地区(279)	8.2	18.6	34.8	26.2	11.8	0.4
	笹目地区(164)	7.3	18.3	35.4	23.8	12.8	2.4
	美女木地区(121)	5.8	19.0	30.6	24.0	19.8	0.8

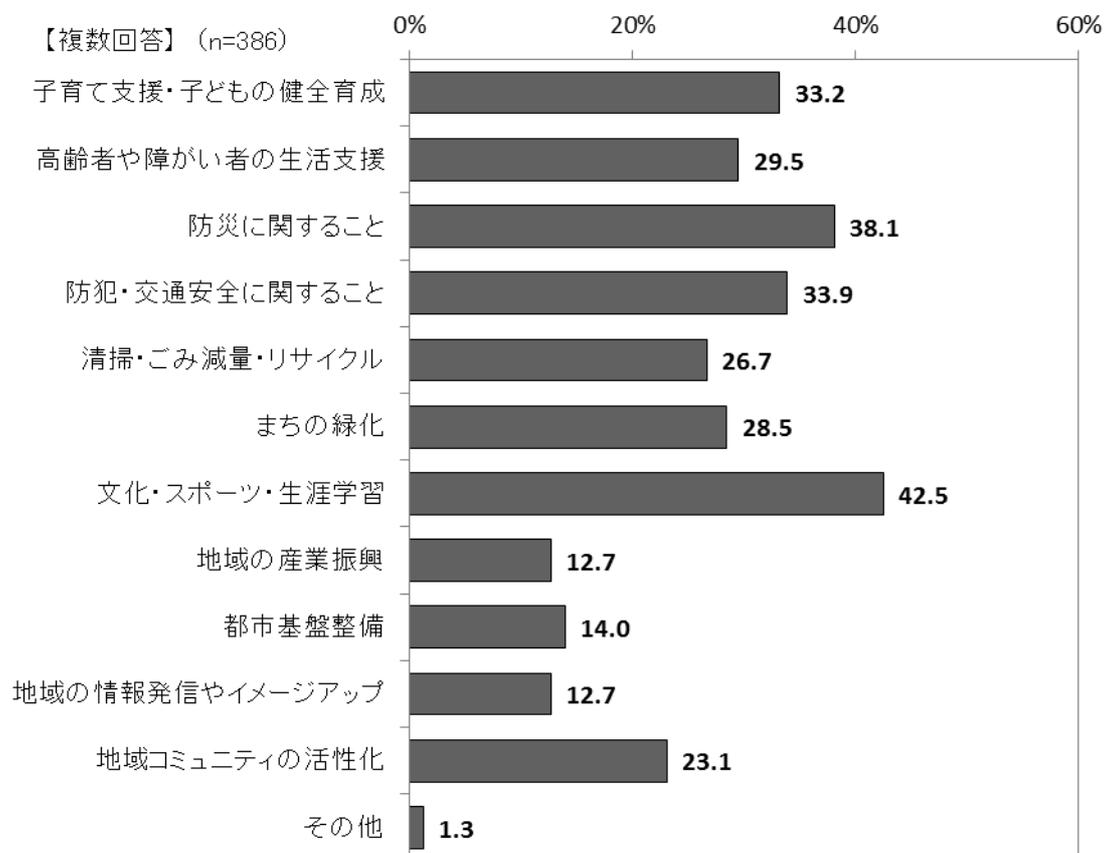
## (2) 参加に興味のある市政の分野

問 32 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

### 【全体の回答傾向】

- ・参加に興味のある市政の分野については、問 31 で市政参加に「興味がある」及び「まあ興味がある」と回答した層 (n=386) に絞り、集計を行いました。
- ・結果は、「文化・スポーツ・生涯学習」(42.5%) が最も高く、次いで、「防災に関すること」が 38.1%、「防犯・交通安全に関すること」が 33.9%と高くなっています。

図表 77 参加に興味のある市政の分野(市政参加への興味がある層)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「防災に関すること」や「防犯・交通安全に関すること」で高く、女性は男性に比べ、「文化・スポーツ・生涯学習」や「地域コミュニティの活性化」で高くなっています。
- ・年齢別では、全ての年代で標本数が少ないことに注意が必要ですが、50歳未満と50歳以上で分かれる傾向が見られます。50歳未満では、「子育て支援・子どもの健全育成」や、「地域の産業振興」、「地域の情報発信やイメージアップ」で高い傾向があり、一方、50歳以上では、「高齢者や障がい者の生活支援」や「防災に関すること」、「清掃・ごみ減量・リサイクル」や「地域コミュニティの活性化」で高い割合になっています。

図表 78 参加に興味のある市政の分野(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		健全育成	子育て支援・子どもの	高齢者や障がい者の生活	防災に関すること	防犯・交通安全に関する	清掃・ごみ減量・リサ	ま	学	地	都	メ	性	そ
		育	の	の	の	の	イ	ち	文	域	市	地	域	他
		成	支	支	支	支	ク	の	化	の	基	域	化	
		成	援	援	援	援	ル	緑	・	産	盤	の	コ	
		成	子	子	子	子	・	化	ス	業	整	情	ミュ	
		成	ど	ど	ど	ど	ご	ポ	・	振	備	報	ニ	
		成	も	も	も	も	み	ー	生	興		発	テ	
		成	の	の	の	の	減	ツ	涯			信	ィ	
		成	の	の	の	の	量	・	学			や	の	
		成	生	生	生	生	・	生	涯			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	涯	学			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	学	文			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	文	化			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	化	・			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	・	ス			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	ニ	ニ	ニ	ニ	リ	ー	・			イ	活	
		成	テ	テ	テ	テ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	化			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	・			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	文	ポ			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	化	ー			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	・	ス			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	ニ	ニ	ニ	ニ	リ	ー	・			イ	活	
		成	テ	テ	テ	テ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー			イ	活	
		成	化	化	化	化	リ	・	ス			イ	活	
		成	域	域	域	域	サ	ポ	ポ			イ	活	
		成	コ	コ	コ	コ	リ	ー	・			イ	活	
		成	ミュ	ミュ	ミュ	ミュ	サ	ツ	生			イ	活	
		成	ィ	ィ	ィ	ィ	リ	・	涯			イ	活	
		成	の	の	の	の	サ	学	文			イ	活	
		成	活	活	活	活	リ	文	ポ			イ	活	
		成	性	性	性	性	サ	化	ー					

## 8. 防災について

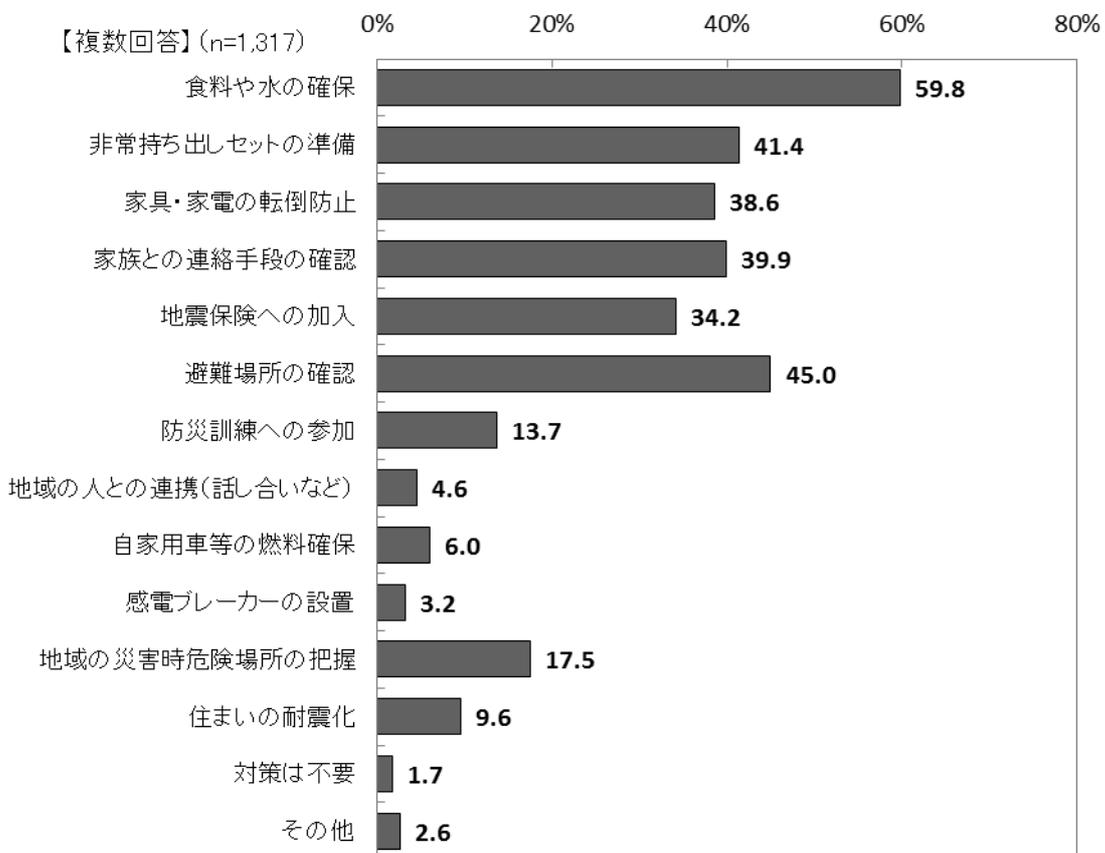
### (1) 家庭での災害対策

問 33 あなたは、家庭でどのような災害対策をとっていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

#### 【全体の回答傾向】

- ・「食料や水の確保」、「避難場所の確認」、「非常持ち出しセットの準備」であり、40%以上となっています。
- ・特に「食料や水の確保」については、59.8%と約60%の人が対策を取っています。
- ・「対策は不要」が最も低く1.7%となっています。

図表 79 家庭での災害対策(全体)



#### 【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、30歳代～70歳代以上の約60%以上が、「食料や水の確保」の災害対策をとっています。一方で、10歳代～20歳代の「食料や水の確保」の災害対策をとっているのが、半数以下となっており、年代による差が見られます。
- ・年齢別の「防災訓練への参加」についてみると、歳を重ねるにつれ、災害対策として、防災訓練に参加するようになっています。
- ・年齢別の「防災訓練への参加」をみると、30歳代から歳を経るにつれて、回答が増加傾向にあります。

- ・年齢別の「対策は不要」についてみると、20歳代が6.2%と最も高く、次いで、70歳以上が3.2%と高くなっています。
- ・居住地区別の「食料や水の確保」についてみると、下戸田2地区が63.3%と最も高く、美女木地区が57.9%と最も低くなっています。
- ・家庭での災害対策について、○を付けた数は、平均で3.2個でした。○を付けなかった4.4%（○を付けた数が0のn=58）と、「対策は不要」と回答した1.7%を合わせた6.1%を除いた93.9%が何らかの対策を講じていました。

図表 80 家庭での災害対策(全体・性別・年齢・居住地区別)

		食料や水の確保	非常持ち出しセットの準備	家具・家電の転倒防止	家族との連絡手段の確認	地震保険への加入	避難場所の確認	防災訓練への参加	地域の人の連携（話し合いなど）	自家用車等の燃料確保	感電ブレーカーの設置	地域の災害時危険場所の把握	住まいの耐震化	対策は不要	その他
全体(1,317)		59.8	41.4	38.6	39.9	34.2	45.0	13.7	4.6	6.0	3.2	17.5	9.6	1.7	2.6
性別	男性(562)	56.9	39.5	37.2	37.9	34.3	42.9	13.2	5.7	8.9	4.6	17.8	10.1	2.7	3.2
	女性(755)	61.9	42.8	39.6	41.5	34.2	46.5	14.2	3.8	3.8	2.1	17.2	9.1	1.1	2.1
年齢別	16～19歳(32)	46.9	37.5	28.1	50.0	3.1	37.5	3.1	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	6.3
	20～29歳(129)	48.8	31.0	30.2	39.5	20.2	40.3	3.1	3.1	3.9	0.0	9.3	3.9	6.2	1.6
	30～39歳(262)	61.1	41.2	38.2	36.6	33.6	40.8	10.3	1.1	5.0	1.1	16.4	11.1	0.4	1.9
	40～49歳(278)	61.2	46.0	45.0	38.1	41.4	47.1	14.4	3.2	7.6	2.5	17.6	6.8	1.4	3.2
	50～59歳(192)	59.9	37.5	34.9	38.5	34.9	39.6	12.0	2.6	8.3	1.0	20.3	8.3	1.0	3.6
	60～69歳(202)	61.9	41.1	41.1	45.5	40.6	52.0	17.8	7.9	5.4	5.9	21.8	12.4	0.5	2.0
	70歳以上(222)	62.6	45.9	38.3	41.0	32.4	49.1	22.5	10.8	5.9	8.1	17.6	13.5	3.2	2.3
居住地区別	下戸田1地区(165)	58.8	40.6	37.0	35.2	29.7	52.1	13.3	4.2	7.3	4.2	17.6	11.5	1.8	2.4
	下戸田2地区(251)	63.3	46.6	37.1	39.8	44.2	44.2	15.5	5.6	4.0	3.2	17.9	10.4	1.2	1.6
	上戸田1地区(142)	59.9	45.1	39.4	47.2	32.4	52.1	11.3	4.2	12.0	4.9	19.0	8.5	2.1	3.5
	上戸田2地区(195)	65.1	47.2	40.0	44.1	34.4	39.5	15.9	1.5	4.1	1.0	14.4	7.2	2.6	1.5
	新曽地区(279)	52.7	35.5	40.5	40.9	31.5	39.4	10.4	4.3	4.7	2.5	17.6	9.7	1.8	3.2
	笹目地区(164)	62.2	37.2	36.0	33.5	32.9	45.1	15.9	7.3	7.9	2.4	20.7	7.3	1.2	1.2
	美女木地区(121)	57.9	37.2	39.7	38.0	29.8	49.6	14.9	5.8	5.0	5.8	14.9	13.2	1.7	5.8

図表 81 家庭での災害対策(○を付けた数とその人数及び平均値)

○を付けた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
人数	58	253	272	264	148	135	90	55	18	15	3	1	4	1	3.2

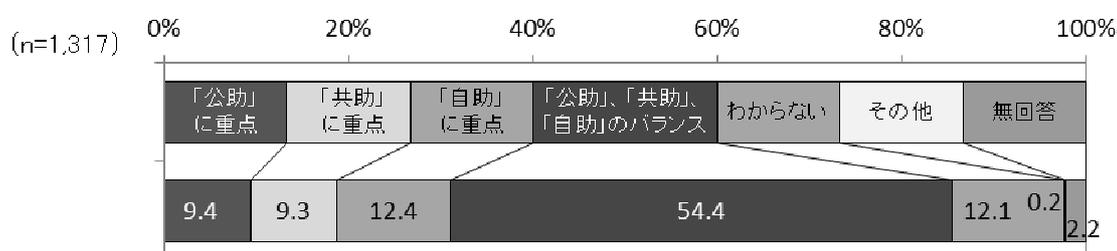
## (2) 災害発生時に取るべき対応

問 34 災害が発生したときにその被害を軽減するために取る対応について、国や市による「公助」、地域の住民やボランティア、企業などの連携による「共助」、自ら身を守る「自助」というものがあります。災害発生時に取るべき対応として、この中からあなたの気持ちに最も近いものを1つお答えください。(〇は1つ)

### 【全体の回答傾向】

- ・災害発生時に取るべき対応として、『「公助」、「共助」、「自助」のバランスのとれた対応をするべきである』が、54.4%を占めています。
- ・次いで、『「自助」に重点を置いた対応をすべきである』が 12.4%と高くなっています。

図表 82 災害発生時に取るべき対応（全体）



### 【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、『「自助」に重点を置いた対応をすべきである』は、男性は16.2%に対し、女性は9.5%と災害時の自助に対する意識の違いが見られました。
- ・年齢別にみると、災害発生時に取るべき対応として、70歳未満の年代で、約50%以上が『「公助」、「共助」、「自助」のバランスのとれた対応をするべきである』と回答しています。  
一方で、『「公助」、「共助」、「自助」のバランスのとれた対応をするべきである』について、70歳以上は約40%にとどまっています。
- ・年齢別の『「自助」に重点を置いた対応をすべきである』についてみると、30歳代が6.1%と低くなっています。  
また、年齢別の『「公助」に重点を置いた対応をすべきである』についてみると、30歳代が13.4%、40歳代が12.6%と他に比べて高くなっています。
- ・居住地区別の『「自助」に重点を置いた対応をすべきである』についてみると、上戸田2地区が17.9%と最も高く、新曽地区が9.3%と最も低くなっています。

図表 83 災害発生時に取るべき対応(全体・性別・年齢・居住地区別)

		を「公助」に重点を置いた対応	を「共助」に重点を置いた対応	を「自助」に重点を置いた対応	助のバランスが取れた対応	わからない	その他	無回答
全体(1,317)		9.4	9.3	12.4	54.4	12.1	0.2	2.2
性別	男性(562)	10.7	8.7	16.2	51.1	10.7	0.2	2.5
	女性(755)	8.5	9.7	9.5	56.8	13.2	0.3	2.0
年齢別	16～19歳(32)	3.1	9.4	18.8	50.0	18.8	0.0	0.0
	20～29歳(129)	8.5	10.1	16.3	48.8	15.5	0.0	0.8
	30～39歳(262)	13.4	14.1	6.1	56.9	8.0	0.8	0.8
	40～49歳(278)	12.6	9.0	10.1	58.6	9.0	0.0	0.7
	50～59歳(192)	4.7	9.4	12.0	60.4	12.0	0.0	1.6
	60～69歳(202)	7.4	4.0	15.3	57.4	13.9	0.0	2.0
	70歳以上(222)	8.1	8.1	17.1	41.9	16.7	0.5	7.7
居住地区別	下戸田1地区(165)	8.5	7.9	12.7	53.9	12.7	0.0	4.2
	下戸田2地区(251)	9.6	9.6	10.0	57.0	11.6	0.4	2.0
	上戸田1地区(142)	12.7	7.7	12.7	52.1	10.6	0.7	3.5
	上戸田2地区(195)	10.3	10.3	17.9	53.8	7.2	0.0	0.5
	新曽地区(279)	9.0	10.4	9.3	53.8	14.7	0.4	2.5
	笹目地区(164)	9.8	7.9	14.0	54.3	12.8	0.0	1.2
	美女木地区(121)	5.8	9.9	12.4	54.5	15.7	0.0	1.7

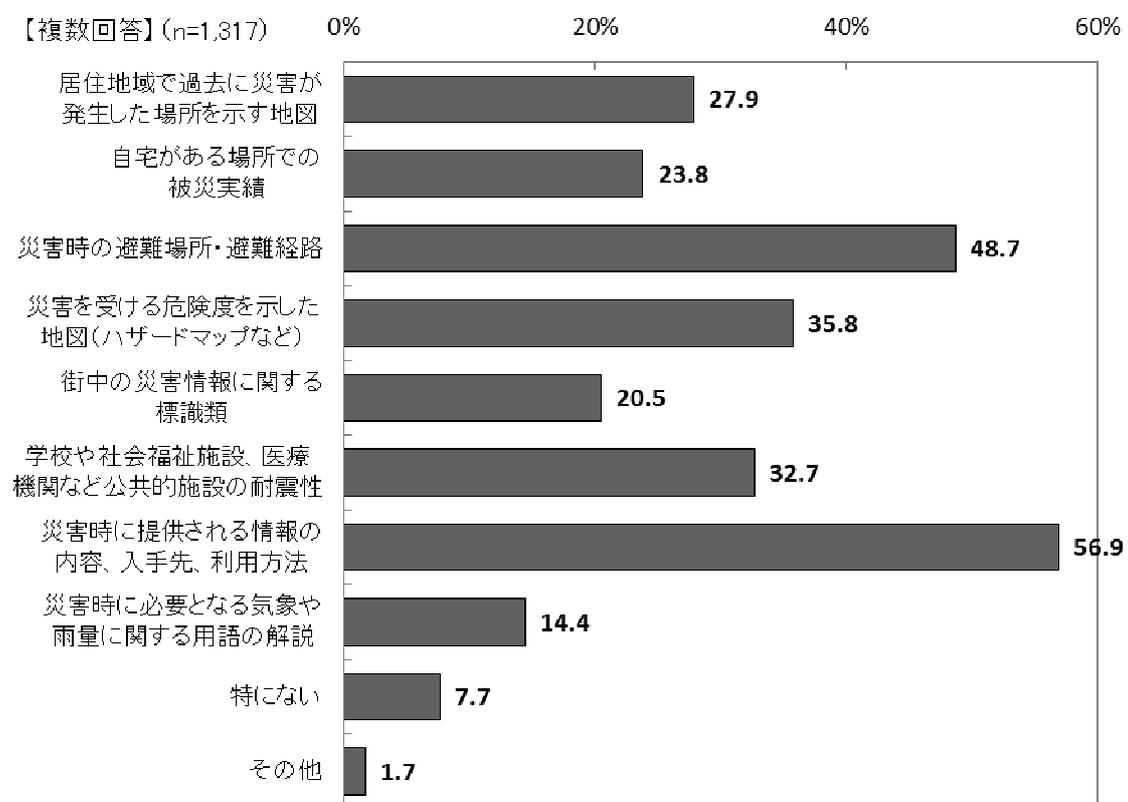
### (3) 充実して欲しい防災情報

問 35 あなたが住んでいる地域で、災害の危険性に関する情報や災害対策に役立つ情報について、あなたが今より充実して欲しいものは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

#### 【全体の回答傾向】

- ・充実して欲しい防災情報について、最も高いものが「災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法」の 56.9%であり、次いで、「災害時の避難場所・避難経路」の 48.7%となっています。

図表 84 充実して欲しい防災情報(全体)



#### 【属性別の回答傾向】

- ・性別で「学校や社会福祉施設、医療機関など公共的施設の耐震性」について、男性が 27.2%に対し、女性が 36.8%となっています。
- ・年齢別にみると、20 歳代～60 歳代では「災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法」が、50%以上となっている一方で、16～19 歳では 34.4%となっています。また、「自宅がある場所での被災実績」については、20 歳代～70 歳代以上が約 20%であるのに対し、16～19 歳では、3.1%でした。
- ・居住地区別の「特にない」についてみると、美女木地区が 14.0%と最も高くなっています。
- ・充実してほしい防災情報について、〇を付けた数は平均で 2.6 個でした。

図表 85 充実して欲しい防災情報(全体・性別・年齢・居住地区別)

		た居住場所を示す地図	居住地域で過去に災害が発生した	自宅がある場所での被災実績	災害時の避難場所・避難経路	災害を受ける危険度を示した地図(ハザードマップなど)	街中の災害情報に関する標識類	学校や社会的施設の耐震性、医療機関	災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	災害時に必要となる用語の解説	気象や雨量	特になし	その他
全体(1,317)		27.9	23.8	48.7	35.8	20.5	32.7	56.9	14.4	7.7	1.7		
性別	男性(562)	29.4	23.3	47.9	37.5	21.9	27.2	52.1	12.1	9.8	2.0		
	女性(755)	26.9	24.1	49.4	34.6	19.5	36.8	60.5	16.2	6.2	1.5		
年齢別	16～19歳(32)	21.9	3.1	34.4	21.9	9.4	43.8	34.4	9.4	12.5	0.0		
	20～29歳(129)	20.9	19.4	44.2	33.3	18.6	30.2	55.0	15.5	14.0	0.0		
	30～39歳(262)	34.4	27.9	51.5	37.4	23.7	38.5	63.4	13.0	6.1	3.1		
	40～49歳(278)	28.4	21.2	47.1	34.2	18.3	36.0	65.8	9.7	5.0	1.8		
	50～59歳(192)	30.7	25.0	47.9	38.0	21.9	28.6	54.7	10.4	8.3	1.0		
	60～69歳(202)	21.3	21.8	49.0	38.1	19.3	32.2	56.4	16.3	8.4	0.0		
	70歳以上(222)	28.4	28.4	52.7	35.6	22.1	25.7	45.0	23.9	7.7	3.2		
居住地区別	下戸田1地区(165)	26.7	24.2	50.3	42.4	25.5	35.8	58.2	16.4	6.7	0.6		
	下戸田2地区(251)	29.9	23.5	47.8	30.3	22.3	36.3	59.4	14.7	7.2	2.0		
	上戸田1地区(142)	30.3	26.8	52.1	40.1	22.5	28.9	52.8	11.3	6.3	4.2		
	上戸田2地区(195)	25.1	23.1	51.3	40.5	16.9	32.3	60.0	17.4	7.7	0.5		
	新曽地区(279)	27.6	20.4	50.2	33.0	21.1	34.1	55.6	9.7	5.7	2.2		
	笹目地区(164)	29.9	26.8	42.1	31.7	15.9	26.8	54.9	16.5	9.8	1.2		
	美女木地区(121)	25.6	24.8	46.3	38.0	18.2	31.4	56.2	18.2	14.0	0.8		

図表 86 充実して欲しい防災情報(○を付けた数とその人数及び平均値)

○を付けた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均
人数	134	256	328	265	143	82	43	19	45	2	2.6

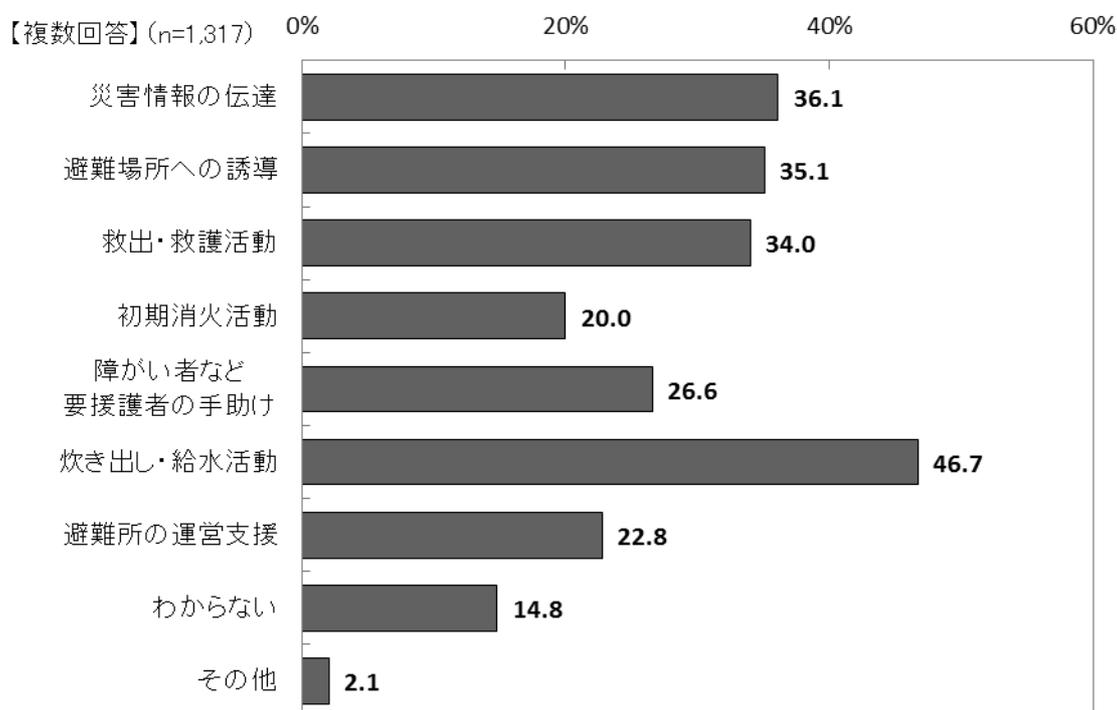
#### (4) 災害時に協力できる助け合い

問 36 万一、災害が起こった場合に、地域ぐるみで行う助け合いのうち、あなたはどのような協力をしたいと思いますか。家族の安否確認はできていることを前提に、あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

##### 【全体の回答傾向】

- ・「炊き出し・給水活動」が 46.7%と高くなっています。また、30%以上の回答となっているのは、「災害情報の伝達」で 36.1%、「避難場所への誘導」が 35.1%、「救出・救護活動」が 34.0%でした。

図表 87 災害時に協力できる助け合い(全体)



##### 【属性別の回答傾向】

- ・性別で見ると、女性に比べて、男性が「救出・救護活動」が 47.3%と高くなっています。また、男性に比べて女性は、「炊き出し・給水活動」が 57.4%と高くなっています。
- ・年齢別にみると、「炊き出し・給水活動」は、30歳代が 53.1%と最も高くなっています。
- ・災害時に協力できる助け合いについて、〇を付けた平均は 2.2 個でした。

図表 88 災害時に協力できる助け合い(全体・性別・年齢・居住地区別)

		災害情報の伝達	避難場所への誘導	救出・救護活動	初期消火活動	障がい者など要援護者の手助け	炊き出し・給水活動	避難所の運営支援	わからない	その他
全体(1,317)		36.1	35.1	34.0	20.0	26.6	46.7	22.8	14.8	2.1
性別	男性(562)	37.5	38.8	47.3	30.6	30.2	32.4	27.4	12.8	1.8
	女性(755)	35.1	32.3	24.1	12.1	23.8	57.4	19.3	16.3	2.3
年齢別	16～19歳(32)	25.0	25.0	37.5	9.4	31.3	40.6	12.5	21.9	0.0
	20～29歳(129)	37.2	43.4	35.7	17.8	24.0	51.9	22.5	13.2	0.0
	30～39歳(262)	36.6	36.6	34.7	19.8	24.8	53.1	25.6	13.4	1.5
	40～49歳(278)	42.4	30.9	34.2	22.7	24.5	47.8	24.8	11.9	1.1
	50～59歳(192)	29.2	32.8	32.3	18.8	29.2	39.6	22.9	17.7	1.6
	60～69歳(202)	34.7	38.1	34.2	19.3	28.7	46.0	20.8	17.3	1.5
	70歳以上(222)	36.0	34.2	32.9	21.2	27.9	42.3	20.3	15.3	6.3
居住地区別	下戸田1地区(165)	35.8	35.2	32.7	22.4	30.9	41.2	20.6	17.0	0.0
	下戸田2地区(251)	37.8	33.9	34.3	20.3	27.1	46.6	24.3	15.5	2.0
	上戸田1地区(142)	38.0	35.9	37.3	24.6	19.7	54.2	27.5	12.0	2.8
	上戸田2地区(195)	34.4	36.9	34.4	19.0	24.1	44.1	25.6	13.3	3.1
	新曽地区(279)	35.8	34.4	34.1	18.6	26.5	49.5	19.7	14.7	1.8
	笹目地区(164)	32.9	37.8	32.3	18.3	29.9	45.1	18.3	15.2	1.8
	美女木地区(121)	38.8	31.4	33.1	17.4	27.3	45.5	25.6	15.7	3.3

図表 89 災害時に協力できる助け合い(○を付けた数とその人数及び平均値)

○を付けた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	平均
人数	209	318	312	216	122	47	24	68	1	2.2

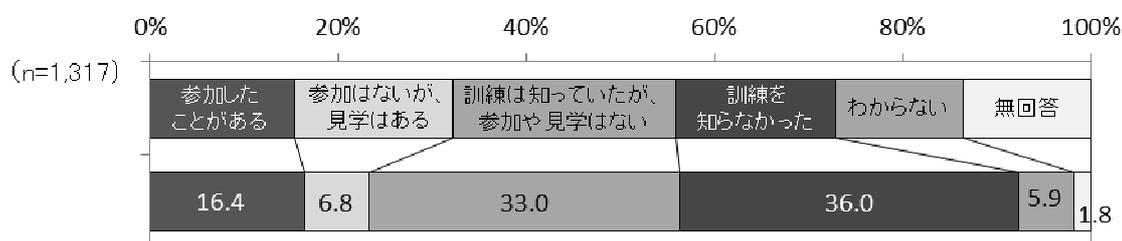
## (5) 防災訓練への参加

### 【全体の回答傾向】

問 37 あなたは、ここ 5 年間で、市が行っている防災訓練に参加したり見学したりしたことがありますか。

- ・「訓練が行われていることを知らなかった」が 36.0%であり、最も高い回答となっています。また、「参加したことはないが、見学したことはある」(6.8%)、「訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したりしたことはない」(33.0%)、「訓練が行われていることを知らなかった」(36.0%) となっており、訓練に参加したことの割合が 75.8%となっています。

図表 90 防災訓練への参加(全体)



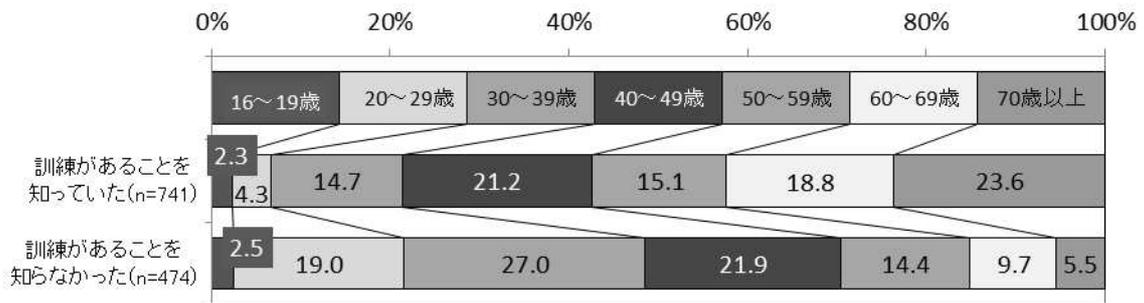
### 【属性別の回答傾向】

- ・年齢別に見ると、年齢が上がるにつれ参加割合が高いことが分かります。
- ・居住地区別の「訓練が行われていることを知らなかった」についてみると、下戸田1地区(25.5%)、笹目地区(26.2%)が低く、上戸田2地区(42.6%)、新曽地区(41.9%)で高く、居住地区によって異なる傾向があります。
- ・居住地区別の「参加したことがある」についてみると、美女木地区(23.1%)と新曽地区(11.5%)で開きがあります。
- ・また、「訓練があることを知っていた」(「参加したことがある」、「参加したことはないが、見学したことはある」及び「訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない」の合計)と、「訓練が行われていることを知らなかった」を比較すると、20歳代～40歳代は、「訓練が行われていることを知らなかった」割合が高くなっています。また、雇用形態別では、「フルタイム正社員」の割合が高くなっています。通勤通学地別では、戸田市外に通勤通学している割合が59.3%と高くなっています。また、友人・知人の数別では、「0人」及び「1～5人」の割合が高くなっています。

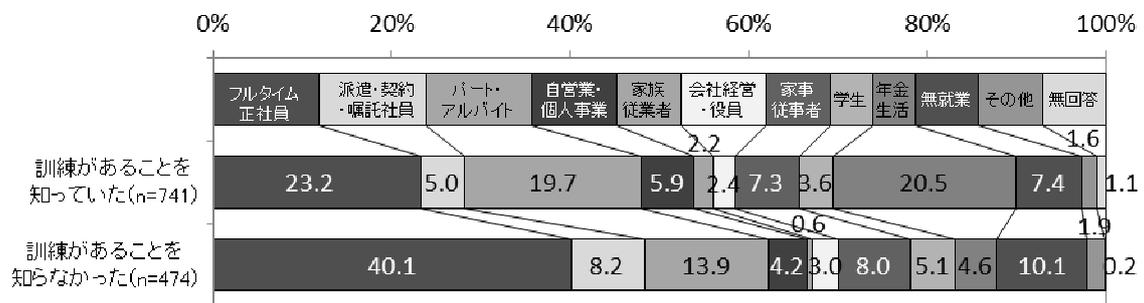
図表 91 防災訓練への参加(全体・性別・年齢・居住地区別)

		参加したことがある	学参加したことはあるが、見	見知訓練が行われたことは、参加したりは	知訓練が行われていないことを	わからない	無回答
全体(1,317)		16.4	6.8	33.0	36.0	5.9	1.8
性別	男性(562)	14.6	6.6	30.4	39.1	6.9	2.3
	女性(755)	17.7	7.0	35.0	33.6	5.2	1.5
年齢別	16～19歳(32)	3.1	3.1	46.9	37.5	9.4	0.0
	20～29歳(129)	2.3	3.9	18.6	69.8	4.7	0.8
	30～39歳(262)	8.0	5.7	27.9	48.9	8.8	0.8
	40～49歳(278)	16.2	3.2	37.1	37.4	6.1	0.0
	50～59歳(192)	12.0	6.3	40.1	35.4	4.7	1.6
	60～69歳(202)	25.2	6.4	37.1	22.8	5.9	2.5
	70歳以上(222)	32.4	15.8	30.6	11.7	3.6	5.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	14.5	8.5	43.6	25.5	5.5	2.4
	下戸田2地区(251)	14.3	8.0	31.1	39.8	6.0	0.8
	上戸田1地区(142)	17.6	7.7	33.1	36.6	3.5	1.4
	上戸田2地区(195)	19.5	4.1	27.7	42.6	4.6	1.5
	新曽地区(279)	11.5	4.3	33.3	41.9	6.8	2.2
	笹目地区(164)	20.1	9.8	32.3	26.2	8.5	3.0
	美女木地区(121)	23.1	7.4	31.4	30.6	5.8	1.7

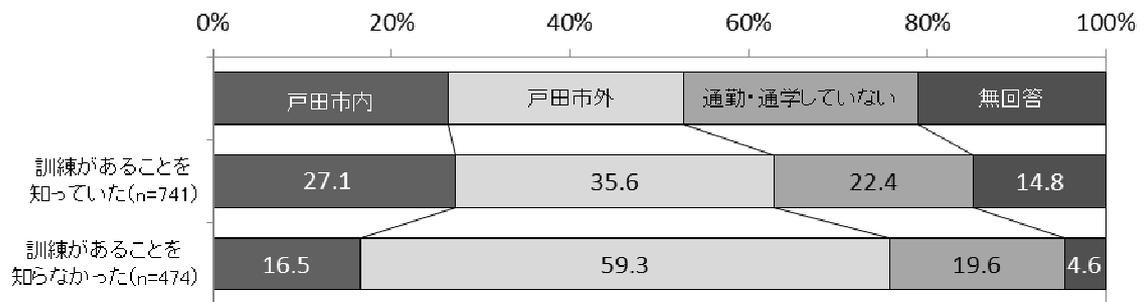
図表 92 防災訓練の認知(年齢別)



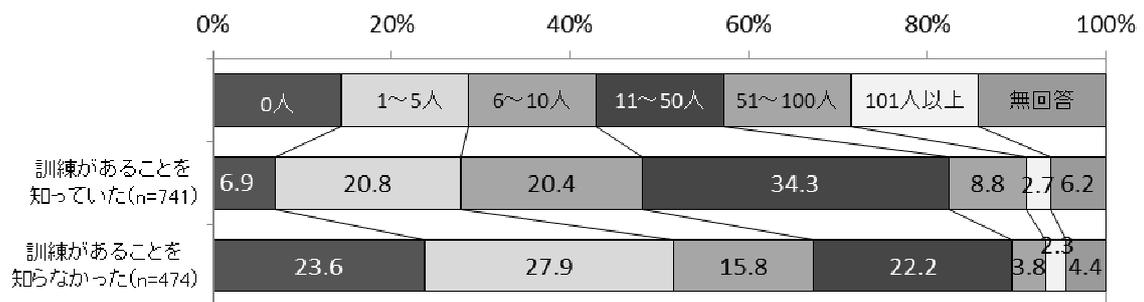
図表 93 防災訓練の認知(雇用形態別)



図表 94 防災訓練の認知(通勤通学地別)



図表 95 防災訓練の認知(友人・知人の数別)



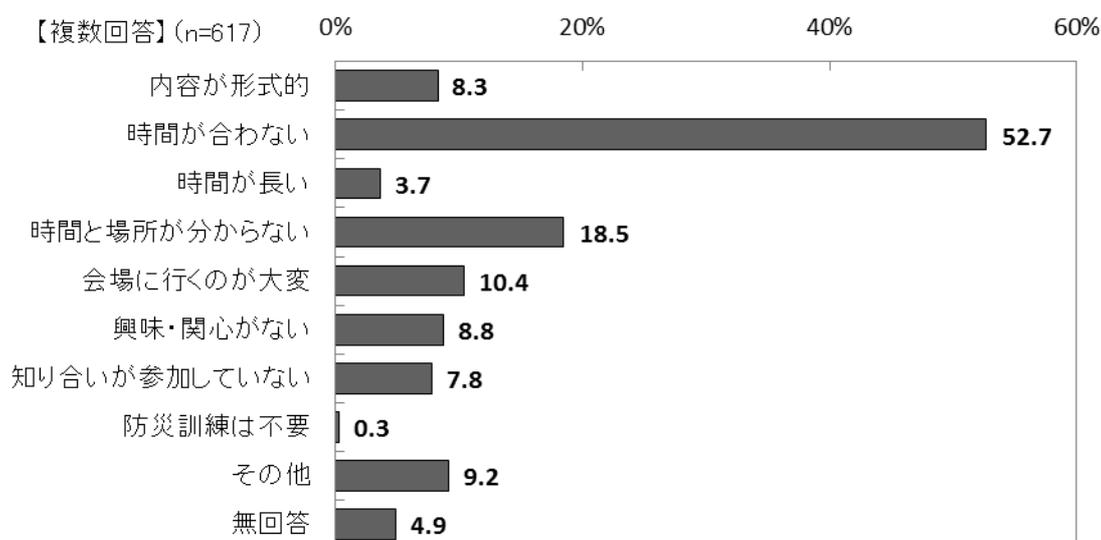
## (6) 防災訓練への不参加理由

問 38 (問 37 で 2 か 3 と答えた方におたずねします。) あなたが参加できなかったのはなぜですか。あてはまる理由をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

### 【全体の回答傾向】

- ・防災訓練に参加できなかった理由として、「時間が合わない」(52.7%)が高くなっています。次いで、「時間と場所が分からない」(18.5%)が高くなっています。また、「防災訓練は不要」は、0.3%と最も低くなっています。

図表 96 防災訓練への不参加理由



### 【属性別の回答傾向】

- ・性別の「興味・関心がない」についてみると、男性が 12.0%であるのに対し、女性は 6.5%となっています。
- ・性別の「知り合いが参加していない」についてみると、男性が 5.2%であるのに対し、女性は 9.5%となっています。
- ・年齢別にみると 70 歳以上では、「時間が合わない」が 29.1%と突出して低くなくなり、「会場に行くのが大変」が 18.9%と最も高くなっています。
- ・年齢別の 20 歳代をみると「時間と場所が分からない」が 40.0%と最も高くなっています。
- ・年齢別の「興味・関心がない」についてみると、16～19 歳では、18.8%と最も高くなっており、次いで 40 歳代が 11.9%と高くなっています。
- ・年齢別の「知り合いが参加していない」についてみると、50 歳代が 11.8%と最も高くなっています。
- ・居住地区別の「時間が合わない」についてみると、上戸田 1 地区の 58.2%が最も高く、下戸田 1 地区は 45.5%と最も低くなっています。

図表 97 防災訓練への不参加理由(全体・性別・年齢・居住地区別)

		内容が形式的	時間が合わない	時間が長い	時間と場所が分からない	会場に行くのが大変	興味・関心がない	知らないが参加して	防災訓練は不要	その他	無回答
全体(617)		8.3	52.7	3.7	18.5	10.4	8.8	7.8	0.3	9.2	4.9
性別	男性(249)	10.0	52.6	3.2	18.5	10.4	12.0	5.2	0.4	6.4	6.0
	女性(368)	7.1	52.7	4.1	18.5	10.3	6.5	9.5	0.3	11.1	4.1
年齢別	16～19歳(16)	0.0	50.0	0.0	37.5	0.0	18.8	6.3	6.3	0.0	0.0
	20～29歳(35)	2.9	62.9	5.7	40.0	11.4	8.6	8.6	0.0	0.0	2.9
	30～39歳(105)	7.6	66.7	2.9	14.3	4.8	10.5	7.6	0.0	10.5	1.0
	40～49歳(126)	9.5	63.5	4.0	19.0	4.0	11.9	7.9	0.0	5.6	0.8
	50～59歳(102)	8.8	58.8	3.9	17.6	8.8	7.8	11.8	0.0	5.9	2.0
	60～69歳(106)	10.4	45.3	3.8	17.0	16.0	7.5	5.7	0.0	11.3	5.7
	70歳以上(127)	7.9	29.1	3.9	15.0	18.9	4.7	6.3	0.8	16.5	15.0
居住地区別	下戸田1地区(99)	7.1	45.5	3.0	24.2	13.1	9.1	5.1	0.0	9.1	6.1
	下戸田2地区(111)	14.4	55.0	5.4	20.7	7.2	6.3	8.1	0.0	7.2	1.8
	上戸田1地区(67)	6.0	58.2	4.5	14.9	9.0	6.0	6.0	0.0	17.9	4.5
	上戸田2地区(75)	5.3	56.0	4.0	17.3	10.7	12.0	6.7	0.0	6.7	4.0
	新曽地区(128)	8.6	56.3	3.1	17.2	8.6	9.4	9.4	0.0	6.3	5.5
	笹目地区(84)	7.1	48.8	3.6	10.7	11.9	9.5	11.9	0.0	11.9	7.1
	美女木地区(53)	5.7	47.2	1.9	24.5	15.1	9.4	5.7	3.8	9.4	5.7

## 9. 公共施設について

### (1) 公共施設の維持方策

#### 問 39

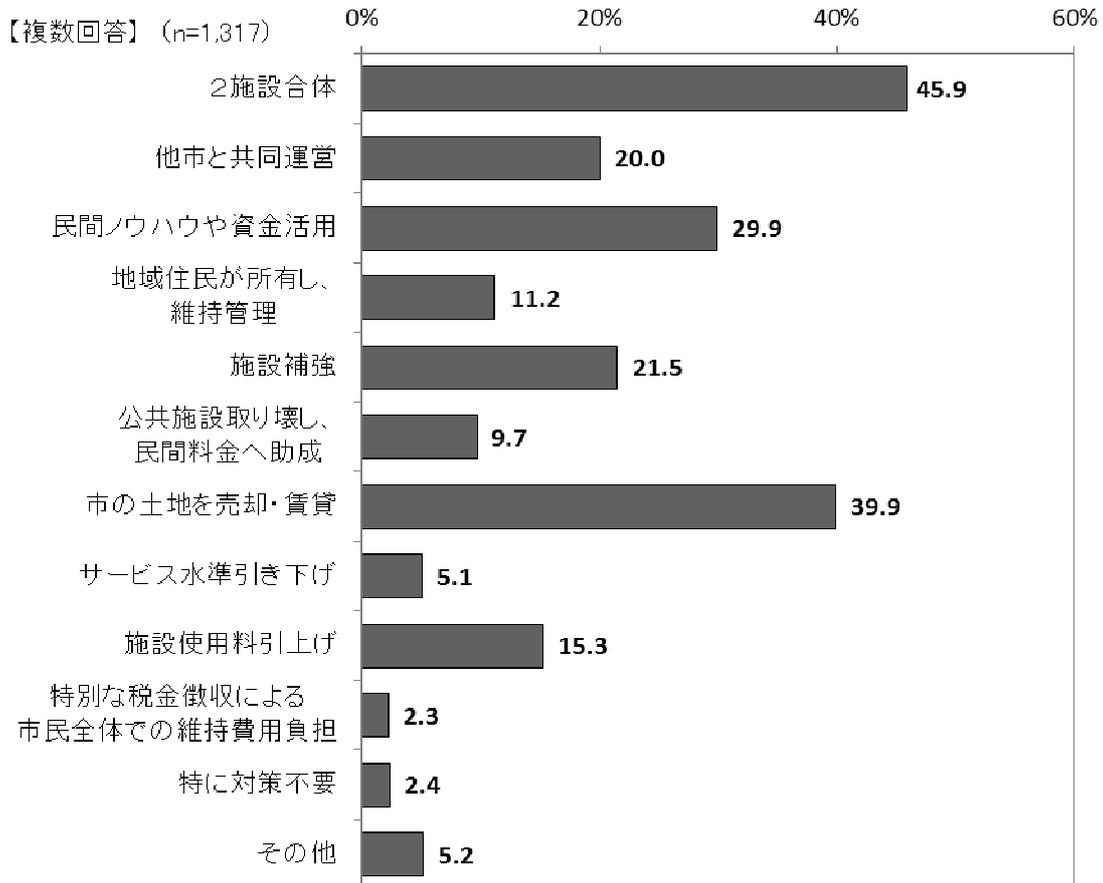
戸田市公共施設マネジメント白書（平成25年6月策定）により、今後の公共施設の維持・管理運営・建替えに莫大な費用がかかり、現状のままで施設を維持し続けていくことが困難であることが明らかとなりました。

以上のことを踏まえた上で、以下の方策について、あなたが良いと思うものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

#### 【全体の回答傾向】

- ・公共施設の維持方策について、「2つの施設を合体させる」（45.9%）が最も高く、次いで、「市の土地を売却・賃貸」（39.9%）となっています。

図表 98 公共施設の維持方策(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、60歳代を除く全ての年齢で「2施設合体」が最も高くなっています。また、他の年代に比べ、30歳代は、「民間ノウハウや資金活用」が、40歳代は、「2施設合体」と「市の土地を売却・賃貸」が、70歳以上は、「地域住民が所有し、維持管理」と「施設補強」が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、全ての居住地区で「2施設合体」が最も高く、特に、上戸田1地区は50%となっています。また、他の地域に比べ、笹目地区は、「地域住民が所有し、維持管理」が、美女木地区は、「公共施設取り壊し、民間料金へ助成」がそれぞれ高くなっています。

図表 99 公共施設の維持方策(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		2施設合体	他市と共同運営	民間ノウハウや資金活用	地域住民が所有し、維持管理	施設補強	公共施設取り壊し、民間料金へ助成	市の土地を売却・賃貸	サービス水準引き下げ	施設使用料引上げ	特別な税金徴収による市民負担	特に対策不要	その他
全体(1,317)		45.9	20.0	29.9	11.2	21.5	9.7	39.9	5.1	15.3	2.3	2.4	5.2
性別	男性(562)	47.9	23.5	32.2	11.9	20.1	12.3	39.3	6.4	16.7	3.4	2.0	5.5
	女性(755)	44.4	17.5	28.2	10.7	22.5	7.8	40.3	4.1	14.2	1.5	2.8	5.0
年齢別	16～19歳(32)	53.1	25.0	15.6	3.1	25.0	9.4	28.1	3.1	0.0	3.1	3.1	9.4
	20～29歳(129)	48.8	24.8	28.7	13.2	16.3	13.2	34.1	6.2	15.5	1.6	2.3	3.1
	30～39歳(262)	51.9	24.4	37.0	8.8	13.4	11.8	41.2	5.0	13.7	3.8	1.1	6.1
	40～49歳(278)	53.6	17.6	32.7	7.2	20.5	10.1	45.0	2.5	15.5	1.4	2.2	4.3
	50～59歳(192)	43.2	20.3	30.7	7.8	20.8	7.8	42.7	4.7	18.8	0.5	2.6	6.3
	60～69歳(202)	40.6	18.8	29.7	15.3	26.2	7.9	42.1	7.4	17.3	3.0	3.5	4.5
	70歳以上(222)	33.3	15.3	20.3	18.5	31.1	8.1	32.4	6.3	14.0	2.7	3.2	5.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	44.8	23.0	27.3	12.1	23.6	9.1	35.8	7.3	13.9	6.7	2.4	3.6
	下戸田2地区(251)	43.0	18.3	29.9	11.6	24.3	7.2	42.2	3.6	13.1	0.4	1.6	6.4
	上戸田1地区(142)	50.0	18.3	35.2	10.6	22.5	11.3	39.4	7.7	19.0	2.1	0.7	4.9
	上戸田2地区(195)	48.2	24.6	35.9	10.8	16.9	8.7	35.4	4.1	16.9	1.0	2.6	5.1
	新曽地区(279)	45.9	19.0	30.1	9.7	20.1	10.8	43.4	5.0	13.3	1.1	2.9	6.5
	笹目地区(164)	45.1	18.3	26.8	14.6	18.9	8.5	39.6	3.7	20.7	3.7	3.7	2.4
	美女木地区(121)	45.5	19.0	21.5	9.9	25.6	14.9	40.5	5.8	11.6	3.3	3.3	6.6

## 10. 戸田市の取り組みについて

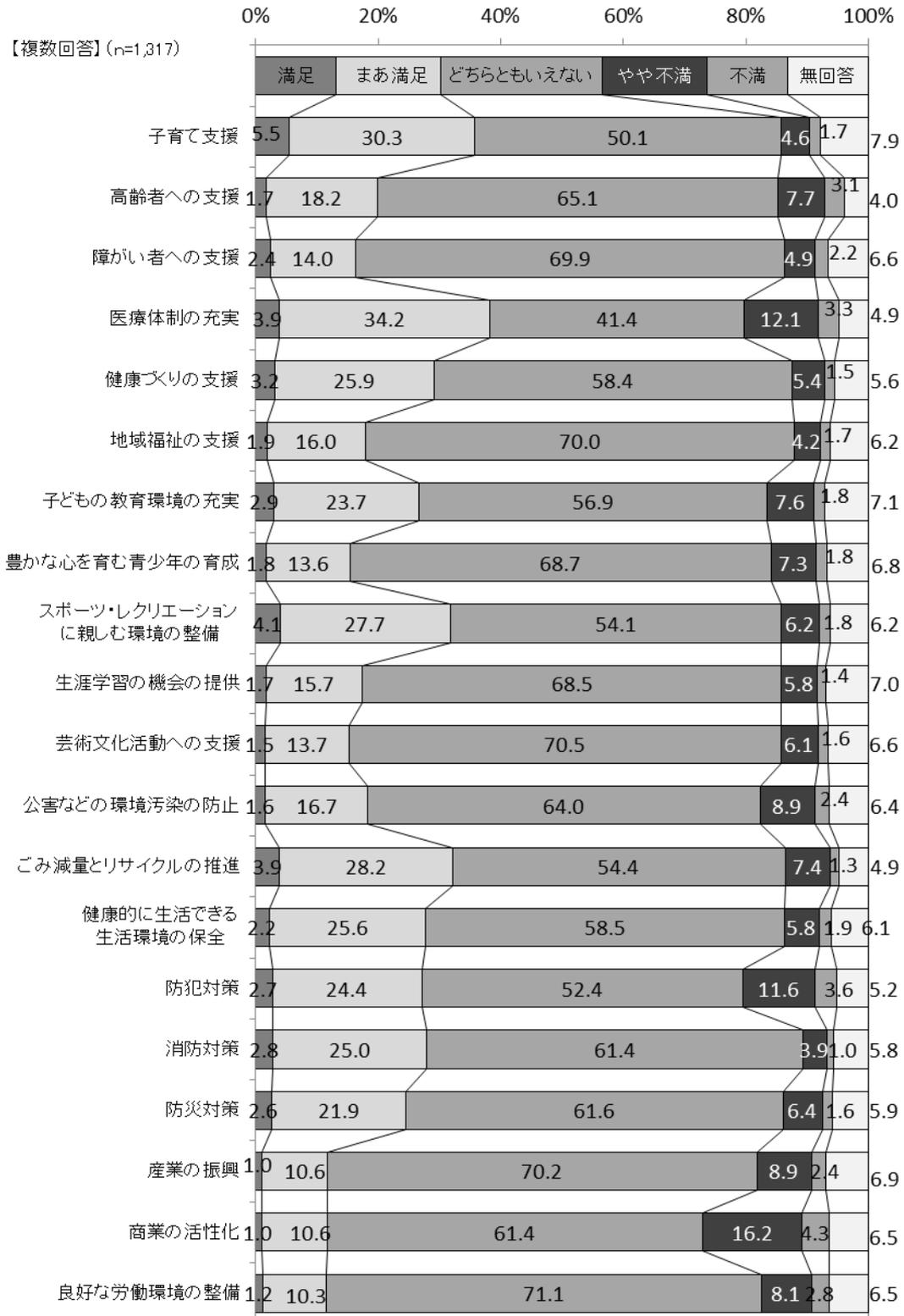
### (1) 戸田市の取り組みへの満足度

問 40 次に示す取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか。項目ごとに、「1～5」の中から1つずつ選んで○をつけてください。  
(項目ごとに○は1つずつ)

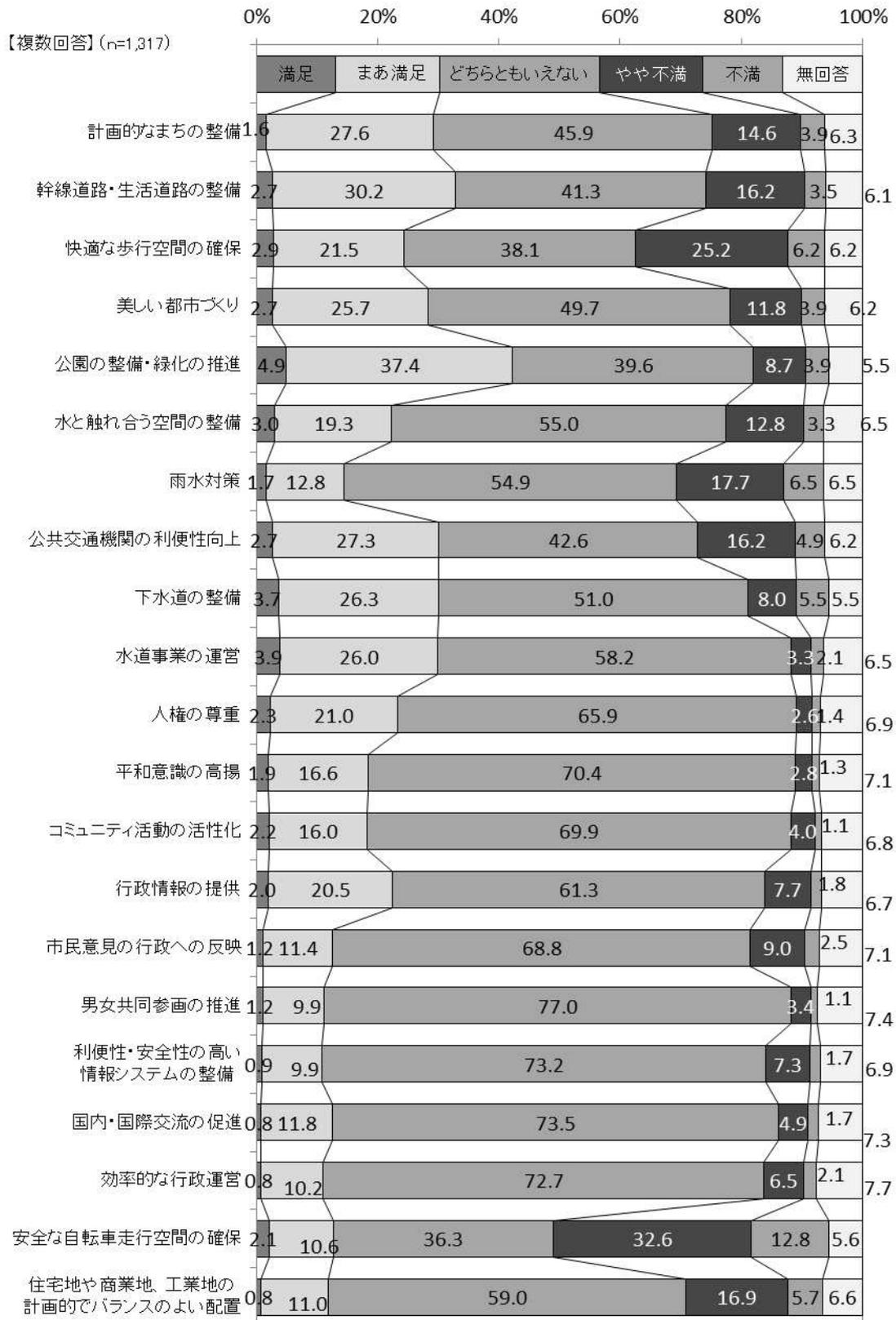
#### 【全体の回答傾向】

- ・「満足」と「まあ満足」を合わせた満足度が最も高いのは、「公園の整備・緑化の推進」(42.3%)であり、次いで「医療体制の充実」(38.1%)と「子育て支援」(35.8%)でした。
- ・一方、「不満」と「やや不満」を合わせたものが最も高いのは、「安全な自転車走行空間の確保」で45.4%となっています。次いで、「快適な歩行空間の確保」(31.4%)、「雨水対策」(24.2%)となっています。

図表 100-1 戸田市の取り組みへの満足度(全体)



図表 100-2 戸田市の取り組みへの満足度(全体)つづき



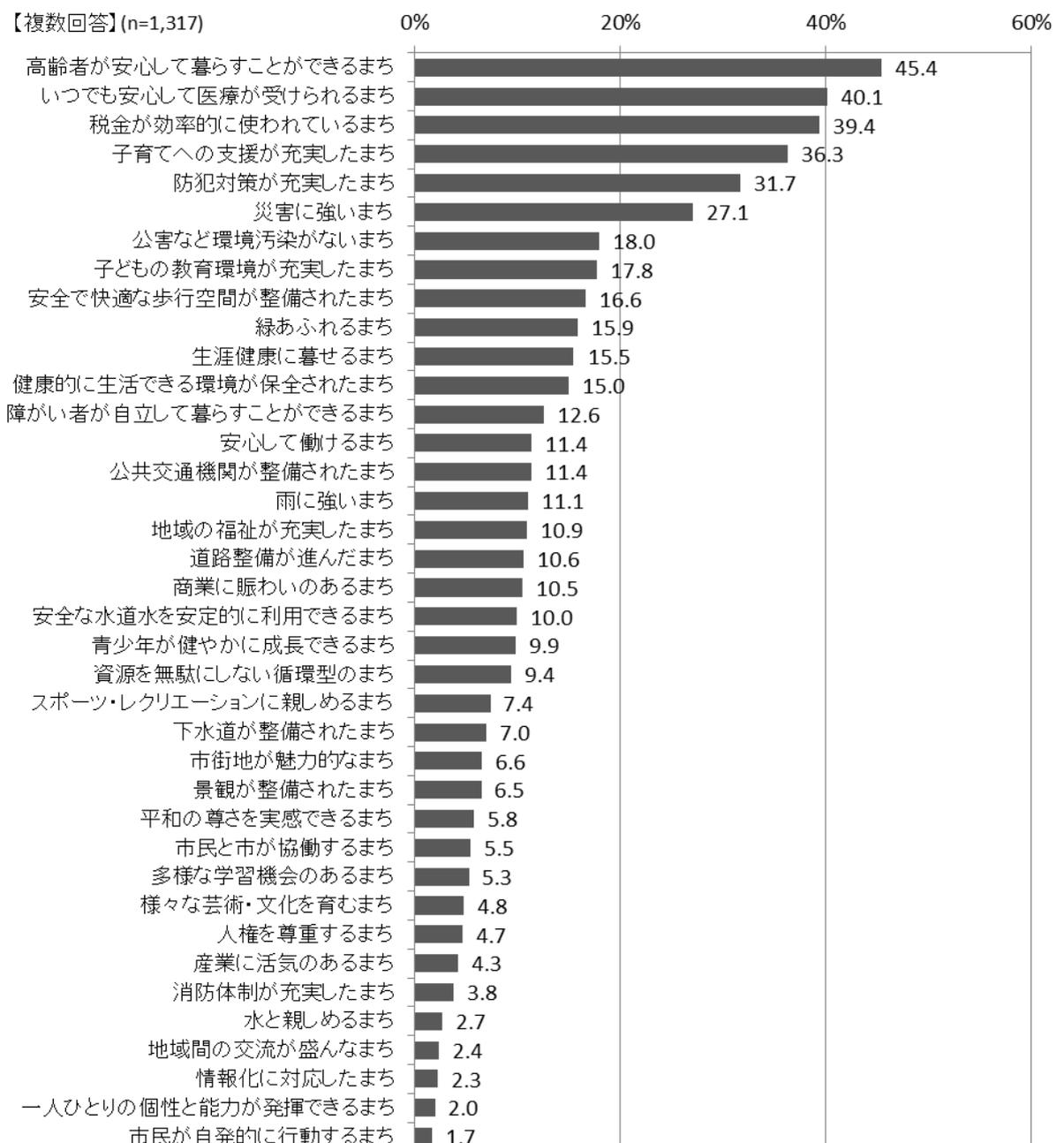
(2) 今後重要だと思う取り組み

問 41 あなたは次に示す項目のうち、戸田市のまちづくりにとって、今後何が重要であると思いますか。今後重要であると思うものを5つまで選んでください。  
(○は5つ)

【本設問の留意点】

- ・本設問に回答する際の意識として、「現状に不満があり、今後推進してほしい重要な分野」という意識と、「現状取組が進んでいるものの、今後より一層推進してほしい重要な分野」という意識があります。したがって、本設問の結果が一概に各分野の進捗状況を示すものではないことに留意が必要です。

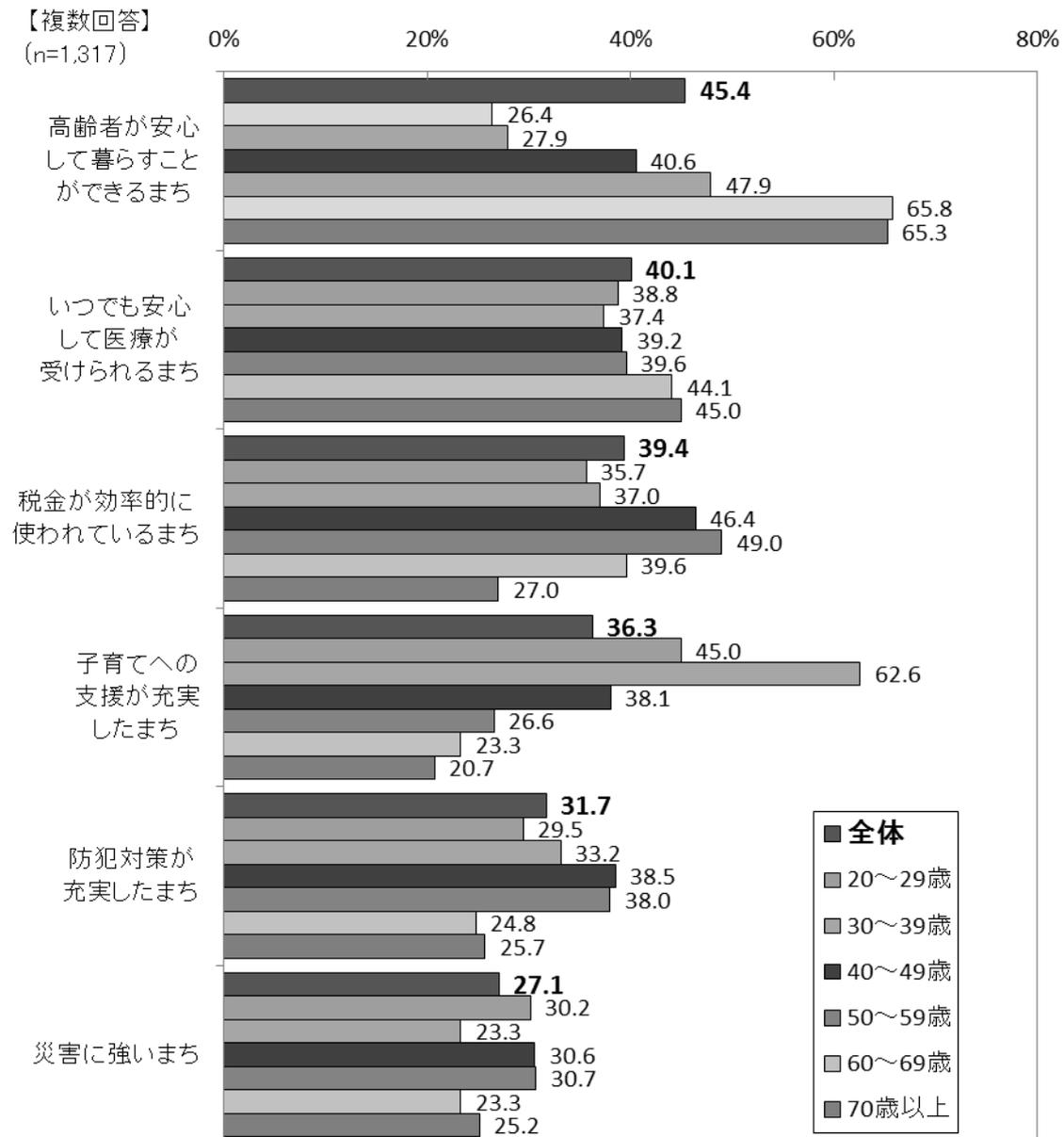
図表 101 今後重要だと思う取り組み(全体)



### 【全体の回答傾向】

- ・今後重要だと思う取り組み（複数回答）としては、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」（45.4%）が最も多く、次いで「いつでも安心して医療が受けられるまち」（40.1%）、「税金が効率的に使われているまち」（39.4%）、「子育てへの支援が充実したまち」（36.3%）、「防犯対策が充実したまち」（31.7%）、「災害に強いまち」（27.1%）となっています。

図表 102 今後重要だと思う上位6項目の取組（年齢別）



### 【今後重要だと思う上位6項目の取組（属性別の回答傾向）】

- ・年齢別に見ると、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」及び「いつでも安心して医療が受けられるまち」では、60歳代と70歳代で高くなっており、年齢とともに高くなる傾向が見られます。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、50歳代で高く（49.0%）、次いで40歳代（46.4%）でした。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、30歳代が62.6%と最も高く、20歳代（45.0%）、40歳代（38.1%）の順に高くなっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、40歳代が最も高く（38.5%）、次いで50歳代（38.0%）、30歳代（33.2%）となっています。
- ・「災害に強いまち」は、20歳代、40歳代及び50歳代で30%を超えています。
- ・居住地区別に見ると、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」及び「いつでも安心して医療が受けられるまち」は、笹目地区、美女木地区及び下戸田1地区で高くなっています。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、下戸田2地区と新曽地区及び上戸田2地区で40%を超えています。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、上戸田2地区（41.0%）、下戸田2地区（39.8%）、及び笹目地区（37.2%）で高くなっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、上戸田1地区（40.1%）が最も高く、次いで上戸田2地区（34.9%）が高くなっています。
- ・「災害に強いまち」は、上戸田1地区（29.6%）、上戸田2地区（29.2%）及び下戸田2地区（29.1%）で高くなっています。

【その他の属性別の回答傾向】

- ・「(5)生涯健康に暮せるまち」や「(6)地域の福祉が充実したまち」を見ると、年齢別では、いずれも50歳代以上で高くなっています。また、居住地区別では、いずれも下戸田2地区で最も高くなっています。
- ・「(7)子どもの教育環境が充実したまち」では、年齢別では20歳代から40歳代で高くなっており、居住地区別で見ると、下戸田2地区、上戸田1地区、新曽地区で高くなっています。
- ・「(8)青少年が健やかに成長できるまち」は、居住地区別で見ると下戸田2地区、上戸田2地区、笹目地区、で高くなっています。

図表 103-1 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
		子育てへの支援が充実したまち	高齢者が安心して暮らすことができるまち	障害者が自立して暮らすことができるまち	がいつでも安心して医療が受けられるまち	生涯健康に暮せるまち	地域の福祉が充実したまち	子どもの教育環境が充実したまち	青少年が健やかに成長できるまち	スポーツに親しめるまち	多様な学習機会のあるまち	様々な芸術・文化を育むまち	公害など環境汚染がないまち	資源を無駄にしない循環型のまち
全体(1,317)		36.3	45.4	12.6	40.1	15.5	10.9	17.8	9.9	7.4	5.3	4.8	18.0	9.4
性別	男性(562)	37.0	45.6	14.1	36.5	15.3	10.1	15.5	7.1	8.9	3.9	3.6	17.8	7.7
	女性(755)	35.8	45.3	11.5	42.8	15.6	11.5	19.6	12.1	6.4	6.4	5.7	18.1	10.7
年齢別	16～19歳(32)	18.8	25.0	3.1	18.8	12.5	3.1	9.4	12.5	12.5	6.3	9.4	15.6	12.5
	20～29歳(129)	45.0	26.4	8.5	38.8	10.1	4.7	26.4	11.6	10.1	10.9	10.1	16.3	7.0
	30～39歳(262)	62.6	27.9	10.3	37.4	10.7	6.5	32.8	10.3	8.4	5.3	3.1	13.7	8.4
	40～49歳(278)	38.1	40.6	12.6	39.2	13.3	9.0	18.0	11.9	7.2	4.3	2.9	20.1	5.0
	50～59歳(192)	26.6	47.9	13.0	39.6	19.8	14.1	12.5	5.2	9.9	5.7	6.3	23.4	14.1
	60～69歳(202)	23.3	65.8	14.9	44.1	20.3	12.4	8.9	11.9	4.0	4.0	4.5	18.3	10.4
	70歳以上(222)	20.7	65.3	16.7	45.0	19.4	19.4	9.0	8.1	5.4	4.1	4.5	16.7	12.2
居住地区別	下戸田1地区(165)	33.3	47.9	12.1	41.2	15.8	10.9	14.5	6.7	4.2	3.0	5.5	16.4	13.9
	下戸田2地区(251)	39.8	43.0	12.7	39.8	17.5	13.5	21.5	12.7	6.8	5.2	4.0	15.5	11.2
	上戸田1地区(142)	35.2	43.0	8.5	31.0	16.9	9.9	23.2	6.3	8.5	7.0	9.9	23.9	8.5
	上戸田2地区(195)	41.0	47.7	12.3	37.9	14.4	8.7	15.9	10.3	9.2	7.2	4.6	23.6	9.2
	新曽地区(279)	35.1	41.6	11.8	38.7	14.0	10.8	17.9	9.3	9.0	6.8	4.3	14.3	7.2
	笹目地区(164)	37.2	50.6	18.9	48.8	15.9	10.4	15.2	14.0	7.3	3.0	4.9	14.6	6.1
	美女木地区(121)	28.1	47.9	11.6	44.6	14.0	11.6	14.9	8.3	5.8	3.3	0.8	22.3	10.7

- ・「(14)健康的に生活できる環境が保全されたまち」では、年齢別に見ると、50歳代が最も高く、次いで70歳以上が高くなっています。居住地区別にみると、上戸田1地区と笹目地区で高くなっています。
- ・「(23)安全で快適な歩行空間が整備されたまち」では、年齢別に見ると、10歳代が高くなっており、地区別では特に上戸田2地区が高くなっています。
- ・「(25)緑あふれるまち」は、年齢別では30歳代以下の若年層の割合が高くなっており、居住地区別にみると、新曽地区が最も高く、次いで、笹目地区、上戸田1地区が高くなっています。

図表 103-2 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)つづき

		(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)
		境健康 が保的 全に生 活た でき る環 境	ち防 犯 対 策 が 充 実 し た ま ま	ち消 防 体 制 が 充 実 し た ま ま	災 害 に 強 い ま ち	産 業 に 活 気 の あ る ま ち	ち商 業 に 賑 わ い の あ る ま ち	安 心 し て 働 け る ま ち	市 街 地 が 魅 力 的 な ま ち	道 路 整 備 が 進 ん だ ま ち	が安 全 で 快 適 な 歩 行 空 間	景 観 が 整 備 さ れ た ま ち	緑 あ ふ れ る ま ち	水 と 親 し め る ま ち
全体(1,317)		15.0	31.7	3.8	27.1	4.3	10.5	11.4	6.6	10.6	16.6	6.5	15.9	2.7
性別	男性(562)	14.4	33.5	4.4	29.4	5.7	11.7	9.3	7.3	11.6	15.7	8.0	14.8	2.8
	女性(755)	15.4	30.3	3.3	25.4	3.3	9.5	13.0	6.1	9.8	17.2	5.4	16.8	2.5
年齢別	16～19歳(32)	15.6	15.6	3.1	31.3	3.1	9.4	12.5	18.8	15.6	34.4	18.8	21.9	6.3
	20～29歳(129)	10.9	29.5	4.7	30.2	2.3	15.5	17.8	7.0	14.0	17.1	8.5	18.6	3.1
	30～39歳(262)	14.1	33.2	2.3	23.3	5.0	13.0	14.1	7.3	9.9	16.4	6.1	19.5	5.7
	40～49歳(278)	14.4	38.5	3.2	30.6	4.7	9.4	10.4	9.0	11.5	16.2	6.1	12.2	0.7
	50～59歳(192)	17.7	38.0	5.2	30.7	4.7	12.5	13.0	7.3	12.5	16.7	9.4	18.8	2.6
	60～69歳(202)	15.3	24.8	3.0	23.3	4.0	5.9	8.9	3.5	7.4	14.4	5.0	14.9	1.5
	70歳以上(222)	16.2	25.7	5.4	25.2	4.5	8.6	6.3	3.2	8.6	16.2	3.6	12.6	1.8
居住地区別	下戸田1地区(165)	14.5	29.7	4.8	26.1	4.8	12.7	10.3	6.1	6.7	15.8	4.2	11.5	1.8
	下戸田2地区(251)	15.5	29.9	4.4	29.1	4.8	13.9	9.6	4.0	8.0	15.9	6.0	12.7	3.6
	上戸田1地区(142)	18.3	40.1	4.2	29.6	4.9	12.7	9.9	12.0	10.6	10.6	9.2	16.9	3.5
	上戸田2地区(195)	10.3	34.9	3.6	29.2	4.1	8.7	10.3	5.1	7.2	24.1	8.2	15.4	2.6
	新曽地区(279)	13.6	30.5	2.9	22.9	3.2	11.5	10.8	9.0	16.5	16.1	8.2	19.4	2.2
	笹目地区(164)	18.9	28.0	3.7	28.7	5.5	6.7	14.6	5.5	12.2	16.5	3.7	18.9	1.8
	美女木地区(121)	15.7	30.6	3.3	25.6	3.3	3.3	17.4	5.0	10.7	14.9	5.0	16.5	3.3

- ・「(27)雨に強いまち」は、40歳代と50歳代が高くなっており、居住地区別では、新曽地区、下戸田2地区が他地区と比べて高くなっています。
- ・「(28)公共交通機関が整備されたまち」では、40歳代と50歳代が高くなっており、居住地区別では、笹目地区が最も高く、次いで下戸田2地区、美女木地区が高くなっています。
- ・「(29)下水道が整備されたまち」では、50歳代以上が高くなっており、居住地区別では、新曽地区、上戸田1地区が高くなっています。

図表 103-3 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)つづき

		(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)
		雨に強いまち	公共交通機関が整備されたまち	下水道が整備されたまち	安全な水道水を安定的に利用できるまち	人権を尊重するまち	平和の尊さを実感できるまち	市民が自発的に行動するまち	市民と市が協働するまち	一人ひとりの個性と能力が発揮できるまち	情報化に対応したまち	地域間の交流が盛んなまち	税金が効率的に使われているまち
全体(1,317)		11.1	11.4	7.0	10.0	4.7	5.8	1.7	5.5	2.0	2.3	2.4	39.4
性別	男性(562)	13.0	12.6	8.2	7.8	4.1	5.0	2.1	6.0	2.1	3.7	2.3	36.7
	女性(755)	9.7	10.5	6.1	11.7	5.2	6.4	1.5	5.2	1.9	1.2	2.5	41.5
年齢別	16～19歳(32)	6.3	9.4	6.3	6.3	0.0	6.3	3.1	12.5	9.4	0.0	9.4	40.6
	20～29歳(129)	9.3	13.2	1.6	5.4	6.2	7.0	0.8	5.4	0.8	6.2	4.7	35.7
	30～39歳(262)	8.0	8.4	5.7	5.3	1.5	3.4	1.5	4.6	4.2	1.1	1.5	37.0
	40～49歳(278)	16.5	17.6	5.0	9.7	3.2	2.5	1.4	3.6	0.4	2.2	1.4	46.4
	50～59歳(192)	13.5	13.5	9.9	9.9	3.6	6.8	2.6	5.2	1.6	3.1	1.6	49.0
	60～69歳(202)	8.9	9.4	7.9	12.4	5.4	7.9	1.0	6.4	2.5	2.5	2.5	39.6
	70歳以上(222)	9.5	6.3	10.8	17.1	10.4	9.0	2.7	7.7	0.9	0.9	3.2	27.0
居住地区別	下戸田1地区(165)	7.3	6.7	5.5	15.2	7.9	7.3	1.8	5.5	2.4	1.8	1.2	37.6
	下戸田2地区(251)	12.4	12.7	6.4	7.2	4.8	4.4	0.8	2.8	1.2	3.6	2.4	43.4
	上戸田1地区(142)	9.9	8.5	8.5	7.7	4.2	7.0	3.5	8.5	2.1	0.7	1.4	39.4
	上戸田2地区(195)	9.2	10.3	3.6	9.2	2.6	5.1	1.5	3.1	1.0	3.1	2.1	40.5
	新曽地区(279)	15.8	11.8	12.9	9.3	3.6	5.4	1.1	6.8	1.4	3.2	2.2	41.2
	笹目地区(164)	9.8	16.5	6.7	12.2	6.7	6.7	1.8	6.1	3.0	0.6	3.7	31.7
	美女木地区(121)	9.1	12.4	0.8	11.6	4.1	5.8	3.3	8.3	4.1	0.8	5.0	38.0

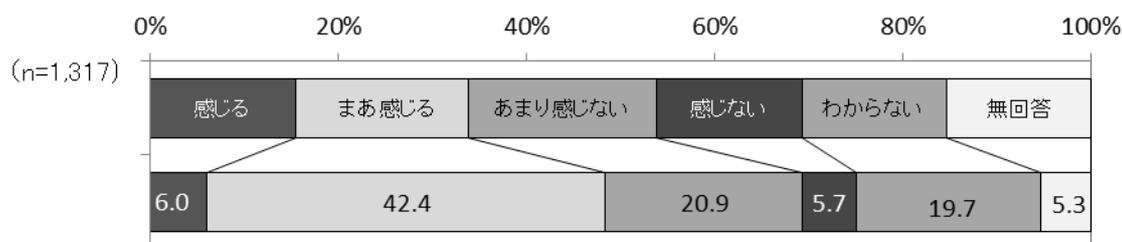
### (3) 戸田市らしいまちづくり

問 42 あなたは、戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じますか？（○は1つ）

#### 【全体の回答傾向】

- ・全体の傾向で見ると、「感じる」(6.0%)、「まあ感じる」(42.4%)を合わせると48.4%となり、約50%が戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じています。

図表 104 戸田市らしいまちづくり(全体)



#### 【属性別の回答傾向】

- ・性別で見ると、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は44.1%、女性は51.5%となっており、女性の方が7.4ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、40歳代までの年代では、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、50%以上となっているのに対し、50歳代以上の年代では、約40%にとどまっています。また、70歳以上では、「感じる」が13.5%と高くなっているのが特徴的です。
- ・居住地区別にみると、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、新曽地区の54.1%が最も高くなっており、次いで、上戸田2地区の53.4%となっています。また、下戸田1地区では、39.4%と低くなっています。

図表 105 戸田市らしいまちづくり(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全体(1,317)		6.0	42.4	20.9	5.7	19.7	5.3
性別	男性(562)	3.9	40.2	21.7	8.2	20.3	5.7
	女性(755)	7.5	44.0	20.3	3.8	19.3	5.0
年齢別	16～19歳(32)	15.6	50.0	3.1	6.3	21.9	3.1
	20～29歳(129)	7.0	43.4	20.2	3.9	22.5	3.1
	30～39歳(262)	4.2	47.7	17.9	6.5	22.1	1.5
	40～49歳(278)	3.2	48.9	23.4	6.8	16.2	1.4
	50～59歳(192)	1.6	38.5	26.6	9.4	20.3	3.6
	60～69歳(202)	5.9	36.6	24.8	3.5	20.8	8.4
	70歳以上(222)	13.5	34.7	15.8	3.2	18.0	14.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	7.3	32.1	27.3	3.6	24.2	5.5
	下戸田2地区(251)	5.6	41.8	23.5	3.2	20.7	5.2
	上戸田1地区(142)	5.6	42.3	19.7	9.2	18.3	4.9
	上戸田2地区(195)	3.1	50.3	18.5	7.2	17.9	3.1
	新曽地区(279)	6.8	47.3	17.2	6.8	16.5	5.4
	笹目地区(164)	6.1	37.2	22.0	4.9	22.6	7.3
	美女木地区(121)	8.3	40.5	19.0	5.8	19.8	6.6

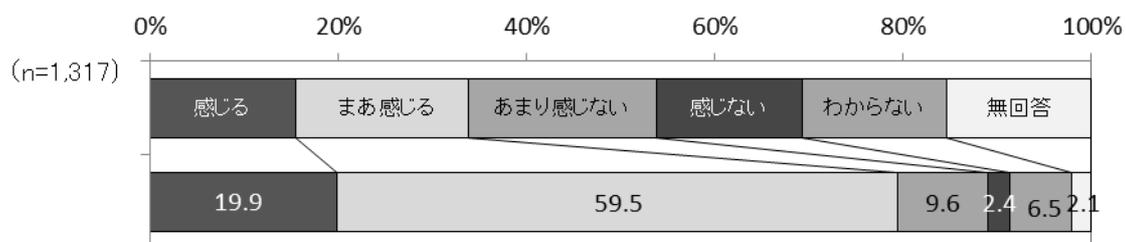
#### (4) 幸せ実感

問 43 総合的に考えて、あなたは、今、幸せだと感じていますか (○は1つ)

##### 【全体の回答傾向】

- ・全体別にみると、「感じる」(19.9%)と「まあ感じる」(59.5%)を合わせた肯定的な意見が、79.4%となっています。

図表 106 幸せ実感(全体)



##### 【属性別の回答傾向】

- ・性別でみると、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は 73.0%、女性は 84.2%となっています。
- ・年齢別にみると、肯定的な意見が最も多いのは 16~19 歳の 90.7%で、次いで 30 歳代が 85.9%でした。一方、60 歳代が 71.8%と最も低くなっています。
- ・居住地区別にみると、「感じる」、「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が最も高いのが上戸田 2 地区の 83.6%で、下戸田 1 地区が 70.9%と最も低くなっています。

図表 107 幸せ実感(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全体(1,317)		19.9	59.5	9.6	2.4	6.5	2.1
性別	男性(562)	17.3	55.7	13.2	3.7	7.5	2.7
	女性(755)	21.9	62.3	7.0	1.5	5.8	1.6
年齢別	16～19歳(32)	34.4	56.3	0.0	0.0	9.4	0.0
	20～29歳(129)	28.7	55.8	5.4	1.6	7.8	0.8
	30～39歳(262)	25.6	60.3	6.1	1.9	5.7	0.4
	40～49歳(278)	20.9	61.9	9.0	3.2	5.0	0.0
	50～59歳(192)	9.4	65.6	14.1	4.7	5.2	1.0
	60～69歳(202)	14.9	56.9	14.4	1.5	9.9	2.5
	70歳以上(222)	18.5	55.0	10.4	1.8	6.3	8.1
居住地区別	下戸田1地区(165)	21.2	49.7	13.3	6.1	6.1	3.6
	下戸田2地区(251)	15.1	66.9	8.4	2.0	6.0	1.6
	上戸田1地区(142)	21.8	58.5	10.6	2.1	4.9	2.1
	上戸田2地区(195)	22.1	61.5	7.2	1.0	6.2	2.1
	新曽地区(279)	20.8	57.7	9.7	2.5	7.5	1.8
	笹目地区(164)	20.1	57.3	11.0	1.2	8.5	1.8
	美女木地区(121)	19.8	62.0	8.3	2.5	5.8	1.7

### Ⅲ. 自由意見

このアンケートには、たくさんのご意見が寄せられました。

1. 保健・医療・福祉
■子育て支援
多胎児の場合、妊婦健診の助成券を子どもの数だけ支援してほしい。
行政センター3階の子育て広場は助かった。友達が多くでき、子育てに孤立しなかった。
母子家庭、別居等の相談支援をもっと充実させてほしい。
子どもが思いっきりボール遊びができる所を増やしてほしい。
私立幼稚園の家計負担を減らしてほしい。または市立幼稚園を設立してほしい。
学童保育や保育園の待機児童を0（ゼロ）に。
中高生の居場所を増やしてほしい。
旧国道17号以東に児童館があると嬉しい。
PTAが盛んなのは良いが、役員が半強制なところが、働く親にとっては良くないと思う。
子育て世代の就業機会拡大を図ってほしい（子どもが幼稚園や学校に行っている間働ける）。
学童で子どもを預けられる時間の延長。学童の増加。保育園の増加。
■保健・医療
24時間診察を受けられる医療体制を。
不妊治療助成金の所得要件を撤廃していただきたい。
産婦人科が少なすぎる。
市民病院をつかってほしい。
一人暮らしでも安心して暮らせる声掛けや医療体制、みんなで入れるお墓。
急病で救急車を呼んでも戸田の病院ではなく、遠くの病院に運ばれてしまう。
在宅医療体制の充実を願います。
■高齢者福祉
一人暮らしの高齢者なので、動けなくなった場合、蓄えたお金もあまりなく、心配。
戸田市に特別養護老人ホームをもっと増やしてほしい。
高齢者でも働けるような環境づくりをしてほしい。
超高齢化への対応として、在宅介護や老老介護に対する支援を充実しないといけない。
60歳以上の元気な方をもっと活用してほしい。ご本人も地域の活動に参加し、他の方を助けるネットワークづくりをして欲しい。賃金やポイントがもらえるなど働く喜びも必要。
リタイア後の生きがい支援。生き方教室など。
高齢者を応援している町会のリズム体操の普及がすばらしい。
高齢者が気軽に散歩できるように、公園だけでなく、まちの中にもベンチや夜間の明かりがあると良い。
低所得の介護者への援助がほしい。
■福祉全般
生活保護の人の多さや、市営住宅に長年親子孫まで住んでいる事、ちゃんと見てもらいたい。

<b>■福祉全般（つづき）</b>
障がいを持った人をよく見かけるので、障がいに対する講義を行って欲しいです。困っている方に手を差し伸べたくてもやり方がわからないことが多い。
障がい者への支援（一人で生きていける環境ではない）
<b>2. 学校教育・生涯学習</b>
<b>■学校教育</b>
専門学校などを誘致し、若い人が集まってくるようなまちにしたい。
中学生までの給食費無料
子どもの教育環境としてプレハブ校舎ではなく、校舎の増設を希望する。
マンションの増加等に伴い、負荷の分散や運動会等の充実を考慮し、学区の再編があっても良いのでは。
外国語を小さい頃から学び、海外でも活躍できる人材を多く育ててほしい。
子ども達と大人が触れ合えるまちづくりをお願いします。大人を尊敬し、子どもを慈しむ、人とのコミュニケーションが生まれる環境を整える。
<b>■生涯学習・文化・スポーツ</b>
図書館について、駅の返却ボックスもとても便利です。
図書館の駐車場のスペースを広げてほしい（いつも満車です）。
芸術の意識の高いまちづくりを希望する。
図書館の自習室を夜間も使えるようにしてほしい。
公民館の講座をネットで予約できたらもっと利用者が増える気がします。
子どもの習い事を公民館で講座としてやってくれたら良い（将棋、そろばん、書道など）。
さくらバルに図書館分室が欲しい。
<b>3. 環境と安心・安全</b>
<b>■環境・ごみ・公害</b>
粗大ごみを以前のように持ち込めるようにしてほしい（有料可）。
埼京線の高架下に多くの野良猫が住みついている。美観上からも衛生面からも小さな子どもたちが安心して暮らせるように対策すべき。
戸田駅近くの喫煙場所が1つになったのが残念。
街路樹の剪定がきつく、枝を短くし過ぎる。
花と緑が美しい戸田に生まれ、日々楽しんでいる。
公害のない安心して暮らせるまちを強く希望する。
休日である土曜の可燃ごみ回収をやめてほしい。
530（ごみゼロ）運動の時だけではなく、毎日清掃をしている人にも、ごみ袋を配布してほしい。
歩きたばこを厳しく取り締まってほしい。
住みやすく、きれいなまちづくりには住んでいる人の意識の向上が大切だと思う。一軒一軒がきれいにしていけばまち並もきれいになる。
私の住んでいる地域は、とても緑や花が多く、癒される。維持するのは大変だが、このまま続いてほしいと願っています。

<b>■環境・ごみ・公害（つづき）</b>
戸田市は公園が多く、緑に触れることができるところがとても魅力的です。
ユスリカ対策をお願いしたい。
ペットの飼い主のマナーが悪い（尿や糞の始末）
<b>■防犯</b>
最近、アジア圏出身と思われる人が急増していると感じます。治安が保てるよう万全の受入体制をお願いします。
防犯パトロールを強化してほしい！公園や神社に夜中、中高生がたむろしていているさい。
防犯対策として各町会の交差点、死角等に防犯カメラ設置を希望。
駅から徒歩10分圏内は明かりを増やすなど、防犯対策を強化してほしい。
<b>■防災</b>
防災無線は流す情報を厳選し、緊急時のみ使用するなどとした方が、皆、耳を傾けると思う。休日朝の清掃活動などの放送はやめていただきたい。
「公助」「共助」「自助」が活性化されたまちづくりに期待しております
避難所のトイレを整備してほしい。
防災無線や迷子の放送などされますが毎回聞きとれません。調査して対策をお願いします。
大雨がふった時、道路が洪水となり、駅に行けなかった。側溝の清掃を市でもやってほしいし、市民にも清掃するように言ってほしい。
駅前の再開発が進みつつある中、防災対策の安全地域を増やすため、荒川決壊の防止策やその他浸水対策をどのように進めようとしているのか知りたい。
水害対策をしっかりとって欲しい。
<b>■交通安全</b>
戸田市美女木地区に引っ越してきて1年が経過しました。この辺りは歩道が狭く大型トラックなどの通行が多いので、子ども一人で歩かせるのが本当に心配です。
市内に交通公園を作ってほしいです。子ども達が乗り物に乗って楽しむばかりでなく、交通ルールを学び、なおかつ、自転車の練習ができて体を動かして遊ぶ場所があったら良いと思う。
自転車の運転マナーの向上を図っていただきたい。市民教育が絶対必要である！
小・中学校において、自転車の乗り方を徹底して教える。
自転車対策を積極的にやって欲しい。
外を歩いていると自転車に乗っている人のマナーの悪さ、危険運転が目立っています。また、身の危険を感じることもあります（無理に自転車で突っ込んでくるなど）。歩きたばこや喫煙所以外での喫煙にも迷惑しているので、市民マナーの向上に取り組んでほしいと思います。
曲がり角で、向こうから来る人が建物に隠れて見えずに危ないので、カーブミラーがあると良い。
交通、危険な違法駐車（停車）による事故、通学児童の車への関心度の低下などにより、子どもの安全に対する気持ちや判断力が無くなっている。いつ事故がおきても不思議はない。
交通安全のために自転車のルールをきちんとして欲しいです。右側走行をしている自転車が歩道を走り、かつベビーカーを押しているお母さんなどにベルを鳴らす光景を目にします。

<b>4. 産業と労働</b>
<b>■商業</b>
買い物する場所や飲食店が少ない。
戸田駅前周辺にもっとお店ができてほしい（ドラッグストア、カフェ、銀行など）。それぞれ駅から離れたところにあり、不便さを感じる。
スーパーが少ないので増やしてほしい。
戸田公園周辺の飲食店を充実して欲しい。
戸田の特産品などがあって他のまちの人々がいっぱい買いに来てくれるといいなと思っています。
まちづくりが遅々として進んでいない。我が家の周辺もそうだが、特に戸田駅。駅周辺には、待合せに使えそうな喫茶店一つない。市主導のコーヒョショップ（コミュニティを兼ねた）を作ってみてはどうか。
静かで住みやすい戸田はステキだと思いますが、都内でお金を落とすばかりで、市内ではお金を使わない印象を受けます。他市のように、商業施設があるといいなと思います。
<b>■商業全般・就労</b>
下戸田地区に在住しておりますが、ここ20年近くの間、地域にあった生産（製造）工場が移転し、マンション等の住宅化が進みました。これはこれで結構ですが、周りの飲食店、サービス業務等、個人経営商店が次々と廃業し、活気のないまちになってしまいました。少子化の進む中、もうこれ以上の住宅建設の認可には制限を加え、働ける場所の確保に力を入れてほしいと思います。
<b>■その他</b>
銀行が少なすぎて困っています。
<b>5. 都市基盤</b>
<b>■土地区画整理・市街地整備</b>
駅前の環境を良好なものにすべき。特に戸田駅前のパチンコ店は景観も治安も良くない。
都心に近い戸田市は、ますます人口の増加が見込まれると思います。景観が失われるような高層居住建物については可能な限り制限していただきたい。
市役所の工事は、長期間の工事のようだが夜遅くまで工事の音が聞こえてくる。行政機関としては、環境うんぬんより、まずこの様なことを規制すべき。
電線の地中化。地中の管内へ全てのインフラを集約する。
戸田公園駅周辺をもっと発展させて欲しい。多くの人利用する駅なので商業施設等の需要は高いと思う。
美女木地区は住みづらい。様々な施設が充実していない（遠い）。
戸田駅周辺は、商業ビル建設等で発展している。便利で税収も増加するなど利点も多いと思うが、住環境とのバランスの取れた発展を望む。
<b>■道路整備</b>
子どもと手をつないで歩ける歩道、車いすや杖を使っている人が安全に歩ける歩道を整備してほしい。
大雨による道路の冠水がいたる所で見られるのが戸田市の特徴である。早急な対策が必要である。
消えかかった横断歩道の改修や横断歩道設置場所の再考など。
自転車の道路が整備されると交通事故が減ってくると思われますので、推進してほしい。
歩行者と自転車用の道をそれぞれつくる。
住居と商工業地帯が混在している地域の、通学路にもなる歩道の整備が必要である。

<b>■道路整備（つづき）</b>
国道 298 号から武蔵浦和方面に向かう笹目川沿いの道路に歩道がなく、大変危険である。
市役所前やオリンピック道路（駅に近い交差点）で歩行者のみが通行できる信号にしているのは、安全でよい。
五差路は歩行者が通行しづらい。スクランブル交差点にすべき。
車いすや双子のベビーカーでも歩きやすい、段差のない、広い歩道が増えたら良いと思う。
<b>■公園・緑・景観</b>
もっと緑の多い公園、木陰のある公園があると夏でも過ごしやすく、子どもも外で元気よく遊べる。
“土に親しむ広場”をもっと増やして欲しい。倍率が高く当選しない。
荒川やポート競艇場彩湖など水と親しめる環境を活かすまちづくりを進めていくべき。
お花がきれいに植えてあり癒される。これからもお花を増やしてほしい。
有料でも良いので、MTB、BMX、スケートボード、ローラーブレードで遊べる公園が欲しい。
広いボール遊びができるところが欲しいです。小学生や幼稚園生が対象なのではなく、中・高生も利用ができるような広場が欲しいです。
戸田市の東側にも BBQ 場が欲しい。蕨市民公園に行っている人が多いのでは？
<b>■上下水道・河川</b>
下水道をしっかりと整備して、ゲリラ豪雨など災害対策をしっかりとって欲しい。
自分の住所地（下前）は低地のため強い雨が降るとすぐに道路が冠水してしまい自動車が通過すると玄関に水が流れ込んでしまいます。雨に強い下水を整備してほしいと思います。
菖蒲川とその周囲の川が汚なく、悪臭もひどい。
水道水のおいさが気になる。
<b>■公共交通</b>
美女木交差点が混雑するので、立体にしてはどうか。
埼京線の本数が少なく、終電が早過ぎる。
戸田は、都心に近く、便利だと思うが、埼京線の混雑や終電時間が改善してほしい。
美女木地区の不便さを解消してほしい。例えば、1本の toco バスで市役所に行けるように。
戸田公園駅東口にエレベーターかエスカレーターの設置を希望します。
北戸田駅のホームからの下りエスカレーターをつくってほしい。
戸田公園駅に通勤快速が止まるようにしてほしい。
駅にレンタサイクル設置があると便利。また、toco バスを愛用しているが、もう少し遅い時間までであると、なお良いと思う。
<b>■その他</b>
駅前行政センターのような便利な場所をもっと増やしてもらいたい。
今後なるべく公共施設はつくらないでほしい。
“ゆりかごから墓場まで”を実践してほしい。特に墓場。市営墓地をつくってほしい。
戸田公園駅の自転車置き場の数が全然足りない。また、狭すぎて自転車を停めるのが本当に大変。
市営住宅を増やしてほしい。

<p>■その他（つづき）</p>
<p>自転車に乗っている人のマナーがなっていないので何とかしてほしい。特に右側走行は本当に危ないので、無くなってほしい。</p>
<p>戸田市を囲むようにサイクリングロードを整備し、自転車で安全に走れるまちにしてはどうか？</p>
<p>6. 参加と交流</p>
<p>■コミュニティ活動・市民参加</p>
<p>まずは、子ども会や町内会のイベントなどに参加することで地域のつながりを持ち、他県や他市から転入された方も「戸田」を地元として考える機会を持ってもらう事が大切。</p>
<p>移住者が多く、若い人が多い中で昔ながらのコミュニティの良さを活かしながら、関心の持った市政に参加し、市民が創造するまちづくりが大切だと思う。市政でも若い活力をとり入れ、自立した市政への参加、興味を引く取り組みを今後も続けてほしい。</p>
<p>2020年オリンピック開催に向けて戸田市も積極的に国際化を進めてほしい。(人的交流や標識などの多言語標示など)</p>
<p>子育て世代と高齢者が地域ごとに触れ合う機会をつくれると、地域が活性化していくように思う。</p>
<p>私は戸田市とリバプール市との交流をボランティアとして長年支えてきました。市民レベルでの交流は続いているのに原因を明らかにしてしっかりと対策を見出してほしいと強く思います。</p>
<p>若い方や30～40代の人たちが、戸田市を活性化する行動が取れるきっかけがあればいいと思う。</p>
<p>仕事を退職した世代（特に男性）を対象にしたサークルや勉強の場が少ない。</p>
<p>戸田市に住む外国人のマナーが悪い。そういった外国人たちにルールを教えたり、教育したりできる機関はないか。</p>
<p>ふるさと祭りの開催場所を文化会館前に戻してほしい。</p>
<p>多世代の人が、無理なく集えるような交流の機会が必要。</p>
<p>■広報・情報発信</p>
<p>弱者を支え、協力し合える地域になるよう、市民の1人として頑張りたいと思うので、情報の発信をお願いしたい。的確な税金の使い方をして欲しい。</p>
<p>広報戸田市は、カラー版でなくても良いのでは？</p>
<p>市のホームページが見にくい。</p>
<p>新しく転入してきた住民に、市政や市の財政を知ってもらうために、広報戸田市だけでなく、簡素かつ目にしやすい情報提供があればと思う。</p>
<p>7. 行財政</p>
<p>市の財政を見直し、民間のシステムその他を柔軟に導入してほしい。</p>
<p>tocoバスにしろ、粗大ごみにしろ、利用する人が一部でも負担するやり方はもっと取り入れて良いと思います。</p>
<p>アンケートも一つの手段ですが、行政はまちに出て市民の意見に耳を傾けるべきです。</p>
<p>歳入があることにあぐらをかかず、“無駄”を徹底的に省き、より一層の効率的な行政運営をよろしく願います。</p>
<p>税金の効率的利用。選択と集中。戸田市の施設のうち、利用頻度が少ないもので維持管理費がかかるものは廃止、民間委託し、よりニーズの高いものにシフトいくべき。</p>

8. その他
都心からの利便性が良いわりに知名度が低いので、東急東横線沿線のようにまちの景観を見直し、洒落たお店の誘致などをイメージ向上に努めてほしい。
戸田市が生活しやすいまちでありますようお願いいたします。
ボート競技でもっと振興できないだろうか？大学そのものは無いが有名大学の施設が多数集まる所はなかなか無いのでは？
私が子育てをしようと戸田市に移転してきた24年前と比較しますと、当時不満であった点（戸田市内の移動→tocoバス、保育の充実、教育に対する整備の向上など）は改善され、ここ何年かでは戸田公園駅前のパスポート取得可能など努力されていることが伝わってきます。
子ども、高齢者、障がい者の方々の住みやすいまち＝私たち子育て中の親や若者の住みやすいまちでもあると思う。美しいまちになれば、人々の心も澄んで、他人に優しくできるようになるのではないかと思う。
楽しい住みよい戸田市にしていきたい
ボートのまちとして、もっとボートを感じられると素敵だなと思う。
土曜や日曜の開庁日を増やしてほしい。もしくは平日の窓口を延長してほしい。
若い人達が安心して住めるまちになり、若い人口が増えるようなまちになったらと思います。
住んでいる町会は、環境や防犯防災に非常に熱心で、このような方々に支えられているのだと実感しています。できることを協力していきたいと思っています。
誰でもどんな人でも幸せが感じられるまちになったら嬉しいと思います。530（ごみゼロ）運動しかできないけど、戸田に住むからには良いまちになるよう小さなことからコツコツやっていきたい。
ここ数年で急速に高齢化していくのは間違いないと思うので、その準備をしておいてほしい。また、子どもたちが育っても、戸田市に住んでいたいと思えるようなまちづくりを目指してほしい。

## 参考資料（調査票）

# 平成26年度戸田市市民意識調査

## ご協力のお願い

日ごろから市政へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、戸田市では、市民の皆様のご意見やご要望をおろかгүйし、一層充実した市政とするために定期的に市民意識調査を実施しています。

この意識調査は平成26年4月1日現在において、戸田市の住民基本台帳に登録されている16歳以上の市民の皆様の中から、3,000人の方を無作為に選んでお願いしています。ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひこのアンケートにお答えくださいますよう、お願いいたします。

なお、このアンケートに関して個人の意見が公表されることは一切ありませんので、ぜひ率直なご意見をいただきますよう、重ねてお願いいたします。

平成26年5月

戸田市長 神保 国男

### ◆ご記入の前に◆

1. 回答のしかた
  - ・この調査票は、封筒宛名のご本人がご記入ください。
  - ・質問は全部で43問です。各質問の説明に従って、回答項目の番号に○印をつけてください。筆記用具の種類は問いません。
2. 返送のしかた
 

回答が済みましたら、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに6月16日(月)までに投函してください。封筒や調査票にご住所・お名前を記入する必要はありません。
3. お問い合わせ
 

〒335-8588 戸田市上戸田1丁目18番1号  
 戸田市役所 総務部 経営企画課 市民意識調査担当  
 電話 048-441-1800 (代表) 内線413  
 FAX 048-432-8521  
 E-mail kikaku@city.toda.saitama.jp

なお、この調査結果につきましては、「広報戸田市」および戸田市ホームページで概要を公表する予定です。

### 1. ご自身のことについておたずねしませ

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ) 1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢を教えてください。 満

問3 あなたが住んでいる地区はどこですか。(○は1つ)

1. 豊沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目
2. 豊沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目
3. 上戸田1~5丁目、大字上戸田
4. 川岸3丁目、本町1~5丁目、南町、戸田公園
5. 大字新豊、新豊南1~4丁目、氷川町1~3丁目、大字下笹目
6. 笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1~8丁目
7. 美女木1~8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木

問4 あなたは戸田市内に何年くらい住んでいますか。  
(※1年未満は0年とお書きください。) 約

問5 あなたの住宅の種類を教えてください。(○は1つ)

1. 持ち家(戸建て)
2. 持ち家(マンションなど)
3. 借家(戸建て)
4. 借家(民間アパート・マンション)
5. 社宅・寮
6. 公団・公営・公社住宅
7. その他( )

問6 一緒に住んでいる家族は、あなたを含めて何人ですか。 人

問7 あなたは、家族を介護した経験がありますか。あてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

※介護とは、日常生活の入浴や食事、着替え、移動などの他に何らかの手助けをすることをいいます。一時的に病氣などで寝ている人の介護は除きます。

1. 現在、65歳以上の家族の介護をしている
2. 現在、65歳未満の家族の介護をしている
3. 現在は介護をしていないが、過去に介護をしたことがある
4. 介護をしたことがない

問8 あなたは結婚していますか。届出の有無にかかわらずお答えください。(○は1つ)

1. 未婚
2. 配偶者あり
3. 死別・離別

問 9 あなたには、お子さんは何人いますか。また、お子さんがいる場合は、一番上と一番下のお子さんの年齢を教えてください。

人	歳
①一番上のお子さんの年齢 (1人の場合には、こちらにご記入ください)	歳
②一番下のお子さんの年齢	歳

問 10 あなたのお仕事（雇用形態）を教えてください。(○は1つ)

1. フルタイム（常勤）の正社員被雇用者	2. 派遣・契約・嘱託社員
3. パートまたはアルバイト	4. 自営業主、個人事業主
5. 家族従業者	6. 会社経営・役員
7. 家事従事者	8. 学生
9. 年金生活	10. 無就業
11. その他 ( )	

問 11 あなたが通勤地もしくは通学地はどこですか。(○は1つ)

1. 戸田市内	2. 川口市	3. さいたま市
4. 蕨市	5. 県内その他の市町村	6. 東京都
7. 県外（東京都を除く）	8. 通勤・通学していない	

問 12 あなたが運動や通学に利用している交通手段を教えてください。利用しているものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 徒歩のみ	2. 電車	3. 自家用車
4. バス	5. 自転車	6. オートバイ
7. 通勤・通学していない	8. その他 ( )	

問 13 戸田市に住んでいる友人や知人は何人くらいいいますか。 約  人

問 14 (問 13 で 1 人以上と答えた方におたずねします。) その友人や知人との関係を教えてください。(○はいくつでも)

1. 学校以来の友人	2. 近所付き合いの知人
3. 会社など仕事の関係者	4. 町会・自治会での知り合い
5. NPOやボランティア関係者	6. 小・中学校など子どもを通じた知り合い
7. その他 ( )	

問 15 あなたは、全般的に、今の生活に満足していますか。(○は1つ)

1. 満足	2. まあ満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
-------	---------	---------	-------	----------

**2. 定住意向についておたずねします**

問 16 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 生まれてからずっと戸田市	2. 進学
3. 就職・転勤	4. 結婚
5. 田舎	6. 子どもの独立
7. 退職・廃業	8. 親や子と同居・近隣に住むため
9. 住宅の購入	10. 特になし
11. その他 ( )	

問 17 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(○は1つ)

1. ここで育ったから	2. 比較的安価な住宅があったから
3. 親戚や友人がいたから	4. 住みやすそうだったから
5. たまたま住宅が見つかったから	6. 特になし
7. その他 ( )	

問 18 あなたは、戸田市にこれからも住みたいと思いますか。(○は1つ)

1. 住み続ける	2. たぶん住み続ける
3. たぶん移転する	4. 移転する
5. わからない	

**3. 健康づくりについておたずねします**

問 19 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 定期的ながん検診や健康診断の受診	2. 定期的な歯科健診の受診
3. バランスの良い食事	4. 朝食を抜かない
5. 定期的な運動やスポーツ	6. 日頃から歩くこと
7. 体重や体脂肪などの把握	8. 睡眠による十分な休養
9. 自分に合ったストレス解消	10. 規則正しい生活
11. 適量飲酒や、休肝日の設置	12. たばこは吸わない、またはやめた
13. 何もしていない	14. その他 ( )



問 20 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 定期的ながん検診や健康診断の受診	2. 定期的な歯科健診の受診
3. バランスの良い食事	4. 朝食を抜かない
5. 定期的な運動やスポーツ	6. 日頃から、歩くこと
7. 体重や体脂肪などの把握	8. 睡眠による十分な休養
9. 自分に合ったストレス解消	10. 規則正しい生活
11. 休肝日の設置	12. 禁煙
13. 特になし	14. その他 ( )

4. 子育てについておたずねします。

問 21 戸田市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う	2. どちらかというそう思う
3. どちらかというそう思わない	4. そう思わない
5. わからない	

問 22 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに〇は1つ)

※お子さんがいない方は、問 23 へお進みください。

※お子さんが大きい方は、過去の経験からお答えください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(1) 原簿手当や子ども医療費助成など金銭的支援	1	2	3	4	5
(2) 保育園や幼稚園、学童など通常の預け先	1	2	3	4	5
(3) 一時保育や病児保育など臨時的な預け先	1	2	3	4	5
(4) 不安や悩みを聞いてもらえる相談の場	1	2	3	4	5
(5) サークルや子ども会など地域交流の機会	1	2	3	4	5
(6) 24時間診療など、いつでも受診できる医療体制	1	2	3	4	5
(7) 道路の改善や駅のエレベーターなどのバリアフリー	1	2	3	4	5
(8) 地域の人の声掛けや協力	1	2	3	4	5

5. 高齢化についておたずねします

問 23 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う	2. どちらかというそう思う
3. どちらかというそう思わない	4. そう思わない
5. わからない	

問 24 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに〇は1つ)

※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(1) お金や必要なものなどの支援・補助	1	2	3	4	5
(2) 働く機会	1	2	3	4	5
(3) 住宅に対する支援 (賃料補助やリフトホーム形成など)	1	2	3	4	5
(4) 道路や駅、公共施設のバリアフリー	1	2	3	4	5
(5) 困りごとや悩みごとなど相談の場	1	2	3	4	5
(6) 健康や体力維持のための場	1	2	3	4	5
(7) サークルなど、友人や仲間との交流の場	1	2	3	4	5
(8) 地域の人の声掛けや協力	1	2	3	4	5
(9) 趣味や生涯学習の場	1	2	3	4	5
(10) ボランティアや町会活動など、社会活動の場	1	2	3	4	5
(11) 安心できるかかりつけ医や病院の存在	1	2	3	4	5
(12) 在宅介護の支援	1	2	3	4	5
(13) 介護施設の充実 (特別介護老人ホームやデイサービスなど)	1	2	3	4	5

6. 生活環境についておたずねします

問 25 あなたは住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。  
(項目ごとに○は1つ)

区分	項目	非常に良い	やや良い	普通	やや悪い	非常に悪い	わからない
保健・衛生	(1) ごみの回収	1	2	3	4	5	6
	(2) 雨水など水のほけぐあい	1	2	3	4	5	6
	(3) 蚊、ハエ等の害虫対策の状況	1	2	3	4	5	6
	(4) 医療機関への通院のしやすさ	1	2	3	4	5	6
	(5) 休日や夜間の急病のときの安心さ	1	2	3	4	5	6
	(6) ばい煙・排気ガスの発生がないこと	1	2	3	4	5	6
	(7) 振動・騒音(工場・車等の)がないこと	1	2	3	4	5	6
	(8) 子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	1	2	3	4	5	6
	(9) 高齢者の外出や散歩の安全性	1	2	3	4	5	6
	(10) 個人生活の秘密が守られること	1	2	3	4	5	6
安全	(11) 災害(火災・地震・台風等)からの安全性	1	2	3	4	5	6
	(12) 環境汚染(放射性物質など)からの安全性	1	2	3	4	5	6
	(13) 核道の明るさ	1	2	3	4	5	6
	(14) 周りの道路の安全性	1	2	3	4	5	6
	(15) 日用品・食料品等の買い物の便利さ	1	2	3	4	5	6
	(16) 通学・通学の便利さ	1	2	3	4	5	6
	(17) 公園・広場等の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6
	(18) 公民館・集会所等の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6
	(19) 郵便局・金融機関の便利さ	1	2	3	4	5	6
	(20) 周囲に騒音がないこと	1	2	3	4	5	6
快適	(21) 日当たりや風通しの良さ	1	2	3	4	5	6
	(22) 緑などの自然環境	1	2	3	4	5	6
	(23) 川の水のきれいさ	1	2	3	4	5	6
	(24) 上記を総合して、どの程度満足していますか	1	2	3	4	5	6

問 26 あなたは以下の施設をどの程度利用していますか。(施設ごとに○は1つ)

施設名	利用状況		利用する				利用しない			
	よく利用している	あまり利用していない	利用したいが近くにない	利用したい時と聞いてない	予約がとれず利用できない	とりにくさを知らない	利用方法がわからない	利用する機会・必要がない		
(1) 文化会館	1	2	3	4	5	6	7	8		
(2) スポーツセンター	1	2	3	4	5	6	7	8		
(3) 郷土博物館	1	2	3	4	5	6	7	8		
(4) 図書館(分室・配本所含む)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(5) 戸田公園駅前行政センター	1	2	3	4	5	6	7	8		
(6) 美笹支所	1	2	3	4	5	6	7	8		
(7) 公民館・福祉センター(上戸田・新曽・東部・西部)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(8) 椎目コミュニティセンター(コンパル)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(9) 新曽南多世代交流館(さくらパル)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(10) 男女共同参画センター(ピリブ)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(11) 戸田市ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(12) 障害者福祉会館	1	2	3	4	5	6	7	8		
(13) 白田保養所	1	2	3	4	5	6	7	8		
(14) 市民医療センター	1	2	3	4	5	6	7	8		
(15) 福祉保健センター	1	2	3	4	5	6	7	8		
(16) 児童センター(プリムローズ)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(17) 少年自然の家	1	2	3	4	5	6	7	8		
(18) 教育センター	1	2	3	4	5	6	7	8		
(19) 学校施設の開放(教室、運動場)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(20) サッカー場	1	2	3	4	5	6	7	8		
(21) デニスコート	1	2	3	4	5	6	7	8		
(22) 野球場(ソフトボール場含む)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(23) 県営戸田公園・戸田ポートコース	1	2	3	4	5	6	7	8		
(24) 彩湖・道満グリーンパーク(スボーツ施設を除く)	1	2	3	4	5	6	7	8		
(25) 彩湖自然学習センター	1	2	3	4	5	6	7	8		
(26) 地域の児童公園	1	2	3	4	5	6	7	8		

**7. 地域コミュニティについておたずねします**

問 27 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

- 1. 近所付き合いに努めている
- 2. 最低限の近所付き合いをしている
- 3. 近所付き合いはできるだけしない
- 4. 近所付き合いをまったくしない
- 5. わからない

問 28 あなたは、近所付き合いは大切だと思いますか。(○は1つ)

- 1. 大切である
- 2. まあ大切である
- 3. あまり大切ではない
- 4. 大切ではない
- 5. わからない

問 29 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。  
(活動内容ごとに○は1つずつ)

活動内容	ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	してついでいたくない参加
(1) 町会・自治会	1	2	3	4	5	6
(2) ボランティア団体	1	2	3	4	5	6
(3) 市民活動団体	1	2	3	4	5	6
(4) 趣味のサークルやクラブ	1	2	3	4	5	6
(5) 業界団体・同業者団体	1	2	3	4	5	6
(6) その他( )	1	2	3	4	5	6

問 30 あなたは、ここ1年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。参加したものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- 1. まちづくりのための活動 (道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動、など)
- 2. 地域の親睦のための活動 (地域住民による祭りや運動会、など)
- 3. 自然を守るための活動 (緑を守る活動、リサイクル活動、ごみを減らす活動など)
- 4. 安全な生活のための活動 (防犯パトロール、防災活動、交通安全活動など)
- 5. スポーツ・文化・学術に関係した活動 (スポーツの指導、伝統文化の普及活動、知識や技術の提供など)
- 6. 高齢者を対象とした活動 (日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど)
- 7. 子どもを対象とした活動 (子どもの世話、子育て支援、いじめ電話相談など)
- 8. 障がい者を対象とした活動 (日常生活の手助け、就労支援、など)
- 9. 参加したことがない
- 10. その他 ( )

**8. 市政への参加についておたずねします**

問 31 あなたは、市政への参加(市の会議への参加やイベントの企画運営など)に興味がありますか。(○は1つ)

- 1. 興味がある
- 2. まあ興味がある
- 3. あまり興味がない
- 4. 興味がない
- 5. わからない

問 32 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- 1. 子育て支援・子どもの健全育成
- 2. 高齢者や障がい者の生活支援
- 3. 防災に関すること
- 4. 防犯・交通安全に関すること
- 5. 清掃・ごみ減量・リサイクル
- 6. まちの緑化
- 7. 文化・スポーツ・生涯学習
- 8. 地域の産業振興
- 9. 都市基盤整備
- 10. 地域の情報発信やイメージアップ
- 11. 地域コミュニティの活性化
- 12. その他 ( )

**9. 防災についておたずねします**

問 33 あなたは、家庭でどのような災害対策をとっていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- 1. 食料や水の確保
- 2. 非常持ち出しセットの準備
- 3. 家具・家電の転倒防止
- 4. 家族との連絡手段の確保
- 5. 地震保険への加入
- 6. 避難場所の確保
- 7. 防災訓練への参加
- 8. 地域の人との連絡(話し合いなど)
- 9. 自家用車等の燃料確保
- 10. 感電ブレーカーの設置
- 11. 地域の災害時危険場所の把握
- 12. 住まいの耐震化
- 13. 対策は不要
- 14. その他 ( )

問 34 災害が発生したときにその被害を軽減するために取る対応について、国や市による「公助」、地域の住民やボランティア、企業などの連携による「共助」、自ら身を守る「自助」というものがあります。災害発生時に取るべき対応として、この中からあなたの気持ちに最も近いものを1つお答えください。(○は1つ)

- 1. 「公助」に重点を置いた対応をすべきである
- 2. 「共助」に重点を置いた対応をすべきである
- 3. 「自助」に重点を置いた対応をすべきである
- 4. 「公助」、「共助」、「自助」のバランスが取れた対応をすべきである
- 5. わからない
- 6. その他 ( )

問 35 あなたが住んでいる地域で、災害の危険性に関する情報や災害対策に役立つ情報について、あなたが今より充実して欲しいものは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図
2. 自宅がある場所での被災実績
3. 災害時の避難場所・避難経路
4. 災害を受ける危険度を示した地図 (ハザードマップなど)
5. 街中の災害情報に関する標識類
6. 学校や社会福祉施設、医療機関など公共施設の耐震性
7. 災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法
8. 災害時に必要となる気象や雨量に関する用語の解説
9. 特になし
10. その他 ( )

問 36 万一、災害が起こった場合に、地域ぐるみで行う助け合いのうち、あなたはどのような協力をしたいと思いますか。家族の安否確認はできていることを前提に、あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 災害情報の伝達	2. 避難場所への誘導
3. 救出・救護活動	4. 初期消火活動
5. 障がい者など要援護者の手助け	6. 炊き出し・給水活動
7. 避難所の運営支援	8. わからず
9. その他 ( )	

問 37 あなたは、ここ5年間で、市が行っている防災訓練に参加したり見学したことがありますか。(〇は1つ)

1. 参加したことがある
2. 参加したことはないが、見学したことはある
3. 訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない
4. 訓練が行われていることを知らなかった。
5. わからず

問 38 (問 37 で2か3と答えた方におたずねします。) あなたが参加できなかったのはなぜですか。あてはまる理由をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 内容が形式的	2. 時間が合わない	3. 時間が長い
4. 時間と場所が分からない	5. 会場に行くのが大変	6. 興味・関心がない
7. 知り合いが参加していない	8. 防災訓練は不要	
9. その他 ( )		

10. 公共施設についておたずねします

問 39

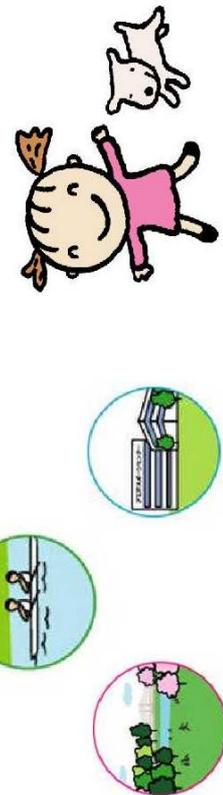
戸田市公共施設マネジメント白書(平成25年6月策定)により、今後の公共施設の維持管理・運営・建替えに莫大な費用がかかり、現状のまま施設を維持し続けていくことが困難であるとことが明らかとなりました。

以上のことを踏まえ、以下の方策について、**あなたが良いと思うものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)**

1. 2つの施設を合体させる。
(例)〇〇施設と〇〇施設の役割を1つの建物に合わせ、施設数を減らす。
2. 他の市と共同で運営する。
(例)戸田市とA市にそれぞれあった施設を1つの施設にして両市が共同で運営する。
3. 施設の建替えや管理に民間のノウハウや資金を活用する。
(例)〇〇福祉センターの管理を株式会社やその他の団体に任せる。
4. 地域活動に参画した施設(地区の会館など)は、地域住民等が所有し、維持・管理を行う。
5. 施設を補強して長持ちさせる。
6. 公共施設を取り壊し、その代わりに利用する民間施設の料金を助成する。
7. 利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る。
8. 施設におけるサービスの水準を引き下げる。
9. 施設の使用料を引き上げる。
10. 特別な税金等の徴収など、増額をして施設維持の費用を市民全体で負担する。
11. 特に対策は必要ない。
12. その他 ( )



ここまでご回答いただきありがとうございます。  
 ありがとうございます。あと一息です。



11. 戸田市の取り組みについておたずねします

問 40 次を示す取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか。項目ごとに、「1～5」の中から1つずつ選んで○をつけてください。  
(項目ごとに○は1つずつ)

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(1) 子育て支援	1	2	3	4	5
(2) 高齢者への支援	1	2	3	4	5
(3) 障がい者への支援	1	2	3	4	5
(4) 医療体制の充実	1	2	3	4	5
(5) 健康づくりの支援	1	2	3	4	5
(6) 地域福祉の支援	1	2	3	4	5
(7) 子どもの教育環境の充実	1	2	3	4	5
(8) 豊かな心を育む青少年の育成	1	2	3	4	5
(9) スポーツ・レクリエーションに親しむ環境の整備	1	2	3	4	5
(10) 生涯学習の機会の提供	1	2	3	4	5
(11) 芸術文化活動への支援	1	2	3	4	5
(12) 公害などの環境汚染の防止	1	2	3	4	5
(13) ごみ減量とリサイクルの推進	1	2	3	4	5
(14) 健康的に生活できる生活環境の保全	1	2	3	4	5
(15) 防犯対策	1	2	3	4	5
(16) 消防対策	1	2	3	4	5
(17) 防災対策	1	2	3	4	5
(18) 産業の振興	1	2	3	4	5
(19) 商業の活性化	1	2	3	4	5
(20) 良好な労働環境の整備	1	2	3	4	5

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(21) 計画的なまちの整備	1	2	3	4	5
(22) 幹線道路・生活道路の整備	1	2	3	4	5
(23) 快適な歩行空間の確保	1	2	3	4	5
(24) 美しい都市づくり	1	2	3	4	5
(25) 公園の整備・緑化の推進	1	2	3	4	5
(26) 水と触れ合う空間の整備	1	2	3	4	5
(27) 雨水対策	1	2	3	4	5
(28) 公共交通機関の利便性向上	1	2	3	4	5
(29) 下水道の整備	1	2	3	4	5
(30) 水道事業の運営	1	2	3	4	5
(31) 人権の尊重	1	2	3	4	5
(32) 平和意識の高揚	1	2	3	4	5
(33) コミュニティ活動の活性化	1	2	3	4	5
(34) 行政情報の提供	1	2	3	4	5
(35) 市民意見の行政への反映	1	2	3	4	5
(36) 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5
(37) 利便性・安全性の高い情報システムの整備	1	2	3	4	5
(38) 国内・国際交流の促進	1	2	3	4	5
(39) 効率的な行政運営	1	2	3	4	5
(40) 安全な自転車走行空間の確保	1	2	3	4	5
(41) 住宅地や商業地、工業地の計画的でパターンスのよい配置	1	2	3	4	5



---

---

戸田市市民意識調査報告書 平成 26 年度実施（第 11 回）

平成 27 年 3 月

発行：戸田市

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田 1 丁目 18 番 1 号

電話 048 (441) 1800

ホームページ <http://www.city.toda.saitama.jp/>

編集：戸田市総務部経営企画課

---